NEC

# STEP 2 入門

## 基本の使い方を覚える本

- ▶電源の入れ方と切り方を覚える
- ▶トラックボールに慣れる
- ▶ワイヤレスキーボードに慣れる

CEREB NX



**このマニュアルは、Windows 95対応です。
ご利用になる前に、別冊の『他のマニュアルをご覧になる前に』を必ずお読みください。**

PC98-NX SERIES
CEREB NX

# マニュアルを読む順序

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

❶ まずこれ!

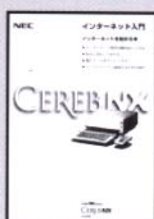



❷ 次にこれ!




❸ 目的に合ったマニュアルを選んで読む













添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

## やりたいこと別マニュアルガイド

| | |
|---|---|
| パソコンの接続とセットアップをしたい | STEP 1　接続と準備 |
| トラックボールの使い方を知りたい | STEP 2　入門 |
| キーボードで文字を打ってみたい | STEP 2　入門 |
| テレビや地上波データ放送を見たい | STEP 3　活用 |
| DVD を再生したい、音楽 CD を聴きたい | STEP 3　活用 |
| デジタルビデオカメラで撮った映像を編集したい | STEP 3　活用 |
| インターネットを利用したい | インターネット入門 |
| ビデオやオーディオ機器を接続したい | 拡張の手引き |
| プリンタやオプション機器を取り付けたい | 拡張の手引き |
| Windows 95 について知りたい | STEP 3　活用 |
| パソコンの中に入っているソフトを使いたい | リファレンス |
| このパソコンの機能について詳しく知りたい | リファレンス |
| パソコンが思うように動かない | 困ったときの Q&A |
| パソコンをお手入れする方法を知りたい | 困ったときの Q&A |
| 再セットアップしたい | 困ったときの Q&A |

# はじめに

　この本は、パソコンにはじめて触れる方のために、電源の入れ方から、トラックボールやワイヤレスキーボードの使い方など、いちばん基本的な内容から順番に説明しています。『STEP 1 接続と準備』を読んでパソコンを使うための準備を済ませてからお読みください。

　そのあとで、文字を入力する方法、画面の仕組み、ハードとソフトの役割などについて簡単に説明しています。さらに、パソコンに内蔵されているさまざまなソフトの紹介と、市販のソフトを利用する方法についても解説しています。

　この本を最初から順番に読み、操作を体験していくうちに、パソコンにも慣れ、自分自身のパソコン利用法を見つけることができるでしょう。あわてずに、じっくりと、楽しく、あなたのパソコンライフを始めてください。

1998年6月　初版

## このマニュアルの表記について

### ◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でやたらにトラックボールやクリックボタンを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の色の付いた部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

### ◆このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

| | |
|---|---|
|  | してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。 |
|  | そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。 |
|  | パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。 |
|  | マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。 |

### ◆このマニュアルで使用している表記の意味

| | |
|---|---|
| **このパソコン** | 次の各モデル(機種)を指します。<br>型名 / 型番<br>CE33D/SZ model CD2 / PC-CE33DSZCD2<br>CE33D/SZ model DD2 / PC-CE33DSZDD2 |
| **一太郎モデル** | 一太郎8 、三四郎8、FullBandがあらかじめインストールされているモデルのことです。model CD2が該当します。 |
| **Wordモデル** | Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。model DD2が該当します。 |
| **プリンタ、コネクタなど** | 「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。 |

### ◆画面メッセージなどで「マウス」と表記されている場合

このパソコンにはマウスは標準添付されていませんが、ワイヤレスキーボードおよびメディアコントローラにはトラックボールがあり、マウスと同様に働きます。画面メッセージなどで、「マウス」を操作するように説明されている場合、「トラックボール」と読み替えてご利用ください。

### ◆本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。

### ◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

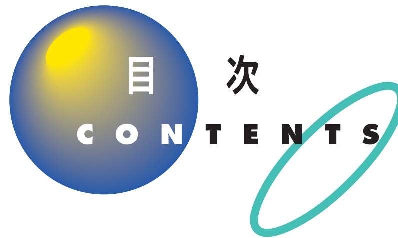
| （本文中の表記） | （正式名称） |
|---|---|
| Windows、Windows 95 | Microsoft® Windows® 95 Operating System |
| 一太郎、一太郎8 | 一太郎8 Office Edition /R.2 |
| 一太郎Office8 | 一太郎Office8 /R.3 |
| Excel、Word、Outlook | Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 97 for Windows®（Outlook™ 98バージョンアップCD-ROM添付） |

## ご注意

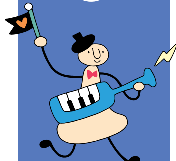
(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りの Bit-INN、または NEC パソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Microsoft® Windows® 95 および本機に添付の CD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9)あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。


目 次
CONTENTS

PART 3

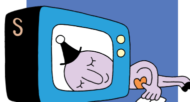


## ワイヤレスキーボードに慣れよう（一太郎編）33

目次
CONTENTS

目次
CONTENTS

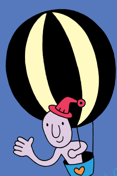
PART 6




## ちょっとだけ勉強 ................................. 133



PART 7



## さらに広がるパソコンワールド ................ 143


目次
CONTENTS

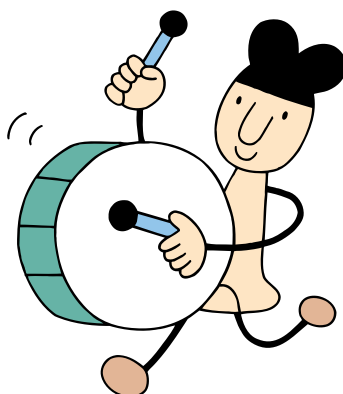


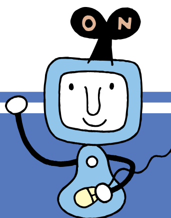
PART

# 1

# 電源の入れ方と切り方を覚えよう

パソコンは精密な機械なので、電源を入れたり切ったりするときにも、決まった手順を守って、あわてずに操作する必要があります。まず最初に、いちばん基本的な操作をマスターしてください。



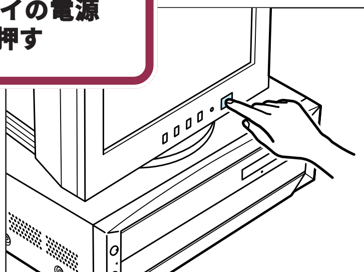


# 電源を入れる

電源を入れるときには、ディスプレイ、パソコン本体の順で電源スイッチを押します。パソコンの電源スイッチを入れてから、パソコンが使えるようになるまでには、1分ぐらい時間がかかります。

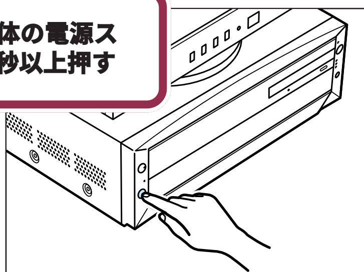
## 1 ディスプレイの電源スイッチを押す

ディスプレイの電源ランプが点灯する



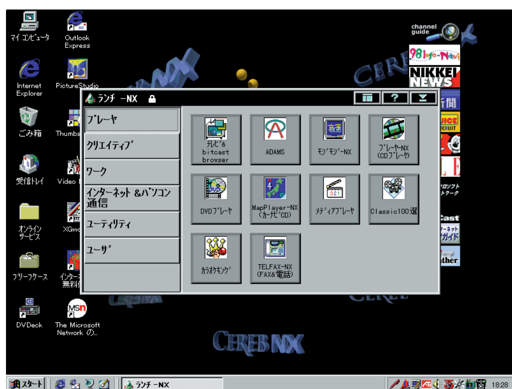
## 2 パソコン本体の電源スイッチを1秒以上押す

パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯する



この画面が表示されるまで待つ







ポイント

ディスプレイ、パソコン本体の順で電源を入れる。上の画面が出るまで（1～2分間）、何もせずに待つ。

**チェック!!**

別売のBSワイドディスプレイテレビを使用する場合には、❶の操作の後にBSワイドディスプレイテレビのPCボタンを押してください。詳しくは、BSワイドディスプレイテレビに添付のマニュアルをご覧ください。

**参照**

パソコン本体の電源ランプについて
→このPARTの「一時的に画面を暗くする（サスペンド）」（p.5）

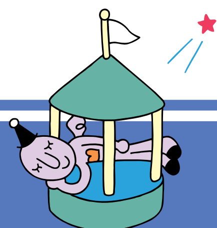
パソコン本体の電源を入れるには、パソコン本体の電源スイッチを押すほかにワイヤレスキーボード、メディアコントローラを使う方法もあります。

**参照**

ワイヤレスキーボードやメディアコントローラの電源スイッチについて
→このPARTの「ワイヤレスキーボードやメディアコントローラを使う」（p.7）

**チェック!!**

電源を入れると、画面左上にアルファベットの文字が出たあと、NECのマークやWindowsのマークなどが次々に表示されます。画面が自動的に切り替わっていくので、左の画面が表示されるまで、何も操作せずに待ってください。



# 電源を切る

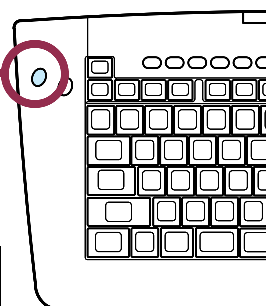
電源を切るときにも、大切なデータを失ってしまったり、内部の部品を損傷してしまったりしないよう、正しい手順で操作してください。

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうとぐあいが悪い部品も入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品の動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

**1** ワイヤレスキーボードのトラックボールを使って、画面左下にある「スタート」に矢印を合わせる



**2** ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを1回押す



↓

スタートメニューが表示される



**チェック!!**

添付のワイヤレスキーボードは、本体のコントローラ受光部または赤外線延長ユニットに向けて設置してください。障害物でコントローラ受光部を隠したり遮ったりすると、操作ができないことがあります。

メディアコントローラでも電源を切ることができます。

参照

メディアコントローラについて→この PART の「ワイヤレスキーボードやメディアコントローラを使う」(p.7)

**チェック!!**

矢印を合わせ、トラックボールを動かさないでおくと「このボタンから始めます」と表示されますが、そのまま 5 秒ぐらいたつと自動的にこの表示は消えます。

**用語**

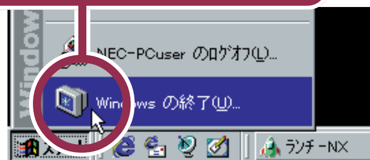
**スタートメニュー**

画面左下にある「スタート」(「スタート」ボタンと呼びます)に矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを1回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「Windowsの終了」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトを起動したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

参照

スタートメニューについての詳しい説明→『STEP 3 活用』PART 7の「デスクトップってなに?」

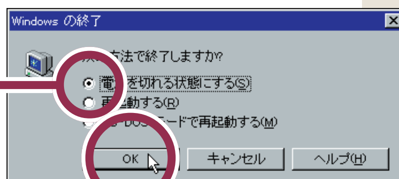
**3** 「Windows の終了」に矢印を合わせる




**4** ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す

画面中央に、これが表示される



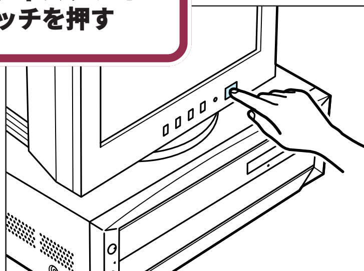



**5** 「電源を切れる状態にする」が  になっていることを確かめる

**6** 「OK」に矢印の先端を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す

「しばらくお待ちください」と表示されたあと、自動的にパソコン本体の電源が切れます。パソコン本体の電源ランプも消えます。

**7** 画面が暗くなったことを確かめて、ディスプレイの電源スイッチを押す



パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイも真っ暗になりますが、電源が切れたわけではありません。電源スイッチを押して、ディスプレイの電源ランプが消えるのを確認してください。

**チェック!!**

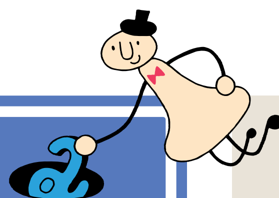
矢印がスタートメニューの中を上下すると、矢印の位置に青い帯が表示されます。「Windowsの終了」に青い帯がかかるように、矢印を動かしてください。

**チェック!!**

「再起動する」や「MS-DOSモードで再起動する」の前に  が表示されているときは、「電源を切れる状態にする」の左の  に矢印の先端を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押してください。

**チェック!!**

間違って電源スイッチを押してしまった場合は、「Windows を終了します。よろしいですか？」と表示されます。この場合は、「キャンセル」に矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押してください。「OK」を選ぶと電源が切れてしまいますのでご注意ください。



# 一時的に画面を暗くする（サスペンド）

休憩や来客などで一時的に席を離れる場合、画面を暗くして作業を中断できます。こうしておくと、次に席に戻ったときに、すぐに中断前の状態に戻すことができます。

用語

**サスペンド**

パソコン画面の表示を一時的に中断して、電力消費を抑える機能です。もとは「一時停止」などの意味を持つ英語です。サスペンド状態にあるパソコンを元に戻すことを「レジューム」と呼んでいます。

## 電源スイッチとスリープボタン

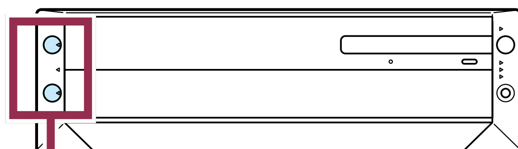
パソコン本体には、電源ボタンとスリープボタンがあります。

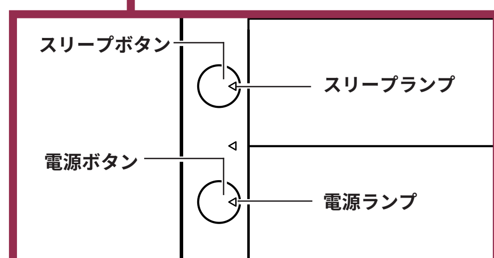
### ●電源ボタン

パソコンの電源を入れるときに使います。パソコンの電源が入っているときには、電源ボタン右側の電源ランプが緑色に点灯します。

### ●スリープボタン

パソコンを一時的に中断するときに使います。このボタンを押すと、パソコンがサスペンド状態に入り、画面も暗くなります。サスペンド状態になったときは、電源ランプとスリープボタン右側のスリープランプの両方が点灯します。





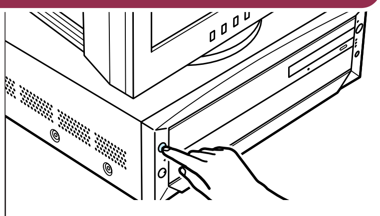

パソコン本体のほかに、ワイヤレスキーボードやメディアコントローラにも電源ボタンとスリープボタンがあります。

参照

ワイヤレスキーボード、メディアコントローラの電源ボタンとスリープボタンについて→このPARTの「ワイヤレスキーボードやメディアコントローラを使う」（P.7）

## パソコンをサスペンド状態にする

1 スリープボタンを１秒以上押す



画面が暗くなり、電源ランプとスリープランプの両方が点灯します。パソコンがサスペンド状態になると、消費電力が低く抑えられます。




パソコンの電源が切れているとき（電源ランプが消えているとき）には、スリープボタンは働きません。左の操作は、パソコンの電源が入っているときに行ってください。

## サスペンド状態を解除する

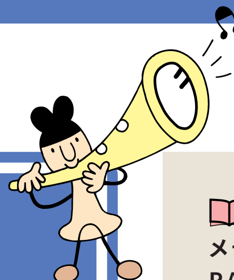
サスペンド状態を解除するには次の方法があります。
・ワイヤレスキーボードのいずれかのキー（←、→、↑、↓など）を押す
・スリープボタンを１秒以上押す
・メディアコントローラの左上のスリープボタンを押す
しばらくすると、サスペンド状態にする前の画面に戻ります。

ワイヤレスキーボードやメディアコントローラのトラックボールを操作しても、サスペンド状態を解除することができます。ただし、ワイヤレスキーボードやメディアコントローラを操作しないである程度そのままにしておくと、トラックボールが省電力モードになるため、サスペンド状態が解除できなくなります。ワイヤレスキーボードやメディアコントローラがサスペンド状態になる時間は次の通りです。

**サスペンド状態になる時間**

| | |
|---|---|
| ワイヤレスキーボード | 約３時間 |
| メディアコントローラ | 約３０分 |

・ワイヤレスキーボードを操作しないで約３時間程度経過し、ワイヤレスキーボードが省電力モードになった場合は、パソコン本体のスリープボタンを押してサスペンド状態を解除してください。
・メディアコントローラを操作しないで約３０分程度経過しメディアコントローラが省電力モードになった場合は、ワイヤレスキーボードかスリープボタンを使ってサスペンド状態を解除してください。



# ワイヤレスキーボードやメディアコントローラを使う

このパソコンには、パソコン本体のほかにワイヤレスキーボードやメディアコントローラにも電源ボタンやスリープボタンがあります。

参照
メディアコントローラについて→PART2の「メディアコントローラのトラックボールを使ってみる」(P.30)

## 離れた場所から操作するときの注意

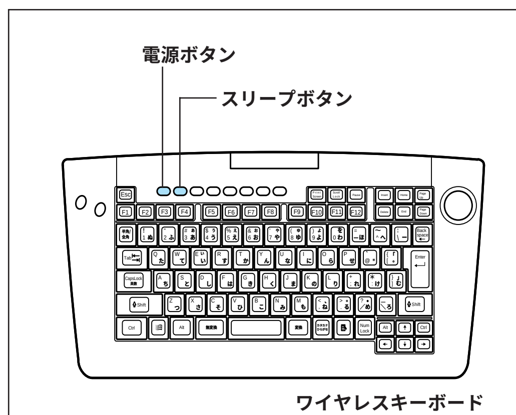
- 添付のワイヤレスキーボードやメディアコントローラは、本体のコントローラ受光部、または赤外線延長ユニットから3メートル以内で使ってください。
- 添付のワイヤレスキーボードやメディアコントローラは、本体のコントローラ受光部または、赤外線延長ユニット受光部に向けて操作してください。障害物でコントローラ受光部を隠したり遮ったりすると、操作ができないことがあります。
- 赤外線延長ユニットを接続している場合は、ワイヤレスキーボードやメディアコントローラを赤外線延長ユニットに向けて操作してください。赤外線延長ユニットを接続していると、パソコン本体のコントローラ受光部は、使用できません。

参照
ワイヤレスキーボードやメディアコントローラを使うときの注意→『STEP1 接続と準備』
ワイヤレスキーボードの詳しい説明→『リファレンス』PART 5 の「ワイヤレスキーボードの設定」
メディアコントローラの詳しい説明→『リファレンス』PART5 の「メディアコントローラの設定」

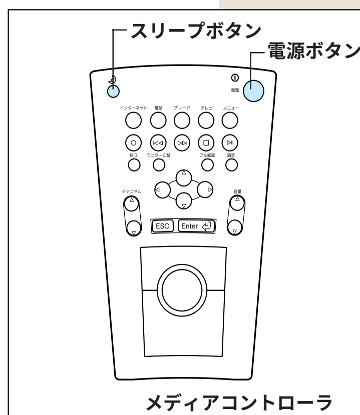
## ボタンの場所を知っておこう

今ここで実際に電源を入れたりサスペンドしてみる必要はありませんが、ワイヤレスキーボードとメディアコントローラの電源ボタンやスリープボタンの位置を覚えておきましょう。
ワイヤレスキーボードやメディアコントローラの電源ボタンを押すと、パソコン本体の電源を入れることができます。スリープボタンを押すと、パソコン本体がサスペンド状態になります。

チェック!!
電源ボタンやスリープボタンを使うときは、1秒間押し続けてください。



ワイヤレスキーボード

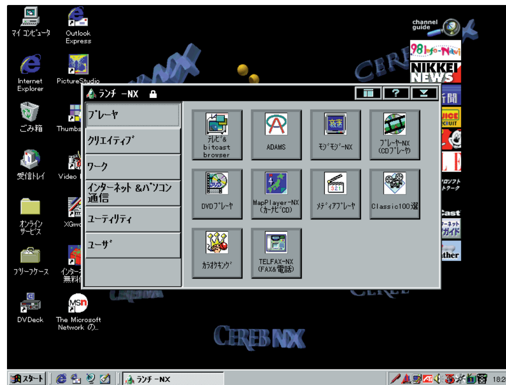


メディアコントローラ

# このPARTのまとめ

## 電源を入れるときは、ディスプレイから先に

ディスプレイ、パソコン本体の順で電源スイッチを押します。電源スイッチを押したあとは、次の画面が出るまで1分ぐらい何も操作せずに待ちます。




## 電源の切り方は、しっかりマスターする

電源を切るときは、トラックボールやクリックボタンを操作します。パソコン本体の電源が切れて画面が暗くなったのを確認してから、ディスプレイの電源も切ります。

## 中断するときは、スリープボタン

本体やワイヤレスキーボード、メディアコントローラのスリープボタンを押すと、画面が暗くなってパソコンがサスペンド状態になります。サスペンド状態のときは、電源ランプとスリープランプの両方とも点灯しているので、ランプを確認する習慣をつけるようにしましょう。

## 画面が暗くなったときも、スリープボタン

パソコン本体の電源を切った覚えがないのに画面が暗くなってしまったときは、ディスプレイの電源を切ってしまう前にスリープランプが点灯していないか確認しましょう。スリープランプがついていたら、次の方法のいずれかでサスペンド状態を解除してください。

・ワイヤレスキーボードのいずれかのキー（←、→、↑、↓など）を押す
・スリープボタンを１秒以上押す
・メディアコントローラのカーソルボタンを押す

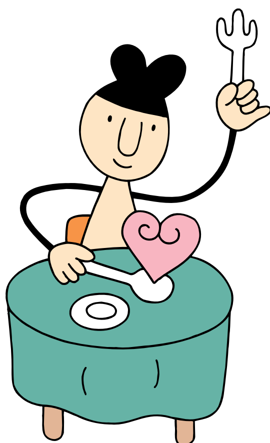
しばらくすると、サスペンド状態にする前の画面に戻ります。

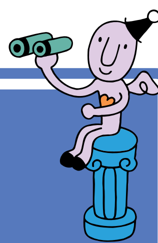
PART

# 2

# トラックボールに慣れよう

電源の入れ方と切り方をマスターしたら、トラックボールやクリックボタンの使い方を練習しておきましょう。トラックボールやクリックボタンは、このパソコンを扱うときの基本的な道具です。ここでは、ソリティアというトランプゲームを楽しみながら、操作を練習します。





# ランチ-NXは、ソフトの発射台

ランチといっても昼食のランチのことじゃありません。英語で書くと「launch」、発射するとか打ち上げるという意味の言葉です。ランチ-NXは、このパソコンに入っている、いろいろなソフトを使い始めるための発射台のようなソフトです。

## ランチ-NXの画面

パソコンの電源を入れたときに、いつも画面のまん中に表示されるのが、ランチ-NXの画面です。まず、じっくり画面を見て、次の2つの部分の場所を確認してください。




**グループを選ぶボタンの集まり**

**ソフトを始めるボタンの集まり**

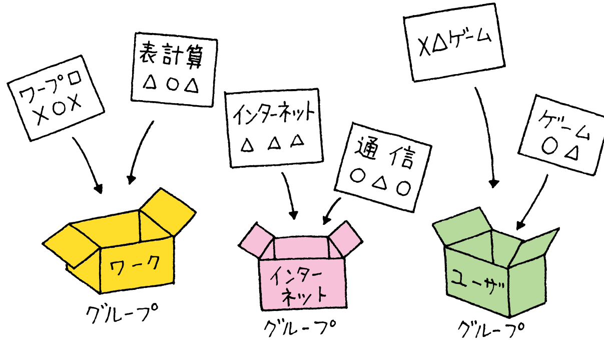
ランチ-NXのメニューは好きなように変更することができます。

参照

ランチ-NXのメニューを変更するには→『リファレンス』PART1の「ランチ-NXの設定」

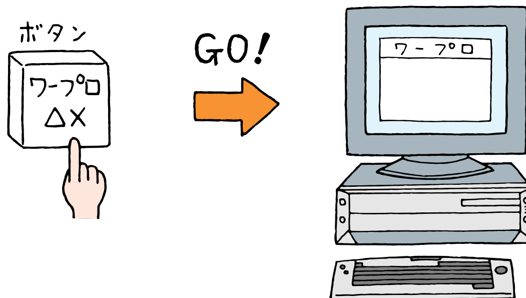
### ●グループを選ぶボタンの集まり

このパソコンには、たくさんのソフト（アプリケーションやデータ）が入っています。目的のソフトを探すときに苦労しなくてすむように、ソフトは分野別に分類されています。この分類のことを「グループ」と呼んでいます。グループを選ぶときに使うのが、これらのボタンです。




### ●ソフトを始めるボタンの集まり

前の「グループを選ぶボタン」で目的のグループを選択すると、そのグループに入っているソフトがここに表示されます。ここに表示されたボタンにトラックボールを使ってポインタを合わせ、クリックすると、そのソフトが始まります。







ランチ-NXでグループを選択するときは、左側のボタンから目的のグループのボタンをクリックする。ソフトを始めるときには、右側のボタンから目的のソフトのボタンをクリックする。

たとえば「クリエイティブ」というグループには、画像を編集したり、動画を取り込んだり音楽を楽しむためのアプリケーションが入っています。「ワーク」というグループには、ワープロや表計算など、よく使うアプリケーションが入っています。「インターネット＆パソコン通信」というグループには、インターネットやパソコン通信用のアプリケーションが入っています。
また、「ユーザ」というグループには、あなたがアプリケーションを組み込むと、自動的にボタンが追加されます。

参照
これらのボタンで表示されているいろいろなソフトについては→PART7の「他のソフトを活用する」(p.144)



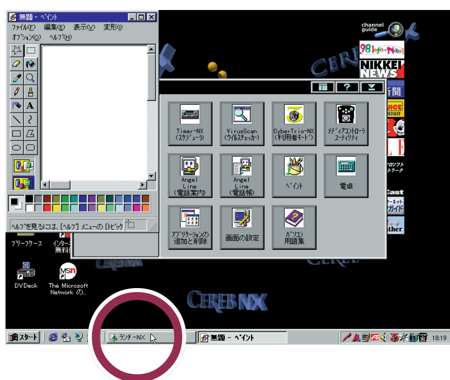
## ランチ -NX の画面が見えないときは

パソコンの電源を入れると、ランチ -NX は常に起動されています。ランチ-NXの画面が見えない場合は、次のように対処してください。

### 他の画面の下に隠れているとき

ワープロなど、他のソフトを利用している途中で、ランチ -NX の画面を見るには、画面の一番下にある「ランチ-NX」をクリックします。

1 「ランチ -NX」をクリックする





### ランチの画面が見あたらないとき

次の画面のように、ランチ -NX の画面がどこにも見えないときは、画面が最小化されています。画面の一番下にある「ランチ -NX」をクリックしてください。

1 「ランチ -NX」をクリックする



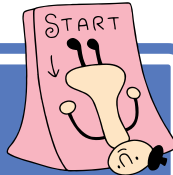


メディアコントローラのメニューボタンを押しても、ランチ -NX を表示させることができます。



ウィンドウの最小化について→PART5 の「ウィンドウを最小化する」（p.119）

# ゲームを始める




トラックボールの練習は、「ソリティア」というトランプゲームを使って行います。最初に、このソフトをパソコンの画面に呼び出しましょう。ソリティアもランチ-NXから始めます。

**用語**

**起動する・立ち上げる**

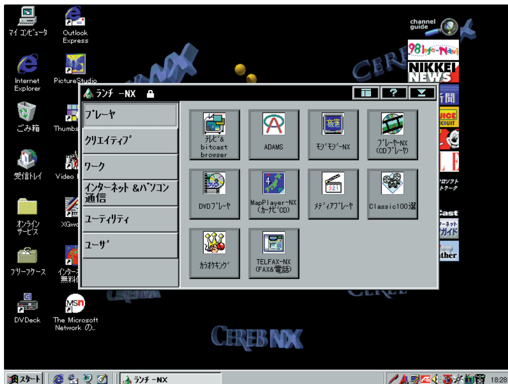
パソコンには、文章を作るためのソフトや計算するためのソフトなど、さまざまなものが入っています。これらのソフトを目的に応じて選択し、画面に呼び出してくることを、「ソフトを起動する」とか「ソフトを立ち上げる」などといいます。

## 間違えてもだいじょうぶ

はじめてパソコンを操作するときは、思わぬ場所に矢印が動いてしまったり、思い通りに操作できなくてイライラすることもあるかもしれません。でも、少し操作を間違えたぐらいでは、パソコンは壊れたりしません。落ちついて、ゆっくり操作を進めてください。迷ったり、わからなくなったりしたときは、手順の右側の説明文も読んでみるとよいでしょう。

## ランチ-NXから「ソリティア」を起動する

**1 パソコンの画面が電源を入れた直後の画面になっていることを確かめる**




参照
パソコンの電源が切れているとき→PART1の「電源を入れる」(p.2)

**チェック!!**

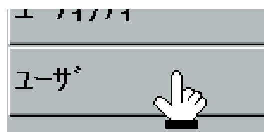
パソコンの電源が入っていて、左の画面と異なる画面が表示されている場合、いったん電源を切って電源を入れ直してください。

参照
電源の切り方→PART1の「電源を切る」(p.3)
電源の入れ方→PART1の「電源を入れる」(p.2)

**2** トラックボールを使って「ユーザ」に矢印を合わせ、

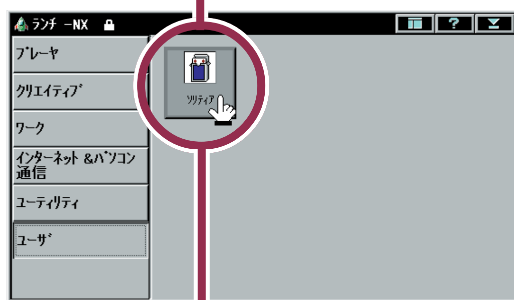



**3** 矢印が手の形に変わったら、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す




ランチ -NX の「ユーザー」グループが表示される

**4** 「ソリティア」に矢印を合わせ、




**5** 矢印が手の形に変わったら、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す

「ユーザ」に矢印を合わせ、矢印が手の形にかわったら、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押すと、画面右側の内容がかわります。

「ソリティア」が起動し、次のような画面が表示される



（この画面は表示の一例です）

6 上の画面を確認したら、p.18の「ソリティアで遊ぶ」に進む

別の画面が表示されるなど、操作を間違ってしまったときは、次のページの「こんなときは」を読んで解決してください。


ポイント

「ソリティア」を起動するとき
①「ユーザ」に手のマークを合わせ、左クリックボタンを１回押す
②「ソリティア」に手のマークを合わせ、左クリックボタンを１回押す

チェック!!

実際に表示されるカードの順番は、左の画面と異なっていてもかまいません。そのまま、続けてください。

## こんなときは

操作を間違えたときは、次のように対処してください。正しく「ソリティア」を起動できたときは、以下の操作を行う必要はありません。



### 別の画面が表示されたら

「ソリティア」とは別のボタンを押すと、別のソフトが起動されてしまいます。画面の右上にある ☒ を押すと、間違って起動したソフトの画面を閉じることができます。

1 画面の右上にある ☒ に矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す

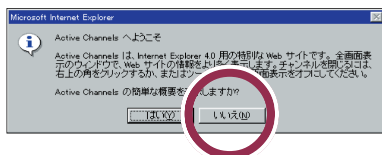





### 「Microsoft Internet Explorer」画面が表示されたら

画面の右側で、カラフルなボタンが縦に並んだ所をクリックすると、次の画面が表示されます。これは、インターネットからニュースなどの情報サービスを受けるためのボタンですが、いまは使用しません。

1 「いいえ」に矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す




「いいえ」を押すと、「インターネット接続ウィザード」という画面が表示されます。次のページの「「インターネット接続ウィザード」画面が表示されたら」に従って、画面を閉じてください。

**チェック!!**

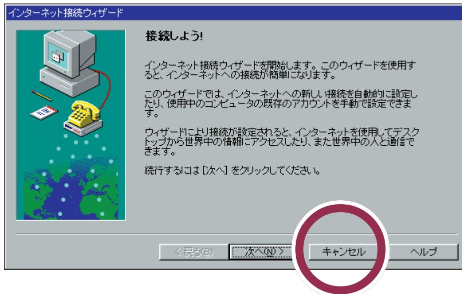
左の画面と違う画面が表示されることもありますが、画面の右上に ☒ があれば、同じ操作で画面を閉じることができます。



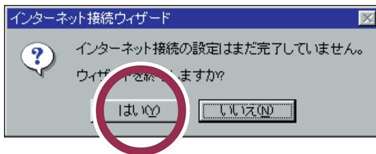
### 「インターネット接続ウィザード」画面が表示されたら

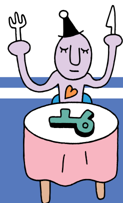
「キャンセル」をクリックしてください。インターネットについては、『インターネット入門』で説明していますが、そちらに進む前にこの本を最後まで読み進めてください。

**1** 「キャンセル」に矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す




**2** 「はい」に矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す





# ソリティアで遊ぶ

「ソリティア」はトラックボールとクリックボタンだけで遊ぶことのできるゲームです。楽しく遊びながら、トラックボールに慣れていきましょう。

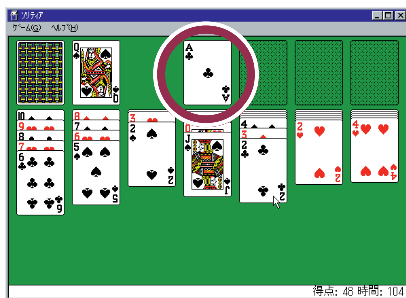
## ソリティアはこんなゲーム：ルールの説明

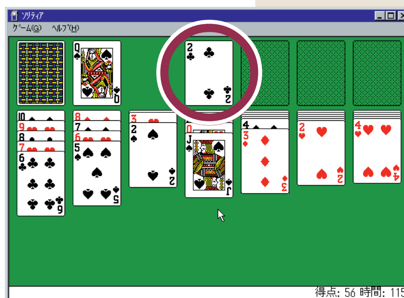
ソリティアは、ジョーカーを除く一組のトランプを使って、同じ種類のカードを、エースからキングまで数字の小さい順に並べ直すゲームです。まず、簡単にルールを説明します。




### ●組札の場所には、種類別に、数字の小さなカードから順番に置く

ゲームを始めるときは、組札の場所にはカードは何もありません。場札または山札からカードをめくり、A（エース）が出たら組札の場所に移します（4列分の空き場所がありますが、どの列でも構いません）。それ以降、置いたエースと同じ種類のカードを数字の小さなカードから順番に重ねていきます。




エースと同じ種類のカードを重ねる

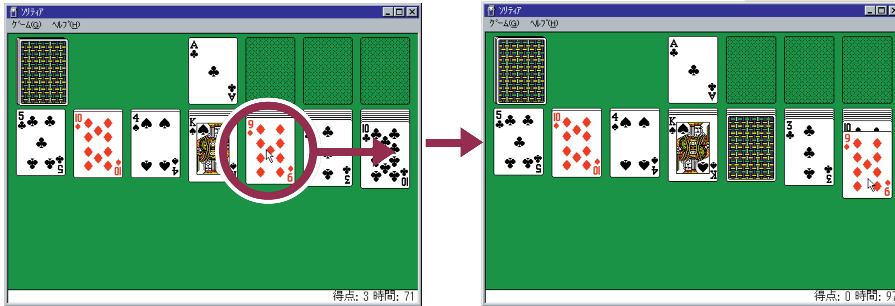
### ●場札から組札へカードを移動したら

カードを場札から組札に移したら、伏せてある山札のカードをめくります。

## ●場札には赤黒交互に、数字の大きなカードから順番にカードを重ねる

場札の各列には、めくってあるカードよりひとつ数字の小さいカードを、赤黒交互に重ねていくことができます。ある列から他の列に移動できるカードがあれば、移動します。

ある列のカードが全部なくなったときは、場札や山札をめくってキングが出れば、空いている場所に置くことができます。



## ●山札をめくってカードを移動する

場札のカードがどこにも移動できないときは、山札をめくります。エースが出れば、組札の場所に移動します。組札または場札のカードの上に重ねることができるカードが出たら、組札または場札に移動します。どこにも移動できなければ、次のカードをめくります。

山札を何度めくってもどこにも移動できないことがあります。そのときは、新しいカードを配って最初から挑戦します。

## ●組札にカードを並べ終えたら

すべてのカードを種類別に、数字の小さい順に組札に並べ終えることができたらあなたの勝ちです。



最初のうちは、なかなか勝てないものですが、慣れてくるとコツがつかめて、10回から20回に1回ぐらいの割合で勝てるようになります。

### やってみましょう

ルールがだいたいわかったところで、実際にやってみましょう。トラックボールやクリックボタンに慣れたところでゲームを終了してください。「ソリティア」はいつでもやめることができます。

場札から組札へカードを置くには→p．22
場札のカードを移動させるには→p．24
山札のカードをめくって移動させるには→p．26
ゲームをやり直すには→p．28
ゲームを終了するには→p．29

「ソリティア」の画面が見えないときは、次のページの「こんなときは」を読んで解決してください。

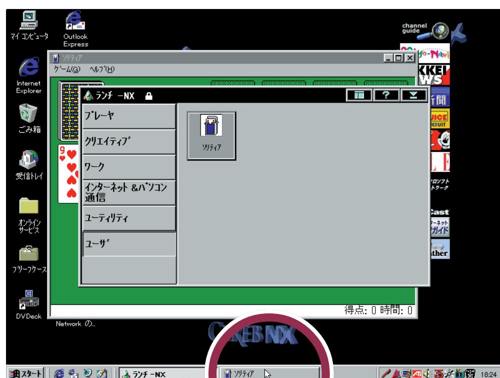


## こんなときは

「ソリティア」の画面が見えないときは、次のように対処してください。

### 他の画面の下に隠れているとき

他の画面の下に「ソリティア」の画面が隠れてしまっているときは、画面の一番下にある「ソリティア」に矢印を合わせて、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを１回押します。





### 「ソリティア」の画面が見あたらないとき

次の画面のように、「ソリティア」の画面がどこにも見あたらないときは、画面が最小化されています。画面の一番下にある「ソリティア」に矢印を合わせて、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを１回押します。






正しく「ソリティア」の画面が表示されているときはｐ 22 に進んでください。


参照

画面が隠れて見えないとき→本書 PART 5 の「ウィンドウの重なり方を変える」（p.127）


参照

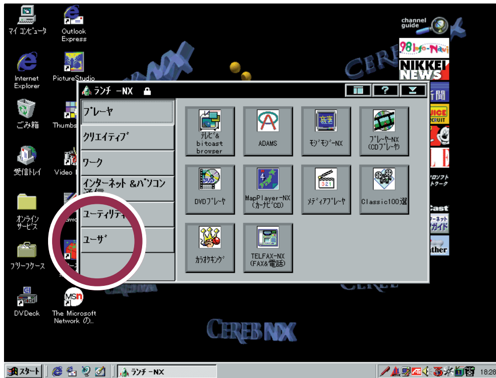
ウィンドウの最小化について→ PART5 の「ウィンドウを最小化する」（p.119）



### 「ソリティア」の画面が消え、画面の一番下にあった「ソリティア」も消えた

「ソリティア」を終了してしまったことが考えられます。この場合は、次の手順に従ってもう一度「ソリティア」を起動し直してください。

**1** 「ユーザ」に矢印を合わせ、矢印が手の形に変わったら、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを１回押す。




**2** 「ソリティア」に矢印を合わせ、矢印が手の形に変わったら、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを１回押す。



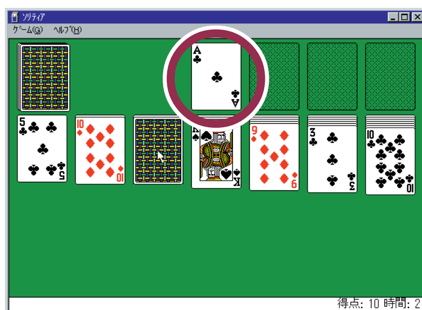
## 場札から組札へカードを置く

1 組札に置くカードに矢印の先端を合わせる



2 ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを、すばやく2回続けて押す

クラブのエースが組札に移動する






ポイント

画面に表示された絵や記号などに矢印の先端を合わせる操作を「ポイント」という。
ワイヤレスキーボードの左クリックボタンをすばやく2回続けて押す❷の操作を「ダブルクリック」という。

場札に出たカードで組札の場所に置けるカード（最初はエース）があれば、移動します。
ここでは、クラブのエースを組札に移動します。

参照
場札のカードが組札に置けないとき
→「場札のカードを移動する」(p.24)
→「山札のカードをめくって移動する」(p.26)

用語

**ポインタ**

トラックボールを動かすと一緒に動く矢印のことを「ポインタ」と呼びます。画面上の位置や選んだ機能によって、 や など、ポインタの形はさまざまに変わります。

用語

**ポイント**

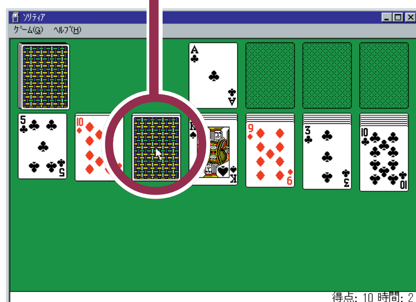
トラックボールを動かして、画面に表示された絵や記号などに矢印の先端を合わせる操作です。

用語

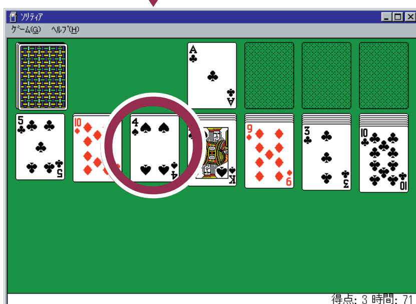
**ダブルクリック**

画面に表示された絵や記号などに矢印の先端を合わせ、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンをすばやく2回続けて押す操作です。カチカチとテンポよく押してください。1回目と2回目の間隔があきすぎると、別の操作になってしまいます。

**3** **伏せてあるカードをポイントし、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す**




伏せてあったカードがめくれる




カードを移動させたあとに、伏せてあるカードをめくります。

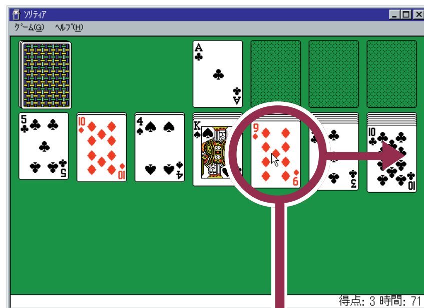



**クリック**

画面に表示された絵や記号などをポイントして、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを 1 回押す操作です。クリックはすでに何回も操作しています。ソリティアを起動するときにも使いました。

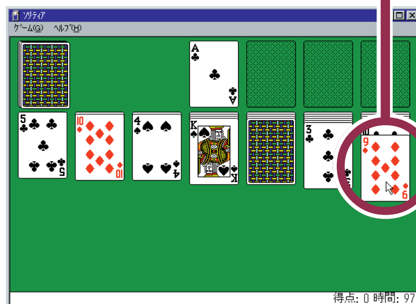
## 場札のカードを移動する

**1 移動できるカードをポイントする**



**2 左クリックボタンを押したまま、カードを移動したい場所までトラックボールを動かす**

**3 カードを重ねたらボタンを離す**



**4 伏せてあるカードをクリックする**




画面に表示された絵や記号などをポイントして、左クリックボタンを押したままトラックボールを動かし、適当な場所で左クリックボタンを離す操作をまとめてドラッグ＆ドロップという。

場札の各列には、めくってあるカードよりひとつ小さい数字のカードを、赤黒交互に重ねていくことができます。
ここでは「ダイヤの9」を「クラブの10」に重ねることができます。
カードは何枚重ねてあっても一度にまとめて動かすことができます。
2 枚以上のカードを一度に移動するには、移動させたいカードのうち、一番下のカードの見えている部分をポイントします。




間違った場所に置こうとしたり、カードが移動する場所にきちんと重なっていないと、元の場所に戻ってしまいます。




❷ の操作をドラッグ、❸ の操作をドロップといいます。




**ドラッグ＆ドロップ**

画面に表示された絵や記号などをポイントして、左クリックボタンを押したままトラックボールを動かす操作のことをドラッグ、適当な場所で左クリックボタンを離す操作をドロップといいます。2 つの操作をまとめてドラッグ＆ドロップといいます。画面で何かを動かしたり、大きさを変えたりするときに使います。

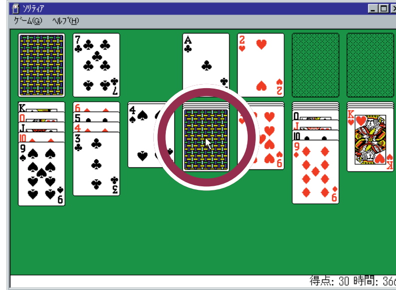
●列のカードがなくなったら

ある列のカードが全部なくなったときは、場札や山札にキングが出れば、そこに置くことができます。




空いた列にキングを移動する

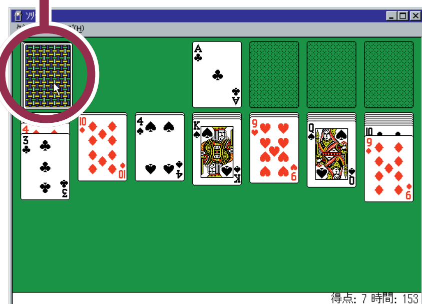




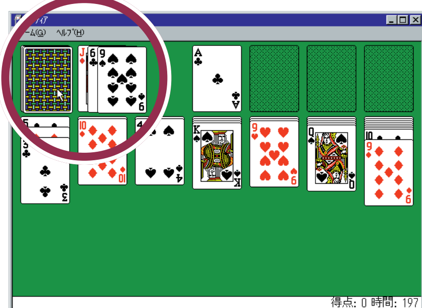

伏せてあるカードをめくる

## 山札のカードをめくって移動する

**1** 山札をポイントし、クリックする



山札がめくれる



**2** 移動できるカードをポイントし、



**3** カードを、移動したい場所にドラッグする

場札のカードがどこにも移動できないときは、山札をめくります。エースが出れば、組札の場所に移動します。どこにも移動できなければ、次のカードをめくります。

**チェック!!**

めくったカードの中にエースや場札に置けるカードがあっても、一番上にないと移動できません。

山札のカードを組札に移動するときは、組札に置きたいカードをポイントし、ダブルクリックします。

参照

ダブルクリック→「場札から組札へカードを置く」（p.22）




●山札をすべてめくってしまったときは

山札をすべてめくってしまったときは、山札の左をクリックするとめくった山札をもう一度裏返すことができます。

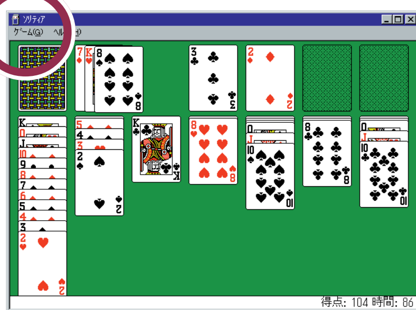



山札を何度めくってもどこにも移動できないことがあります。そのときは、新しいカードを配って最初から挑戦します。

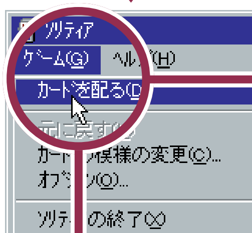
参照
もう一度挑戦する→「ゲームをもう一度やり直す」（p.28）

## ゲームをもう一度やり直す

**1** 「ゲーム」をクリックする



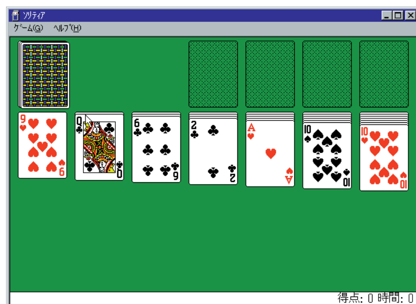

「ゲーム」メニューが表示される




**2** 「カードを配る」をポイントする

**3** 色が変わったことを確認して、クリックする

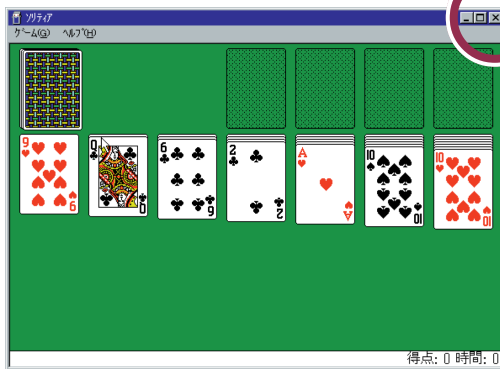
新しくカードが配られる



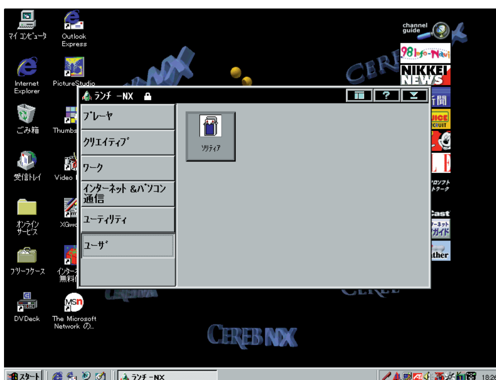
# ソリティアを終わる

ソリティアは楽しめましたか？このゲームをやるうちに、トラックボールの基本的な操作に慣れてきたと思います。では、ここで「ソリティア」を終了しましょう。

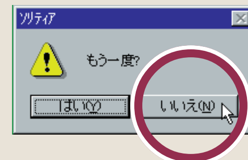
**1** ☒をクリックする



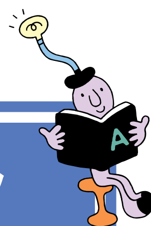
「ソリティア」が終了してこの画面に戻る



組札にすべてのカードを並べ終えると、次のような画面が表示されます。



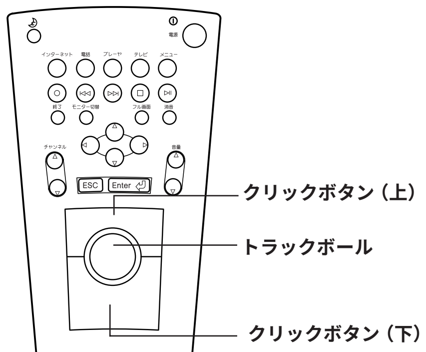

「いいえ」をクリックするとソリティアを終了することができます。



# メディアコントローラのトラックボールを使ってみる

メディアコントローラとは､テレビのリモコンのような感覚で、このパソコンを操作することができる装置です。メディアコントローラにもトラックボールやクリックボタンがあって、ワイヤレスキーボードのトラックボールやクリックボタンと同様の機能があります。

## メディアコントローラのトラックボール




メディアコントローラにはトラックボールがあります。
メディアコントローラのボタンの役割は､ワイヤレスキーボードのクリックボタンと比べると次のようになります。

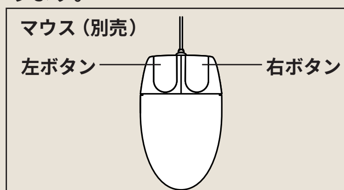
| メディアコントローラ | ワイヤレスキーボード |
|---|---|
| クリックボタン（上） | 右クリックボタン |
| クリックボタン（下） | 左クリックボタン |

・クリック ……………………… メディアコントローラのクリックボタン(下)を 1 回押す
・ダブルクリック ……………… メディアコントローラのクリックボタン(下)をすばやく 2 回続けて押す
・ドラッグ＆ドロップ ……… メディアコントローラのクリックボタン(下)を押したまま､トラックボールを動かして､適当な位置まで動かしたらボタンを離す

チェック!!

メディアコントローラを使うときは、メディアコントローラを本体のコントローラ受光部または、赤外線延長ユニット受光部に向けて操作してください。

メディアコントローラには、他にもたくさんのボタンがありますが、アプリケーションによって機能が異なります。




マウスには 2 つのボタンがついています。マウスの左ボタンがワイヤレスキーボードの左クリックボタン、マウスの右ボタンがワイヤレスキーボードの右クリックボタンにそれぞれ対応しています。


参照

メディアコントローラの詳しい説明→『リファレンス』PART5 の「メディアコントローラの設定」

参照

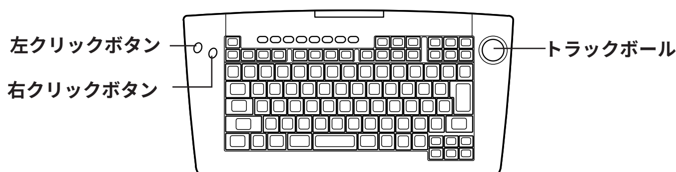
メディアコントローラ、ワイヤレスキーボードとマウスのボタン操作について→付録の「共通操作早見表」(p.172)

# このPARTのまとめ

ここでは、ソリティアというゲームを使って、トラックボールの基本操作を練習しました。ポインタ操作の基本用語、ポイント、クリック、ダブルクリック、ドラッグ＆ドロップは、しっかり覚えてください。

## 左クリックボタンと右クリックボタン

ワイヤレスキーボードの左側には左クリックボタンと右クリックボタンが付いています。通常、頻繁に使うのは左クリックボタンです。左と右を押し間違えると、思った通りに働かないので、慣れないうちは注意が必要です。




## ポイント

ワイヤレスキーボードやメディアコントローラのトラックボールを動かして、画面に表示された絵や記号などに矢印の先端を合わせる操作です。

### ●ポイントすると説明が出ることもある




画面の左下にある「スタート」ボタンをポイントすると、「このボタンから始めます」という説明が出てきます。このように、画面の絵やボタンには、ポイントすると説明が表示されるものがあります（ポイントしても、何も変化が起きないものもあります）。

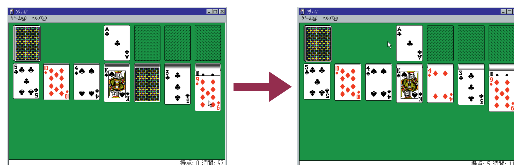
## クリック

画面に表示された絵や記号などをポイントして、ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを１回押す操作です。

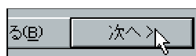
### ●操作の基本はクリック

クリックは次のようなときに使います。

操作の対象を選ぶ（カードを選んでめくる）



画面を先に進める




ソフトを終了する



このPARTのまとめ

## ダブルクリック

画面に表示された絵や記号などをポイントして、ワイヤレスキーボードやメディアコントローラの左クリックボタンをすばやく2回続けて押す操作です。ダブルクリックを利用した操作は、もう少しパソコンに慣れてくると、パソコンの中に入っているソフトやデータを調べるときなどに、よく使うようになります。

参照

パソコンの中にあるソフトやデータを見るには→『STEP3　活用』PART 7の「デスクトップを使ってみよう」

## ドラッグ＆ドロップ

ワイヤレスキーボードの左クリックボタンを押したまま、ワイヤレスキーボードのトラックボールを動かして、適当な位置まで動かす操作をドラッグ、押し続けていたボタンから指を離し、位置を決定する操作をドロップと呼びます。ドラッグは、画面内での移動や大きさの変更に使います。また、ソリティアではカードを移動させるときに使いました。

参照

画面内の移動やサイズ変更→PART 5「ウィンドウの扱いをマスターしよう」（p.115）

### 右クリック

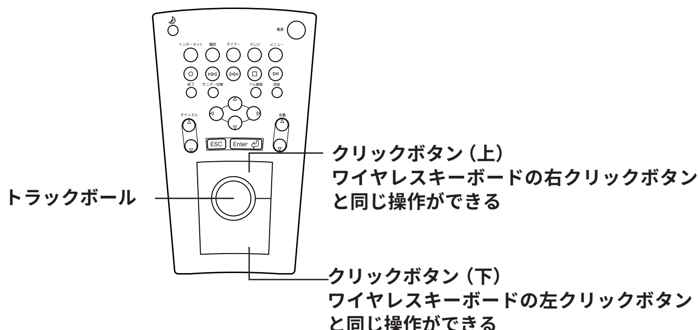
ウィンドウに表示されたボタンなどに矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードの右クリックボタンを１回押す操作です。パソコンの操作に慣れてくると、大変便利ですが、慣れるまでは使う必要がありません。

参照

右クリック→『STEP 3　活用』PART 8の「ファイルを整理する」の「ファイルやフォルダの名前を変える」

## メディアコントローラも使うことができます

メディアコントローラを使って、ワイヤレスキーボードと同様の操作ができます。



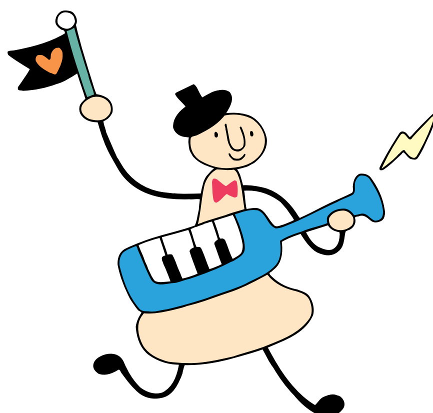
PART

# 3

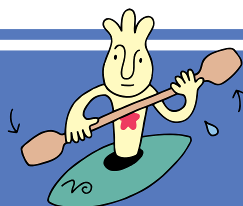
# ワイヤレスキーボードに慣れよう（一太郎編）

Word モデルをお使いの方は、
「PART 4　ワイヤレスキーボードに慣れよう（Word 編）」（p.75）に進んでください。

このパソコンのワイヤレスキーボードを見ると、キーがやたらに並んでいて、「こんなものを使いこなせるんだろうか」って不安になるかもしれません。でも、だいじょうぶ。最初は誰でも1本指でポツポツ打ち始めるのです。「習うより慣れろ」という気持ちで、第一歩を踏み出しましょう。



# プリンタを準備する



このパートの最後の方では、作った文書を印刷します。プリンタをお持ちの方はプリンタの準備を整えておきましょう。

プリンタの準備のしかたについては、『拡張の手引き』PART 1の「プリンタを使う」で説明しています。
プリンタをお持ちの方は、ここでいったんパソコンの電源を切り、『拡張の手引き』をご覧になり、プリンタを準備してください。
プリンタの準備が終わったら、プリンタの電源が入っていることを確認し、またここに戻ってきて操作を進めましょう。

プリンタをお持ちでない方は、そのまま次のページへ進んでください。



電源を切る操作については→PART1の「電源を切る」（p.3）

## USBプリンタは、電源を入れたまま接続できる

USB対応プリンタをお持ちの方は、パソコンの電源を入れたまま接続することができます。詳しくは、『拡張の手引き』PART 1の「プリンタを使う」およびプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。
また、USBについては、『拡張の手引き』PART10の「その他の機器を使う」の「USBの基礎知識」をご覧ください。



# 一太郎を始める

このパソコンには、一太郎モデルとWordモデルがあります。ここでは、一太郎というワープロソフトを使って、キーボードに慣れる練習をします。ご購入のモデルに合った説明のほうを読んでください。

参照
Wordモデルをお使いの方→PART4の「ワイヤレスキーボードに慣れよう（Word編）」（p.75）

## 一太郎を使う準備をする

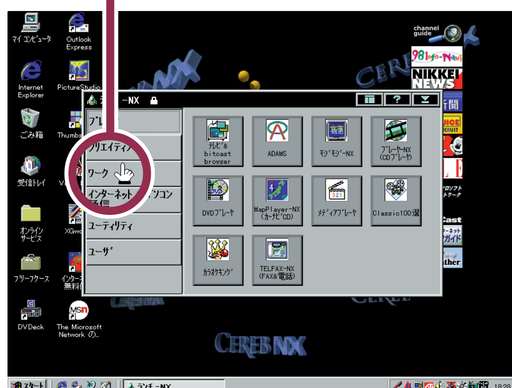
パソコンをお買い上げ後、最初に一太郎を起動するときは、次の手順で使用許諾契約に同意していただく必要があります。

**1 一太郎Office8「J-Sheet（ジェイシート）」を用意する**




「一太郎Office8」と書かれた白い箱を開くと、「一太郎Office8マニュアル・部材セット」というシールを貼ったパックが入っています。「一太郎8バリューパックプラス」というシールが貼ってあるものは、ここでは使用しません。

**2 ランチ-NXの「ワーク」をクリックする**

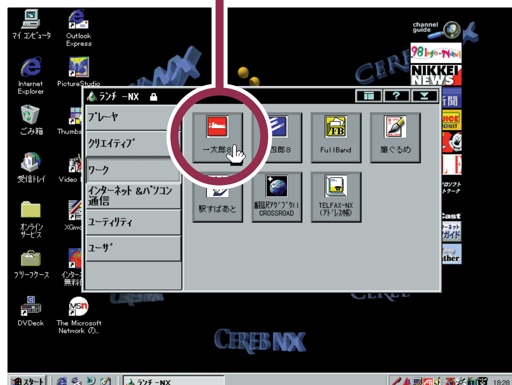



画面の中央に表示されているのは「ランチ-NX」の「プレーヤ」です。パソコンの電源を入れた直後には「プレーヤ」が表示されています。ワープロや表計算などを起動するためのボタンが集まっているのは「ワーク」です。

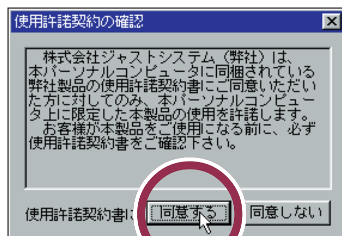
参照
ランチ-NXをはじめてお使いの方→PART 2の「ランチ-NXは、ソフトの発射台」（p.10）

**3** 「一太郎 8」をクリックする

この画面が表示される




初回起動時のみこの画面が出る




**4** 「同意する」をクリックする

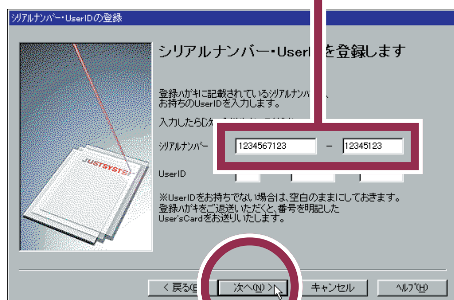



**5** 「次へ」をクリックする

「使用許諾契約の確認」という画面が表示されます。一太郎を使うためには、ソフトウェアを違法にコピーしないという契約に同意する必要があります。同意しない場合は、一太郎を使うことができません。

「使用者名・法人名を登録します」という画面では、あらかじめ使用者名の欄に「NEC-PCuser」と入っています。ここでは、何も変更せずに「次へ」をクリックします。

## 6 一太郎 Office8 のシリアルナンバーを打ち込む



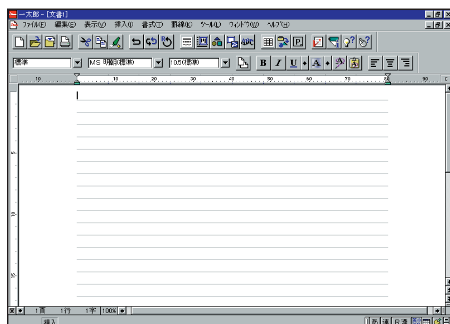

画面内のシリアルナンバーの数字は仮のものです

## 7 「次へ」をクリックする




## 8 「完了」をクリックする

一太郎の画面が出る





ポイント

一太郎モデルでワープロを起動するときは、ランチーNX の「ワーク」から「一太郎 8」をクリックする。お買い上げ後、最初に使うときだけ、使用許諾契約に同意してシリアルナンバーを入力する。

シリアルナンバーは、J-Sheet 上の「登録ハガキ」に記載されています。

シリアルナンバー



「UserID」のほうは、空欄のままにしておきます。

シリアルナンバーを打ち込むのは、パソコンを購入して最初に一太郎を起動するときだけです。次からは、ランチー NX の画面で「一太郎 8」をクリックすると、最初から左の画面が表示されます。




# 文字の入れ方を決める

文字の入れ方には、２種類の方法があります。ひとつはローマ字のつづりを打っていく方法で、これを「ローマ字入力」といいます。もうひとつは、直接ひらがなを打つ方法で、こちらは「かな入力」といいます。お買い上げ後、最初に一太郎を起動したときは、ローマ字入力に設定されています。

## ローマ字入力とかな入力

ローマ字入力とかな入力にはそれぞれ特長があります。次の説明を読んで自分にあった方を選んでください。


参照

ローマ字のつづり方→付録の「ローマ字つづり一覧」（p.170）

### ●ローマ字入力の特長

【A】を押すと「あ」と打つことができます。【T】【A】と続けて押すと、「た」が入ります。ローマ字入力は、母音（A I U E O）と子音（KGSZTDNHPBMYRW）の組み合わせで日本語を入力します。使うキーの種類は少なくてすみますが、その分、キーを打つ回数は多くなります。次のような人に向いています。

・ローマ字を覚えている人
・インターネットを使いたい人（インターネットでは、アルファベットをよく使います）
・英単語など、アルファベットを使うことが多い人

### ●かな入力の特長

【ち】（アルファベットの【A】と同じキー）を押すと、「ち」と打つことができます。ローマ字入力に比べて、使うキーの種類は多くなりますが、その分、キーを打つ回数は少なくなります。キーに書かれた文字をそのまま打つと、ひらがなが打てます。次のような人に向いています。

・ローマ字を覚えていない人
・キー配列を覚えて速く入力したい人

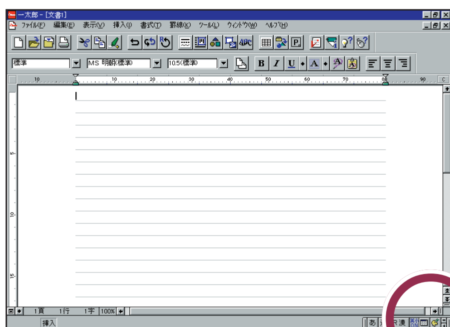
**ローマ字入力の人は、そのまま p.41 に進む**

パソコンをお買い上げ後、最初に一太郎を起動したときは、あらかじめローマ字入力に設定されています。ローマ字入力で文字を打っていく場合、次の説明を読み飛ばして「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.41）に進んでください。

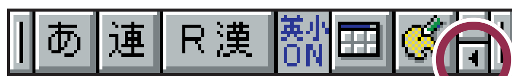
**かな入力の人は、次のページに進む**

## かな入力に切り替えるには

かな入力で文字を打つ場合、以下の手順にしたがって設定を変更してください。1度以下の操作を行えば、次回以降は、電源を入れ直しても最初からかな入力に設定されています。



**1** 日本語入力ツールバーの右端にある をクリックする




ツールバーが長くなる




**2** ツールバーの をクリックする




この画面が表示される




**チェック!!**

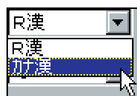
ローマ字入力を利用する場合は、設定を切り替える必要はありません。このPARTの「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.41）に進んでください。

ボタンは小さいので、1度でうまくクリックできない場合があります。クリックしてもツールバーが長くならないときは、もう一度クリックしてみてください。

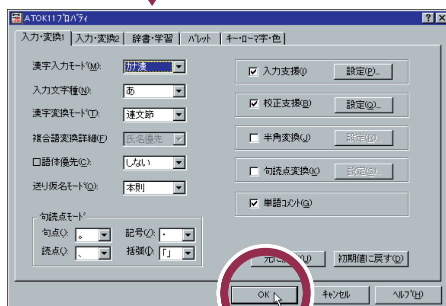


3 この  をクリックして、

4 トラックボールを下に動かして、「カナ漢」をクリックする。




「R漢」が「カナ漢」に変わる



5 「OK」をクリックする

6 日本語入力ツールバーの右端にある ▶ をクリックする




ツールバーが短くなる




これで、ローマ字入力からかな入力への切り替えが完了しました。電源を切って入れ直しても、この設定は変わりません。


ポイント

かな入力にするためには、「ATOK11のプロパティ」画面で、「R漢」を「カナ漢」に変更する。

● かな入力からローマ字入力に切り替えるには

かな入力からローマ字入力に切り替えることもできます。この場合、「かな入力に切り替えるには」(p.39)で説明した手順と同じように操作します。まず、「ATOK11プロパティ」の画面を出してください。漢字入力モードの欄に「カナ漢」と表示されているはずです。p.40の手順4で「R漢」をクリックし、残りの手順を同じように進めてください。

チェック!!

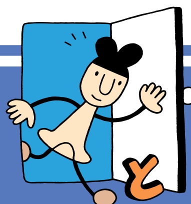
「カナ漢」のクリックを忘れずに

▼ をクリックしてトラックボールを下に動かすと、「カナ漢」が青く反転します。ここで、必ず左クリックボタンをクリックしてください。左クリックボタンのクリックを忘れると、「カナ漢」が反転したように見えても、設定は変更されていません。



「かな入力」に設定を変更した人は→このPARTの「ひらがなを打つ(かな入力)」(p.44)

# ひらがなを打つ（ローマ字入力）



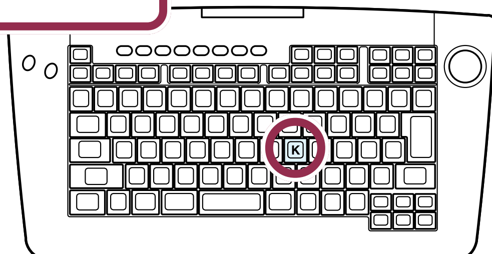

ここは、ローマ字入力で文字を打っていくことに決めた人のためのページです。最初に「こんにちは」と打ってみましょう。

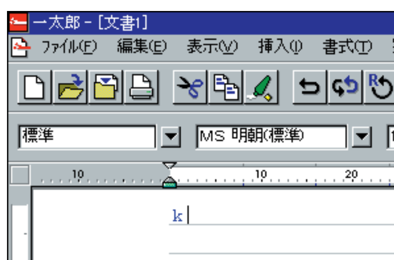



「かな入力」に設定を変更した人は→このPARTの「ひらがなを打つ（かな入力）」（p.44）

## 「こんにちは」と打つ

**1 【K】を押す**



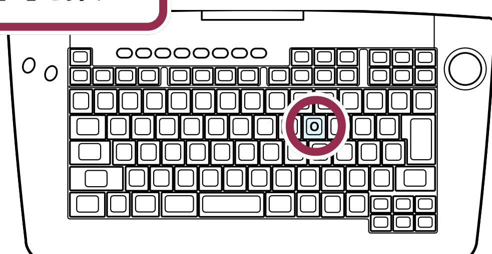

「k」と表示される

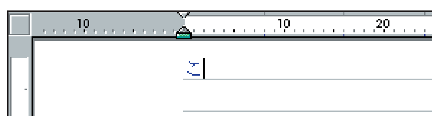



**カーソル**

ワープロのウィンドウ内で点滅している「｜」を「カーソル」と呼びます。カーソルの位置から、右方向に文字が入っていきます。

**2 【O】を押す**

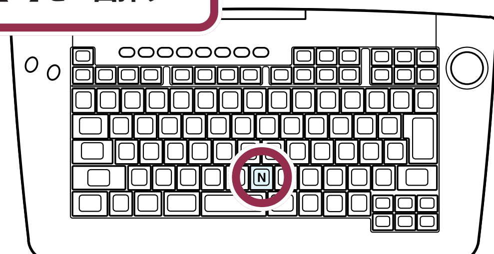


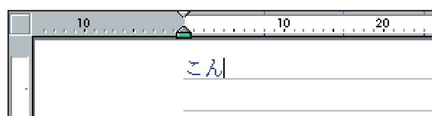




「こ」に変わる

ローマ字入力の場合、「あいうえお（AIUEO）」以外のひらがなは、まず最初のアルファベット（「か」なら「K」）が出て、次にひらがなに変わります。

3 【N】を２回押す





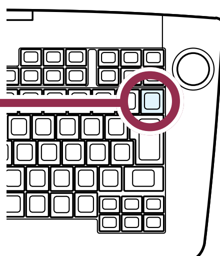

【N】を続けて２回押すと「ん」が出る

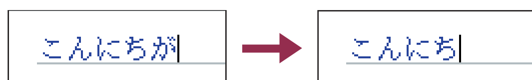
4 【N】【I】、【T】【I】、【H】【A】と押す



## 文字を打ち間違えたら

1 BackSpaceを押す






最後に打った文字が消える

2 正しい文字を打ち直す




打ち間違えたときは、BackSpaceを押すと、後ろから文字を消すことができる。

### 【N】を続けて２回押すと「ん」が出る

「ん」と打つには、【N】を続けて２回押します。

### 「ち」は、【C】【H】【I】でもOK

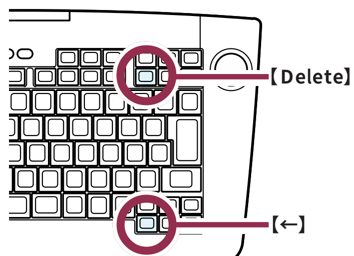
ヘボン式のローマ字つづりでは、「ち」を「CHI」と書きますが、その方法でもだいじょうぶです。

### カーソルの左側の文字が消える

【BackSpace】を押すと、カーソルの左側の文字が消えます。
つまり、文字を間違えたらすぐに【BackSpace】を押すようにすれば、消す文字の数が少なくなります。

**●途中に間違えた文字があるとき**

- 【BackSpace】を何度か押すと、カーソルの左側の文字を消すことができます。間違えたところまで戻してから、打ち直してください。
- 【←】（矢印のキー）を押してカーソルを前に戻してから、【Delete】を押す方法もあります。【Delete】を押した場合、カーソルの右側の文字を消すことができます。




**【BackSpace】と【Delete】の違い**

【BackSpace】は、カーソルの左側の文字を消す

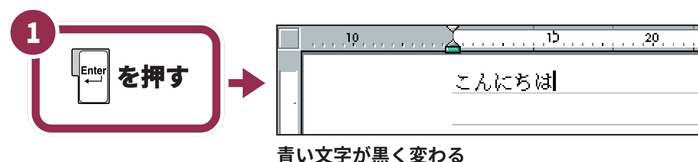
たいに が たに になる

【Delete】は、カーソルの右側の文字を消す

たいに が たい になる

## ひらがなのまま、文字を確定する

一太郎でひらがなを打つと、青い色の文字で表示されます。青い色の文字は、これから漢字に変換できることを意味しています。ここでは、「こんにちは」をひらがなのまま確定します。



青い文字が黒く変わる

打った文字が後から漢字やカタカナに変わってしまわないようにするための操作を「文字の確定」と呼びます。



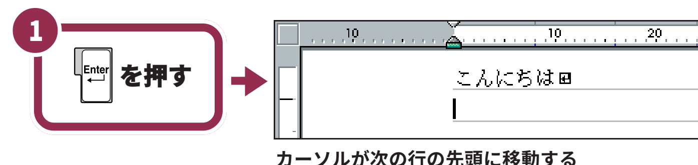

ひらがなが間違いなく打てたら、Enter を押して、文字を確定する

**黒い色の文字は確定済み**

青い色から黒い色に変わったのは、その文字が確定されたことを意味しています。文字の確定は、漢字を打つときにも行います。

## 改行する

改行するときは、【Enter】を押して、カーソルを次の行の先頭に送ります。

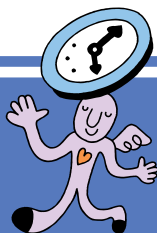


カーソルが次の行の先頭に移動する

「漢字に変換する」（p.47）に進む

ローマ字入力でのひらがなの練習は、これで終わりです。続けてこのPARTの「漢字に変換する」（p.47）に進んでください。

# ひらがなを打つ（かな入力）

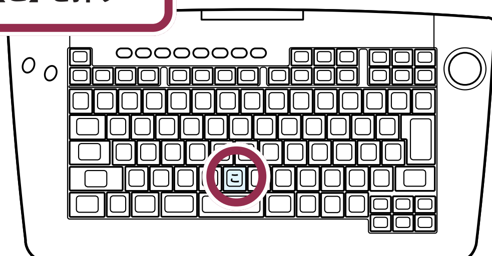


ここは、かな入力に設定を変えた人のためのページです。最初に「こんにちは」と打ってみましょう。

参照
「ローマ字入力」で使用する人は→このPARTの「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.41）

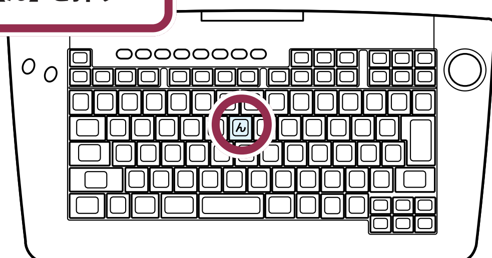
## 「こんにちは」と打つ

**1** 【こ】を押す






**2** 【ん】を押す



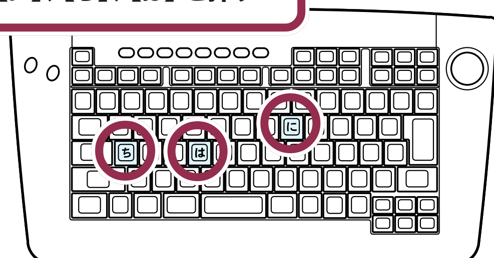



用語

**カーソル**

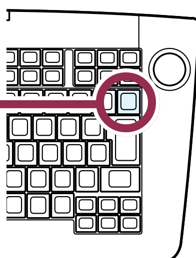
ワープロのウィンドウ内で点滅している「｜」を「カーソル」と呼びます。カーソルの位置から、右方向に文字が入っていきます。

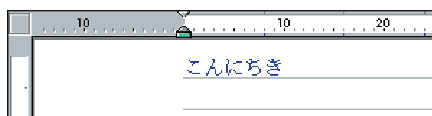
3 【に】、【ち】、【は】と押す

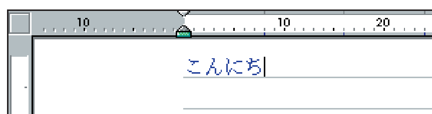



## 文字を打ち間違えたら

1 Back Space を押す






最後に打った文字が消える

2 正しい文字を打ち直す


ポイント

打ち間違えたときは、Back Space を押すと、後ろから文字を消すことができる。

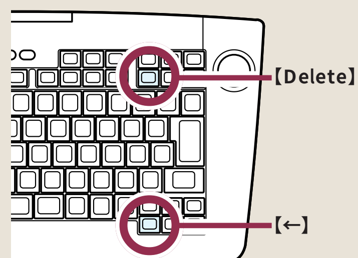
**●途中に間違えた文字があるとき**

・【BackSpace】を何度か押すと、カーソルの左側の文字を消すことができます。間違えたところまで戻してから、打ち直してください。

・【←】（矢印のキー）を押してカーソルを前に戻してから、【Delete】を押す方法もあります。【Delete】を押した場合、カーソルの右側の文字を消すことができます。

**カーソルの左側の文字が消える**

【BackSpace】を押すと、カーソルの左側の文字を消すことができます。つまり、文字を間違えたらすぐに【BackSpace】を押すようにすれば、消す文字の数が少なくなります。




**【BackSpace】と【Delete】の違い**

【BackSpace】は、カーソルの左側の文字を消す

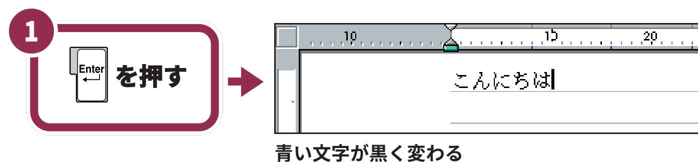
たい|に が た|に になる

【Delete】は、カーソルの右側の文字を消す

たい|に が たい| になる

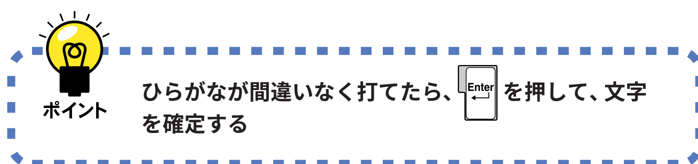
## ひらがなのまま、文字を確定する

一太郎でひらがなを打つと、青い色の文字で表示されます。青い色の文字は、これから漢字に変換できることを意味しています。ここでは、「こんにちは」をひらがなのまま確定します。



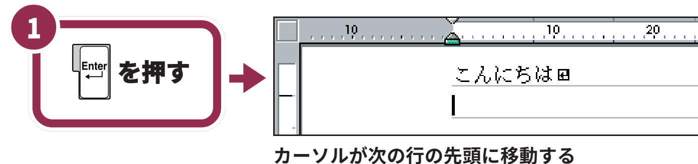

青い文字が黒く変わる

打った文字が後から漢字やカタカナに変わってしまわないようにするための操作を「文字の確定」と呼びます。




## 改行する

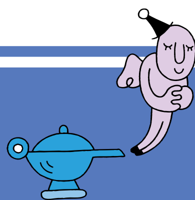
改行するときは、【Enter】を押して、カーソルを次の行の先頭に送ります。




カーソルが次の行の先頭に移動する

### 黒い色の文字は確定済み

青い色から黒い色に変わったのは、その文字が確定されたことを意味しています。文字の確定は、漢字を打つときにも行います。



# 漢字に変換する

今度は、漢字を混ぜて「誕生日に」と打ってみます。

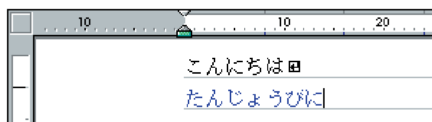
**マイペースでOK！**

ここからは、ローマ字入力もかな入力も共通の説明です。文字キーの位置は、自分でキーボードから見つけてください。慣れないうちは、キーを探すのに時間がかかるかもしれません。ゆっくり、マイペースで操作してください。

## 「誕生日に」と打つ

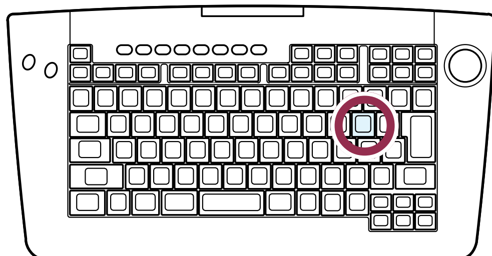
漢字を打つときも、最初はひらがなで打っていきます。ローマ字入力の方は、右側のつづりを参考にしてください。かな入力の方は、「じ」や「ょ」を打つ方法を説明していますので、参考にしてください。

### 1 「たんじょうびに」とひらがなで打つ



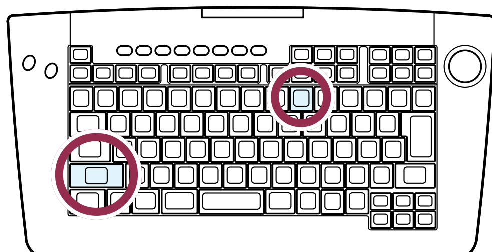

**●「じ」（濁音）の打ち方：かな入力**

「し」に続けて濁点のキーを押します。同じようにして「び」も打つことができます。



**●小さい「ょ」（拗音）の打ち方：かな入力**

【Shift】を押したまま、【よ】を押します。同じようにして「ゃ」「ゅ」も打つことができます。



**ローマ字入力の場合**

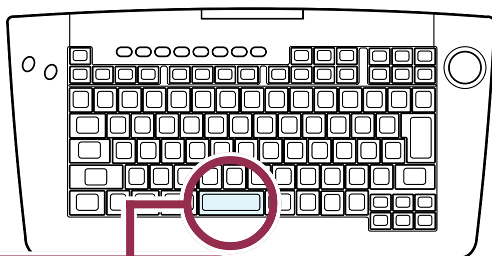
【T】【A】【N】【N】【Z】【Y】【O】【U】
【B】【I】【N】【I】

**「JO」でも、「じょ」と打てる**

「じょ」を「ZYO」と打つ代わりに、「JO」と打つこともできます。ローマ字入力の方は、付録の「ローマ字つづり一覧」（p.170）を参考にしてください。

**かな入力の場合**

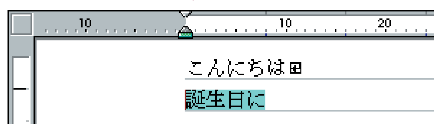
【た】【ん】【し】【゛】【Shift】＋【よ】
【う】【ひ】【゛】【に】



**2** **【スペース】を押す**



漢字に変換され、文字の上に青い帯がかかる



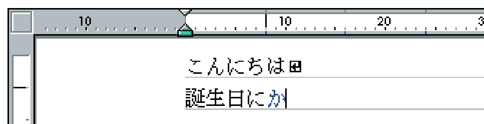

青い帯がかかった文字は、まだ変換が確定していないことを示します。




漢字に変換するには、ひらがなを打ってから、【スペース】を押す。

## 「会食をします」と打つ

**1** **「か」とひらがなで打つ**




「誕生日に」が黒い色に変わる

**ローマ字入力の場合**

【K】【A】

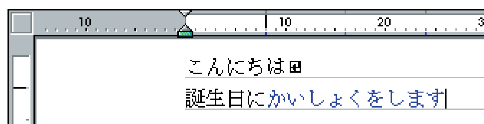
**かな入力の場合**

【か】

### ●正しく変換されたときは、続けて次の文字を打つと確定できる

「会食をします」の先頭の文字（か）を打ったところで、「誕生日に」が黒い文字に変わりました。【スペース】を押して正しい漢字に変換されたときは、次の文字を続けて打つと、直前の変換が確定されます。

**2** **続けて「いしょくをします」とひらがなで打つ**




**ローマ字入力の場合**

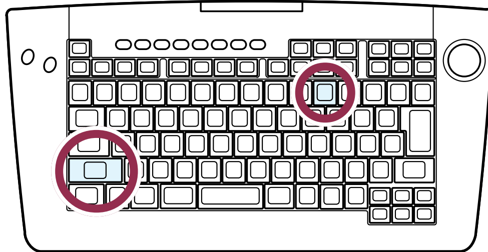
【I】【S】【Y】【O】【K】【U】【W】【O】【S】【I】【M】【A】【S】【U】

**かな入力の場合**

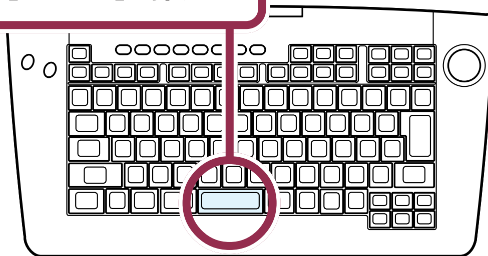
【い】【し】【Shift】＋【よ】【く】【Shift】＋【わ】【し】【ま】【す】

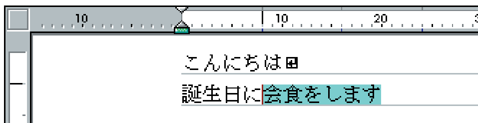
### ●「を」の打ち方：かな入力

【Shift】を押したまま、【わ】を押します。「っ」「ぁ」などの小さな文字も、同じようにして打つことができます。



3 【スペース】を押す





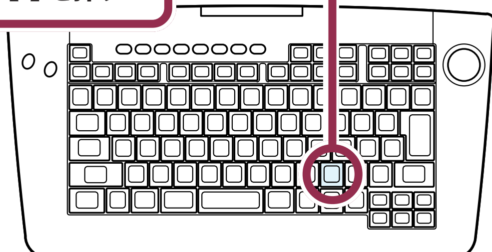

「。」を打つと、「会食をします」が確定します。

## 「。」を打つ

「。」（句点）や「、」（読点）は、頻繁に使う記号なので、キーボードから直接打てるようになっています。ローマ字入力の場合とかな入力の場合で打ち方が違います。

### ●「。」の打ち方：ローマ字入力

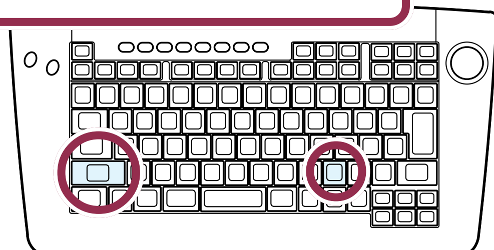
1 【.】を押す



ローマ字入力では、ピリオドのキーを押す

●「。」の打ち方：かな入力

1 【Shift】を押したまま【る】を押す

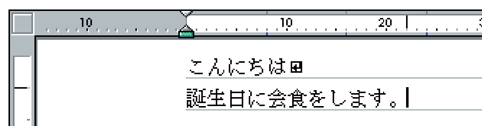


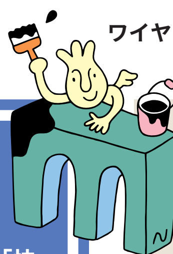
かな入力では、【Shift】を押したまま【る】を押す

## 「。」を確定する

「。」や「、」を打ったあとも、文字の確定が必要です。ひらがなで「こんにちは」と打ったときと同じように、【Enter】を押して確定します。

1 【Enter】を押して、確定する

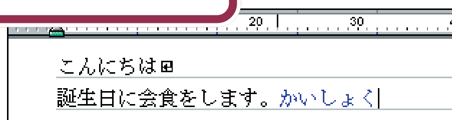




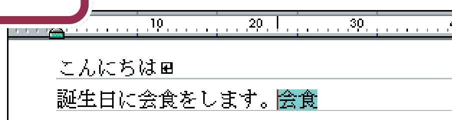
# 同音語を見る

「かいしょく」という読みに対応する単語は、他にも「快食」「海食」「解職」などがあります。それらの単語に変換する方法も練習しておきましょう。

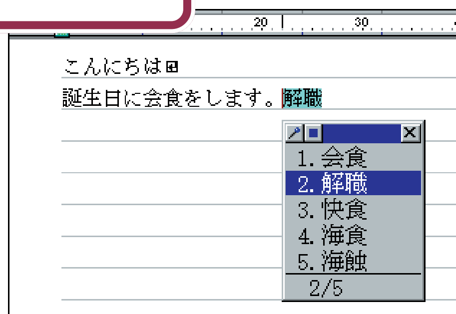
**1 「かいしょく」とひらがなで打つ**




**2 【スペース】を押す**

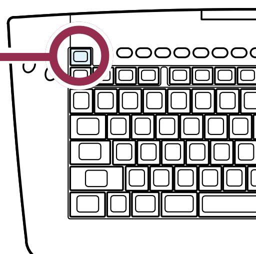


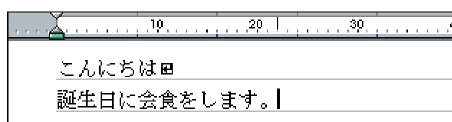

**3 もう一度【スペース】を押す**




「かいしょく」の同音語の一覧が表示され、2番目の候補「解職」が反転する

**4 いまは同音語を見るだけなので、【Esc】を押す**






候補の一覧の下に「2/5」と出ているのは、「かいしょく」という読みで変換できる単語が5種類あることを意味しています。同音語の候補が11種類以上あるときは、一覧の右下に[▼]が表示されます。[▼]をクリックすると、候補の続きを見ることができます。

**チェック!!**

一覧に表示される候補の順番は、本書の例と異なることがあります。これは、新たな漢字を変換するたびに、次回からその漢字を優先して表示するように作られているためです。画面の表示が本書と違っていても故障やトラブルではありません。

### ●【スペース】を 2 回押すと、同音語の候補が表示される

ここで練習したように、【スペース】を2回続けて押すと、打ったひらがなと読みが同じ単語が一覧に表示されます。

### ●一覧から単語を選ぶときは、クリックするか番号のキーを押す

同音語の一覧から目的の単語をクリックするか、キーボードから単語の番号を押すと、変換が完了します。

### ●一覧から単語を選んだときは、すぐに確定する

【スペース】を押して一度で正しい漢字に変換されたときは、次の文字を続けて打って文字を確定させました。一覧から単語を選んだときは、同時に変換が確定されます。【Enter】を押す必要はありません。

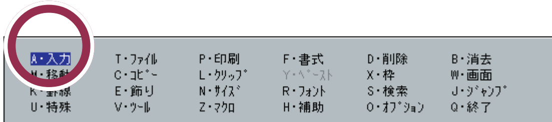
### ●入力を取り消すときは、【Esc】を押す

青い文字で表示されたひらがなや、青い帯が表示された漢字は、【Esc】を押すと、消すことができます。ただし、変換が確定して文字が黒く表示されているときには、【Esc】を押して入力を取り消すことはできません。

### こんなときは

間違って【Esc】を2回押してしまったときや、文字が確定してから【Esc】を2回押したときは、次の画面がウィンドウの左下に出てきます。「A・入力」をクリックすると、消すことができます。

**1** 「A・入力」をクリックする

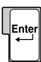


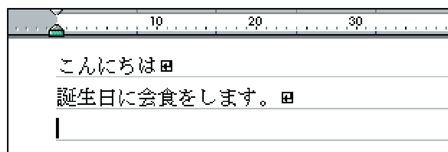

左の画面は、以前から一太郎を利用している人向けに表示される機能一覧です。はじめて一太郎を使う人には不要な画面なので、消してしまいましょう。

**2 番目の候補を選ぶときは【Enter】でも OK**

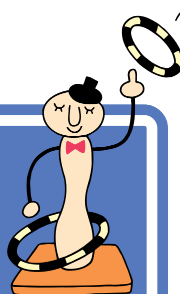
同音語の候補一覧が表示されたときは、2 番目の候補が反転しています。ここで【Enter】を押すと、2 番目の候補が確定します。

## 改行する

**1**  を押す




カーソルが次の行の先頭に移動する

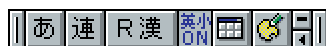


# カタカナを打つ

今度はカタカナを打ってみましょう。打ち込む文字の種類を変えるときは、画面右下にある、「ツールバー」を使います。

## ツールバーを確認する

画面の右下には次の表示があります。これを「ツールバー」と呼びます。いま、どんな文字が打てる状態なのか、このツールバーを見るとわかります。現在は、ひらがなが打てる状態なので「あ」と表示されています。



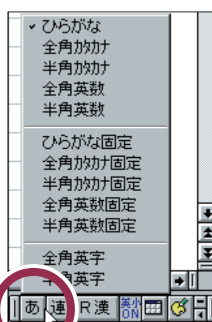

現在打てる文字の種類が表示される

かな入力のときは、ここに「カナ漢」と表示される

## カタカナが打てるようにする

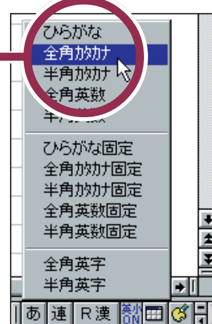
カタカナを打つには、ツールバーを使って文字の種類を切り替えます。

**1** 「あ」をクリックする




ツールバーの上に、文字の種類の一覧が出る

**2** 「全角カタカナ」をクリックする







文字の種類の一覧が消え、ここに「ア」と表示される

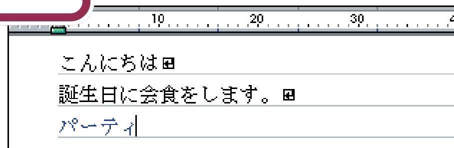
これで、打てる文字の種類がひらがなからカタカナに切り替わりました。

文字の種類がたくさんあるように見えますが、慣れないうちは全部を覚える必要はありません。

カタカナには、「全角カタカナ」と「半角カタカナ」の2種類があります。ここでは、「全角カタカナ」を使って練習します。「半角カタカナ」を使うと、通常の半分の幅のカタカナを打つことができます。

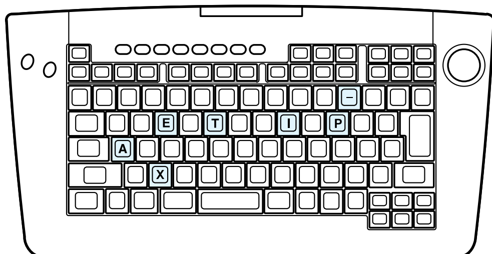
## 「パーティ」と打つ

**1** 「パーティ」と打つ



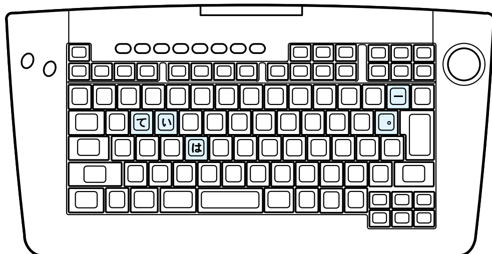

### ●「パーティ」の打ち方：ローマ字入力

【P】【A】【-】【T】【E】【X】【I】

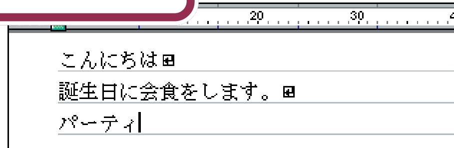



### ●「パーティ」の打ち方：かな入力

【は】【゜】【ー】【て】【Shift】+【い】




**2** 【Enter】を押して確定する




**「ー」（長音）：ローマ字入力**

を押します。

**「ィ」：ローマ字入力**

【X】【I】と押します。【X】に続けて母音（AIUEO）のキーを押すと、小さな文字が打てます。

**「パ」（半濁音）：かな入力**

「ハ」に続けて、を押します。

**「ー」（長音）：かな入力**

を押します。

**「ィ」の打ち方：かな入力**

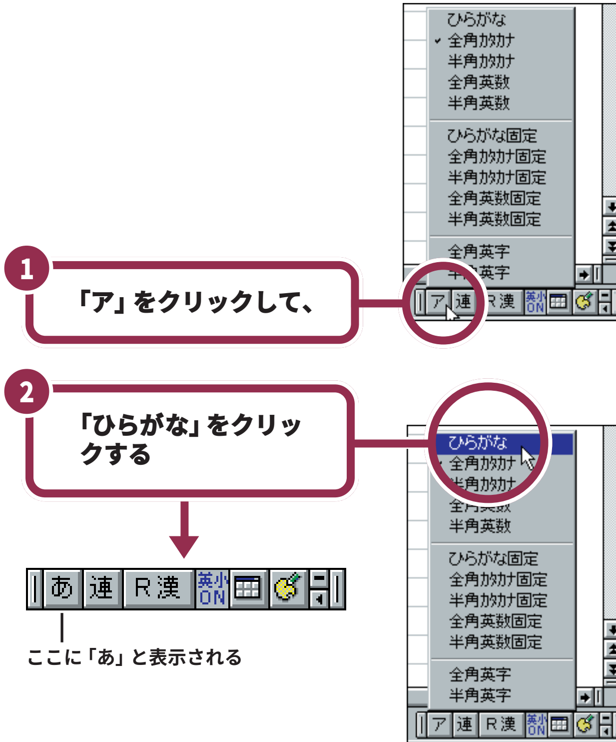
【Shift】を押したまま、【い】を押します。

**漢字と同じようにカタカナも変換できる**

「パーティ」や「ディナー」など、日本語の中に定着した外来語は、ひらがなを打って【スペース】を押してもカタカナに変換できます。

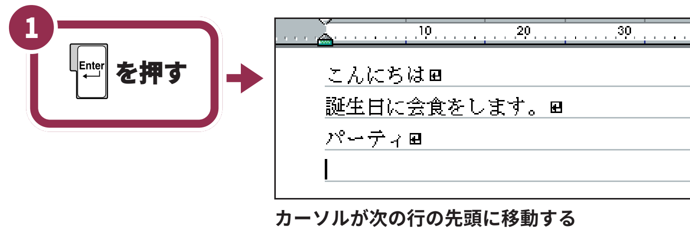
## ひらがなが打てる状態に戻す

もう一度ツールバーを使って、ひらがなが打てる状態に戻します。



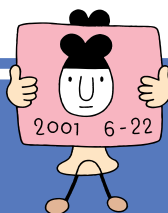

これで、打てる文字の種類がひらがなに切り替わりました。

## 改行する



カーソルが次の行の先頭に移動する

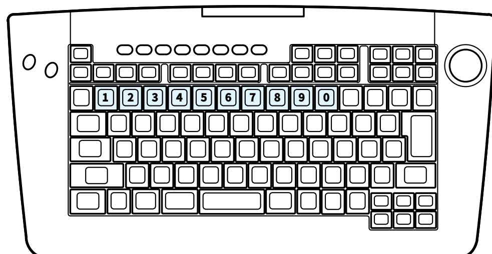
# 数字を使って日付を打つ




カタカナの次は数字の打ち方を練習します。

## ローマ字入力で数字を入力する

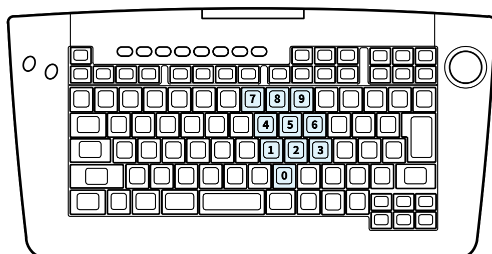
文字キーの一段目にある数字を入力することができます。




例えば［# あ 3 あ］を押すと、3 が入力されます。

## かな入力で数字を入力する

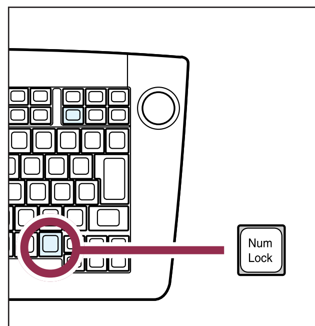
パソコン本体の右側の［1］のランプが点灯していれば、数字キーから数字を打つことができます。

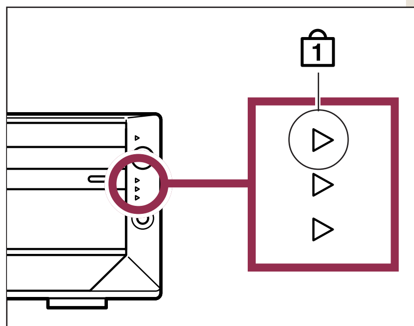



［1］が点灯していると、キーの前面に書かれた文字（［L り］なら 3）が入力できます。

●［1］が消えているとき

［1］のランプが消えている場合、［Num Lock］を１回押して点灯させます。

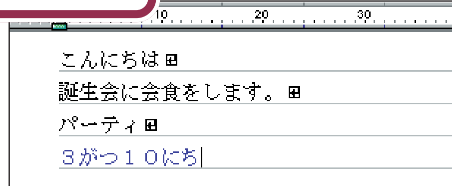


## 「3月10日」と打つ

数字と漢字の読みを続けて打って、まとめて変換することができます。

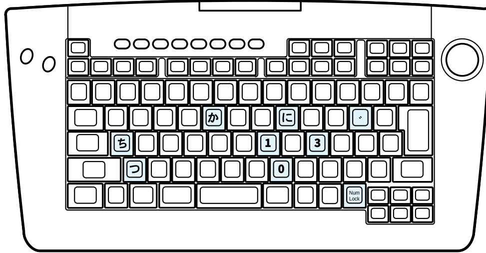
**1 「3がつ10にち」と打つ**




「１０ひ」と打っても構いません。ただし、「１０か」と打って「１０日」と変換することはできません。

**●「3がつ10にち」の打ち方：かな入力**

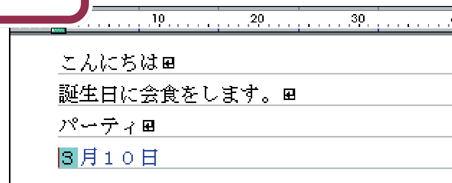
[L り] [Num Lock]【か】【゛】【つ】[Num Lock] [J ま] [M も] [Num Lock]【に】【ち】




ローマ字入力の場合
【3】【G】【A】【T】【U】【1】【0】【N】【I】【T】【I】

キーボードの上に書かれた文字を入力する場合は、もう一度 [Num Lock] を押します。

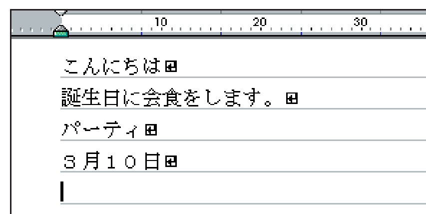
**2 【スペース】を押す**



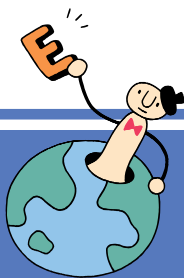

**3 【Enter】を押して、確定する**

## 改行する

**1**  **を押す**




カーソルが次の行の先頭に移動する

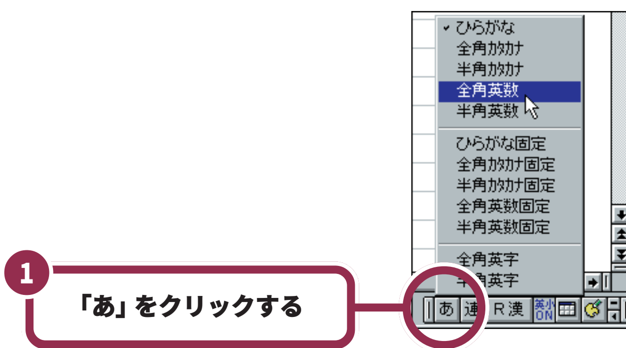


# 英字を打つ

英字（アルファベット）を打つときも、カタカナを打ったときのように、文字の種類を切り替えます。

## 英字が打てるようにする

英字を打つには、ツールバーを使って文字の種類を切り替えます。







文字の種類の一覧が消え、ここに「A」と表示される

これで、打てる文字の種類がひらがなから英字に切り替わりました。

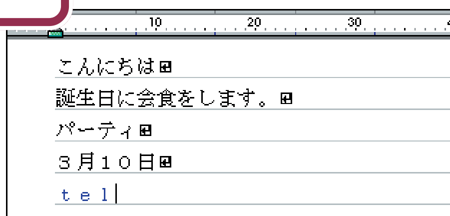
英字には、「全角英数」と「半角英数」の２種類があります。ここでは、「全角英数」を使って練習します。「半角英数」を使うと、通常の半分の幅の英字や数字を打つことができます。

参照

半角文字を打つには→このPARTの「文字入力のヒント」（p.61）

## 「ｔｅｌ」と打つ



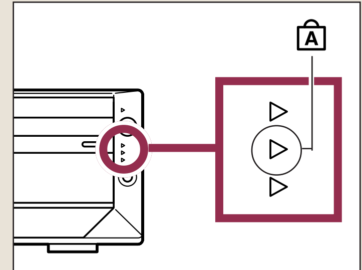

英字を打つ場合、ローマ字入力でもかな入力でも、使うキーは共通です。

**●大文字を打つときは、【Shift】を押したまま**

英字が打てる状態のとき、【Shift】を押したまま文字キーを押すと、大文字を打つことができます。

**●続けて大文字を打つときは、Ⓐを点灯させる**

【Shift】を押したまま【CapsLock】を押すと、パソコン本体右側の上から2番目にあるⒶのランプが点灯します。このランプが点灯しているときは、【Shift】を使わずに文字キーを押すだけで、大文字が打てます。もう一度【Shift】を押したまま【CapsLock】を押せば、ランプが消えて元に戻ります。



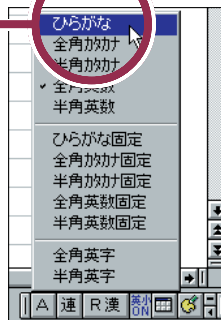

**2 【Enter】を押して確定する**

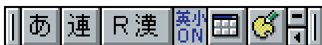
## ひらがなが打てる状態に戻す

もう一度ツールバーを使って、ひらがなが打てる状態に戻します。

**1 「A」をクリックする**

**2 「ひらがな」をクリックする**

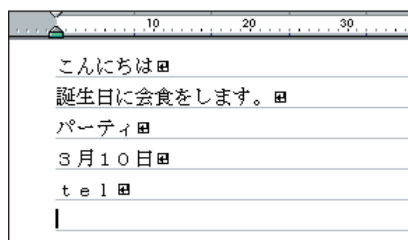



これで、打てる文字の種類がひらがなに戻りました。

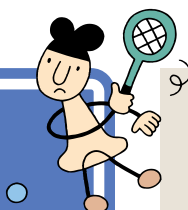
## 改行する

**1 【Enter】を押す**




カーソルが次の行の先頭に移動する

これで、ひらがな、漢字、カタカナ、数字、英字と、一通りの文字の打ち方を練習しました。



# 自分の名前と住所を打ってみる

自分の名前と住所を打つ練習をしましょう。一度で変換できない名前や住所の場合、このページの説明を参考にしてください。

## 途中で分かれて変換されてしまう場合




「宇治木（うじき）」という苗字を例に説明します。「うじき」と打って【スペース】を押すと、右の図のように、「宇治」と「期」に分かれて変換されてしまいます。
これは、パソコン側で、「宇治木」という苗字をひとつの単語として認識することができず、「うじ」と「き」の2つの区切り（文節）に分けて変換しようとしたために起きることです。このような場合、次のようにして変換します。

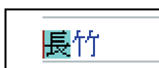
1. 【→】を押して、文字にかかる青い帯を「期」の上に移す
2. 【スペース】を押して、「期」の同音語を表示する
3. 「木」をクリックする（または「木」の番号を押す）




**文節**

パソコンは、ひらがなの読みを漢字に変換するときに、単語の前後関係などを分析して、変換の区切りを判断しています。この区切りの単位を「文節」と呼びます。複数の文節が含まれた、長い文でも一度に変換することができますが、長い読みを入れるほど、パソコンが文節の区切りを間違える可能性も高くなります。

## 文節の区切りがおかしいとき




「尾佐竹（おさたけ）」という苗字を例に説明します。「おさたけ」と打って【スペース】を押すと、右の図のように、「長」と「竹」に分かれて変換されてしまいます。
これは、「おさ」と「たけ」の2つに文節が分かれたためです。このような場合、次のようにして文節の区切りを直してから変換します。

1. 【←】を1回押す
2. 「長竹」が「おさたけ」に戻り、「お」が反転する
3. 【スペース】を押して、「お」の同音語を表示する
4. 「尾」をクリックする（または「尾」の番号を押す）
5. 「尾」が正しくなると、「さたけ」も「佐竹」に変換される

## うまく変換できないときは、一文字ずつ変換できる

一太郎に慣れるまでは、一度でうまく変換できないときは、一文字ずつ変換するのが手っ取り早い方法です。上で説明した「尾佐竹」の場合なら、「お」と打って【スペース】を押し、同音語から「尾」を選びます。同じようにして「さ」を「佐」に、「たけ」を「竹」に変換すれば、簡単に正しい文字に変換できます。

# 文字入力のヒント

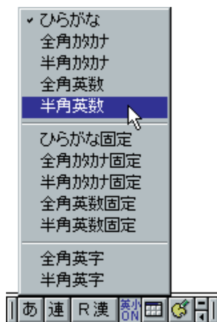
ここまでで、漢字やカタカナなど、文字を打ち分けるための基本的な方法を練習しました。効率的に文字を入力するには、その他にも覚えておくと便利な方法があります。

## 半角文字で英数字を打つ

漢字やひらがな 1 文字分の半分の幅の文字を「半角文字」と呼びます。
例）　Ａ：全角文字
　　　A：半角文字

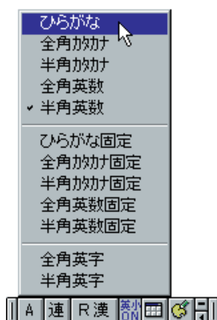
### ●半角文字を打つ方法：ローマ字入力

まず、画面右下にある あ をクリックして、「半角英数」をクリックします。あ が A に変わります。




このあと、英文字の小文字（abc）を打つときは、そのままキーボードの文字キーを押します。
英文字の大文字（ABC）を打つときは、キーボードの Shift を押したまま、文字キーを押します。
数字を打つときは、文字キーの 1 段目にある数字キーを押します。

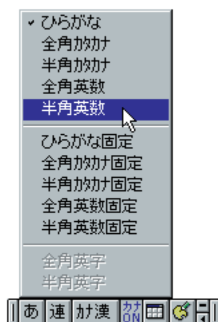
半角文字を打ち終えたら、画面右下にある A をクリックして、「ひらがな」をクリックします。



## ●半角文字を打つ方法：かな入力

まず、画面右下にある [あ] をクリックして、「半角英数」をクリックします。[あ] が [A] に変わります。

画面右下の表示が、

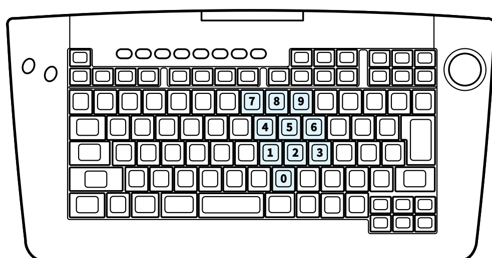



次に、キーボードの下の方にある [カタカナ ひらがな] を押します。

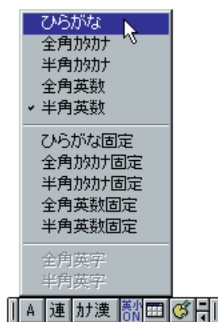
画面右下の表示の中央部が [カナ ON] から [英小 ON] に変わるのを確認してください。

このあと、英文字の小文字（abc）を打つときは、そのままキーボードの文字キーを押します。

英文字の大文字（ABC）を打つときは、キーボードの [⇧Shift] を押したまま、文字キーを押します。
数字を打つときは、[Num Lock] を押してからキーの前面に数字の書かれているキーを押します。




半角文字を打ち終えたら、画面右下にある [A] をクリックして、「全角ひらがな」をクリックします。




キーの上に書かれた文字を入力する場合は、もう一度 [Num Lock] を押します。

## 日本語入力のオンとオフ

一太郎を起動すると、文字キーを押したときにひらがなが打てるようになっています。この状態のことを「日本語入力がオン」の状態と呼びます。

### ●日本語入力のオンとオフの見分け方

画面の右下に注目します。




が表示されていれば、日本語入力がオンになっています。日本語入力がオンのときは、その上に あ も表示されます。

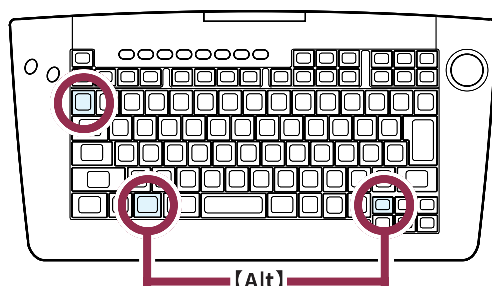
が表示されていれば、日本語入力がオフになっています。この状態では、文字キーを押すと半角の英字や数字が打てます。

### ●日本語入力オン／オフの使い分け

英文の手紙を打つ場合など、半角の英数字を続けて打つときには、日本語入力をオフにしたほうが効率よく作業できます。一太郎８の場合は、ソフトを起動した直後には日本語入力がオンに設定されていますが、ソフトによっては、日本語入力がオフの状態で起動されるものもあります。このようなソフトで日本語を入れたいときは、日本語入力をオフからオンに切り替えます。

### ●日本語入力のオンとオフを切り替える方法

ワイヤレスキーボードの下の方にある左右どちらかの Alt を押したまま、左上の方にある 半角/全角 を１回押します。




これで、日本語入力がオンのときはオフに、オフのときはオンに切り替わります。画面右下の表示が変化するのを確認してください。

Alt は２カ所にあります。どちらでも押しやすいほうを使ってください。

用語

**【Alt】**

「オルト」と読みます。このキーを押したまま他のキーを一緒に押すことで、いろいろな機能が使える場合があります。

## 文字の直し方

文字の訂正方法には、いくつかの方法があります。

### ●確定する前の文字を消して、打ち直す：[Esc]

変換が確定する前(文字が青く表示されている状態)であれば、[Esc] を1回押すと、一度に消すことができます。[Esc] を押してから、消えた文字を打ち直します。

### ●後ろから前に 1 文字ずつ消していく：[Back Space]

[Back Space] を押すと、カーソル(文字が打ち込まれる位置を示す、黒い縦棒)の位置から、左方向に1文字ずつ消すことができます。間違った所を消してから、正しく打ち直します。

### ●カーソル位置の右にある文字を 1 文字ずつ消す：[Delete]

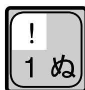
間違えた文字の左隣をクリックすると、カーソルがその場所に移動します。そこで、[Delete] を押すと、カーソルの右側にある文字が消えます。間違った所を消してから、正しく打ち直します。

## 記号を打つ

記号を打つには、文字キーを使って打つ方法と、画面に記号の一覧を表示して、そこから選ぶ方法の 2 種類があります。

### ●文字キーを使って打つ：ローマ字入力

ローマ字入力の時は、[⇧Shift] を押したまま文字キーを押すと、キーの左上に書かれた記号を打つことができます。




ただし、「、」[< 、 , ね]、「。」[> 。 . る] や、かぎかっこ(「　」) [{ 「 [ 。] [} 」 ] む] は、[⇧Shift] を押さずに、そのままキーを押します。

### ●文字キーを使って打つ：かな入力

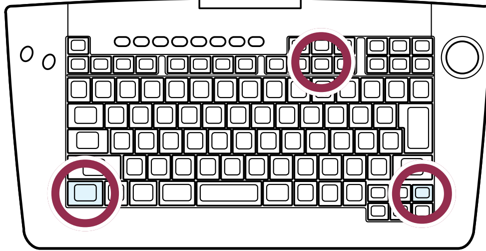
かな入力の時は、[カタカナ ひらがな] を押して、[カナ ON] が [英小 ON] に変わるのを確認してください。
[⇧Shift] を押したまま文字キーを押すと、キーの左上に書かれた記号を打つことができます。



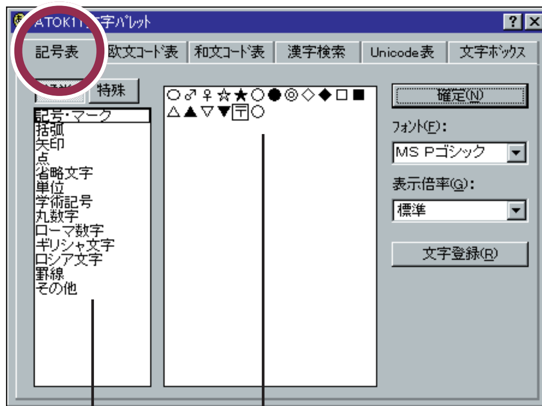

記号を打ち終えたら、もう一度 [カタカナ ひらがな] を押し、[英小 ON] から [カナ ON] に戻します。

### ●画面に記号の一覧を表示して、そこから選ぶ：文字パレット

Ctrl を押したまま、F11 を押します。



次の画面が表示されたら、「記号表」をクリックします。




記号の種類をクリックする

一覧から、使いたい記号をクリックする

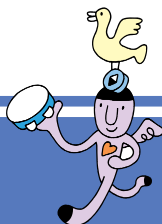
記号は、何種類かに分類されています。まず画面の左側で分類をクリックし、次に右側の一覧から使いたい記号をクリックします。その後で「確定」をクリックすると、選んだ記号を打つことができます。
最後に画面の右上にある ☒ をクリックして、文字パレットの画面を閉じます。

Ctrl は 2 カ所にあります。どちらでも押しやすいほうを使ってください。

用語

【Ctrl】

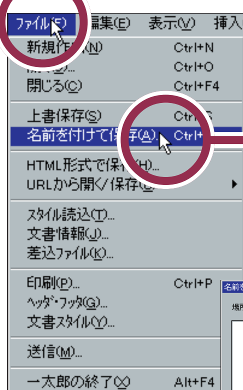
「コントロール」と読みます。このキーを押したまま他のキーを一緒に押すことで、いろいろな機能が使える場合があります。



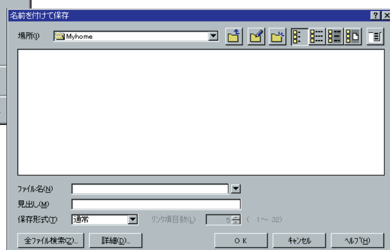
# 文書を保存する

このまま、終わってしまうと、せっかく作った文書が消えてしまいます。記念すべきワープロ第1号文書をパソコンの中に保存しておきましょう。

**1** 「ファイル」をクリックする




**2** 「名前を付けて保存」をクリックする




保存するための画面が表示される

**3** 「ファイル名」の欄に「｜」が点滅していることを確かめる

**4** 「れんしゅう1」とひらがなを打つ




「ファイル名」の欄に、文字が入る

**5** 【スペース】を押す




「練習1」と漢字に変換される

用語

### ファイル名

パソコンの中では、さまざまなデータが「ファイル」という単位で保存されています。いまワープロで作ったばかりの文書も、ファイルの1つとして保存されます。あとから探しやすいように、それぞれのファイルには名前（ここでは、「練習1」）を付けます。

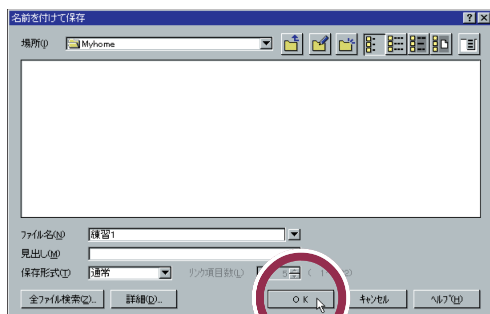
チェック!!

### ファイル名に使用できない文字

半角文字や記号の中にはファイル名として使ってはいけないものがあります。次の半角文字は使用できません。

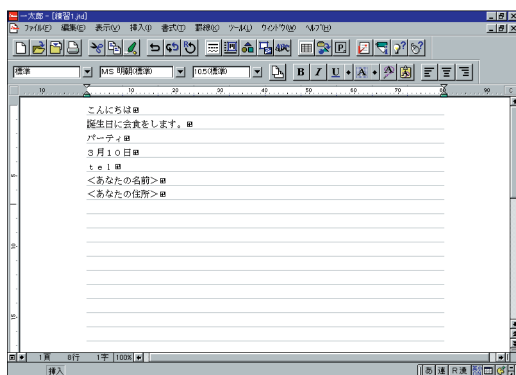
\ / : * ` < > |

**6** 【Enter】を押して、文字を確定する




**7** 「OK」をクリックする

「OK」をクリックすると、
この画面に戻る




**8** ウィンドウ左上の表示が「一太郎－[練習 1.jtd]」になっていることを確かめる

一太郎 - [練習1.jtd]

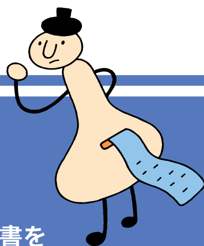

ポイント

新しくワープロで作った文書を保存するときは、「ファイル」をクリックし「名前を付けて保存」をクリックする。好きなファイル名を付けてから、「OK」をクリックする。

一太郎を起動すると最初に、ウィンドウ左上には便宜的に「文書 1」という名前が付けられています。このウィンドウで文書を作成し、名前を付けて保存すると、ウィンドウ左上の表示は、あなたが付けたファイル名に置き換えられます。

### .jtdって何？

画面に「練習 1.jtd」と表示されるのは、ワープロがファイル名の後ろに「.jtd」を自動的に付けているためです。これは、いろいろな文書がたくさん保存されたときに、ワープロの文書だけを素早く探し出すための符号です。



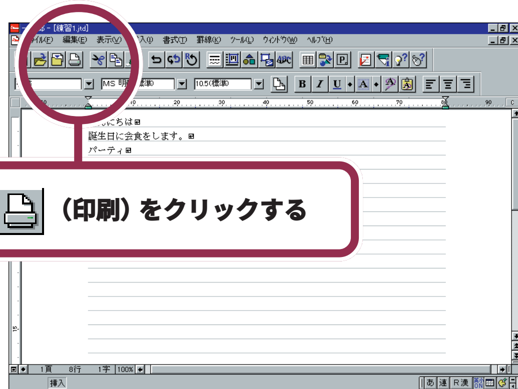
# 文書を印刷する

プリンタがある場合には、完成した文書をプリンタで印刷しましょう。

プリンタを持っていない方や、プリンタの準備を行っていない方は印刷できませんので、この部分は読みとばしてください。

**1** プリンタが印刷可能な状態になっていることを確認する

参照
プリンタの状態の確認については→プリンタに付属のマニュアル、および『拡張の手引き』PART 1の「プリンタを使う」




**2** （印刷）をクリックする

印刷の設定画面が表示される




お使いのプリンタによって、この画面は多少異なります。

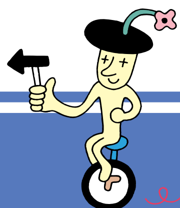
**3** 「OK」をクリックする

印刷が始まる


ポイント

文書を印刷するときは、（印刷）をクリックする。

参照
もし、印刷がうまくできないときは、まずプリンタの電源ケーブルやプリンタケーブルの接続を確認したあと→『困ったときのQ&A』PART 1の「印刷しようとしたら…」

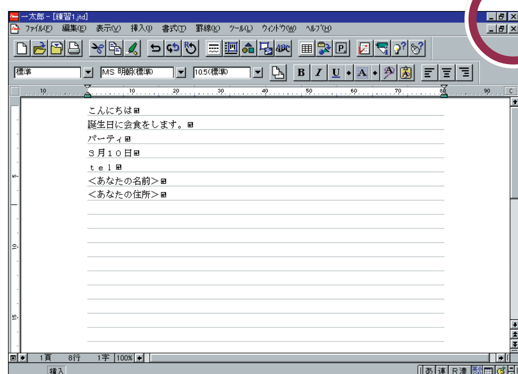


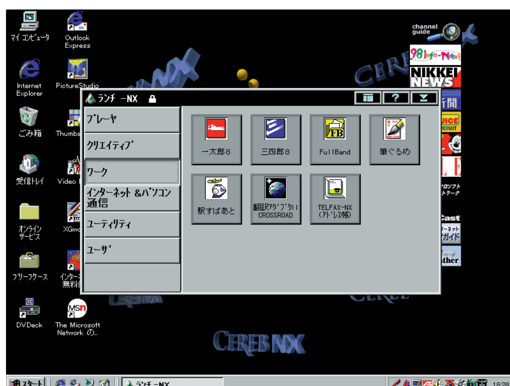
# 一太郎を終わる

パソコンで自分の名前や住所が打てるようになれば、たいしたものです。すぐにワープロを使いこなせるようになりますよ。でも、いまはここで一息入れましょう。

## 一太郎を終了する

**1**  の上のほうの ☒ をクリックする。





一太郎が終了し、ランチ-NXに戻る

下の方の ☒ をクリックした場合は、その文書だけが閉じます。一太郎は終わりません。表示中の文書の作成を終わり、別の文書や新しい文書を開きたいときに使います。



ポイント

多くのアプリケーションでは、画面右上に２つの ☒ が表示される。

- 上の ☒ →アプリケーションを終わるためのボタン
- 下の ☒ →編集中の文書（またはデータ）を閉じるためのボタン

# このPARTのまとめ

ここでは、ワープロを利用して、いろいろな文字を打つ操作を練習しました。

## ローマ字入力？　それとも、かな入力？

自分に合った入力方法を選んでください。→このPARTの「文字の入れ方を決める」（p.38）

## ひらがなを打つ

あいうえお

ローマ字入力の場合、文字キーの上のアルファベットを見て、ローマ字のつづりを打っていきます。かな入力の場合、文字キーの上のかな文字をみて打ちます。キーの上段に書かれた文字（「を」や小さい「ゃ」など）は、【Shift】を押したまま打ちます。

## 漢字に変換する

かんじへんかん


【スペース】を押す

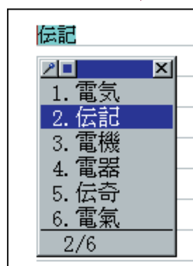
漢字変換

ひらがなを打ってから【スペース】を押します。

## 同音語を選ぶ

でんき


【スペース】を 2 回押す




一覧から目的の単語を選ぶ
（クリックするか、番号を押す）

一度で思い通りの漢字にならないときは、もう一度【スペース】を押すと、同音語の一覧が表示されるので、目的の単語をクリックするか、その番号を押します。

# このPARTのまとめ

## 文字を確定する

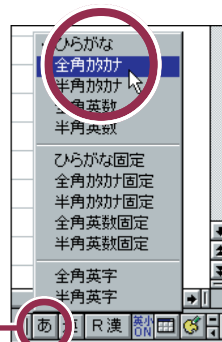
青い字で表示された文字や、漢字に変換して青い帯がかかったように見える文字は、まだ確定していません。次のようにして確定してください。

**【Enter】を押す**
ひらがな、カタカナ、英字など、変換の必要がない文字を確定するには、【Enter】を押します。

**続きの文字を打つ**
ひらがなを打って【スペース】を押し、目的の漢字に変換されたときは、続けて次の文字を打つと、変換された部分が確定します。次の文字がないときは、【Enter】を押しても確定します。

**同音語の一覧から選ぶ**
【スペース】を2回押して、同音語の一覧が表示されたときは、目的の漢字の番号を選ぶと、文字が即座に確定します。

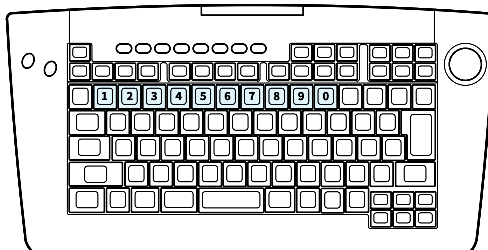
## カタカナを打つ




ここをクリックして、文字の種類の一覧から「全角カタカナ」を選ぶ

日本語入力ツールバーの あ をクリックして、「全角カタカナ」をクリックすると、カタカナを打つことができます。「マンション」や「パソコン」などのように日本語に定着した外来語は、ひらがなを打ってから【スペース】を押してもカタカナに変換できます。

## ローマ字入力で数字を入力する

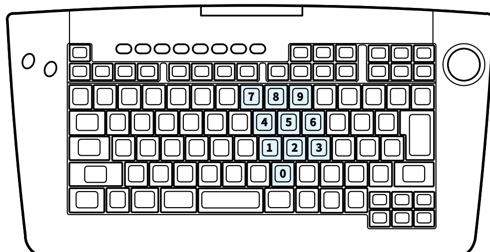


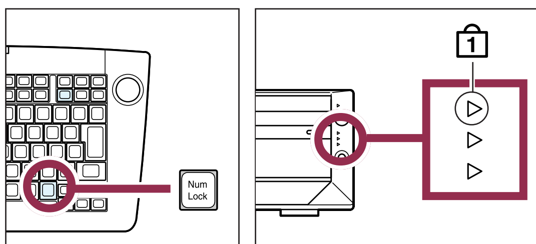

文字キーの一段目にある数字を入力することができます。

## このPARTのまとめ

## かな入力で数字を入力する

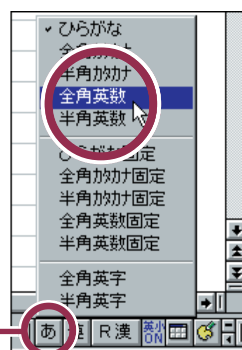
パソコン本体の右側の1のランプが点灯していれば、キーの前面に書かれている数字を打つことができます。




数字を入力するときは、パソコン本体右側の1番上の1のランプが点灯していることを確かめてください。ランプが消えているときは、【NumLock】を押します。

## 英字を打つ

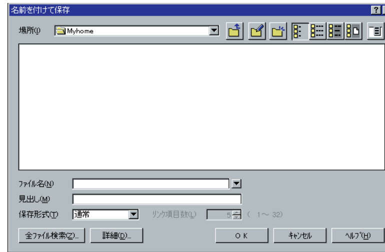



ここをクリックして、文字の種類の一覧から「全角英数」を選ぶ

日本語入力ツールバーの あ をクリックして、「全角英数」をクリックすると、英字を打つことができます。大文字を打つには、【Shift】を押したまま文字キーを押します。

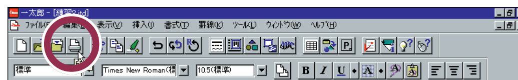
# このPARTのまとめ

## 文書を保存する

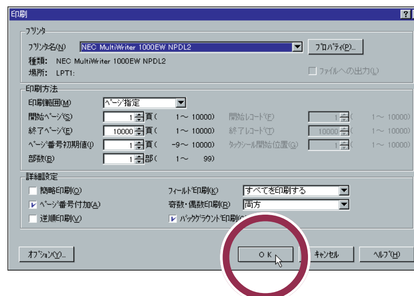



新しく作った文書を保存するときは、「ファイル」をクリックしてから、「名前をつけて保存」をクリックします。次に、好きなファイル名を入力してから、「OK」をクリックします。

## 文書の印刷



作成した文書を印刷するときは、（印刷）をクリックします。




印刷の設定画面で「OK」をクリックすると印刷が始まります。

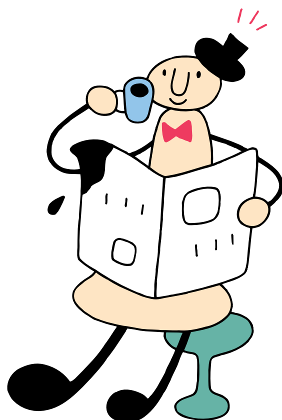
PART

# 4

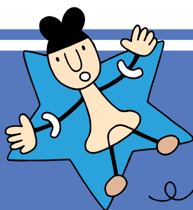
# ワイヤレスキーボードに慣れよう（Word編）

一太郎モデルをお使いの方は、
「PART 3　ワイヤレスキーボードに慣れよう（一太郎編）」（p.33）に進んでください。

このパソコンのワイヤレスキーボードを見ると、キーがやたらに並んでいて、「こんなものを使いこなせるんだろうか」って不安になるかもしれません。でも、だいじょうぶ。最初は誰でも1本指でポツポツ打ち始めるのです。「習うより慣れろ」という気持ちで、第一歩を踏み出しましょう。



# プリンタを準備する



このPARTの最後の方では、作った文書を印刷します。プリンタをお持ちの方はプリンタの準備を整えておきましょう。

プリンタの準備のしかたについては、『拡張の手引き』PART 1の「プリンタを使う」で説明しています。
プリンタをお持ちの方は、ここでいったんパソコンの電源を切り、『拡張の手引き』をご覧になり、プリンタを準備してください。
プリンタの準備が終わったら、プリンタの電源が入っていることを確認し、またここに戻ってきて操作を進めましょう。

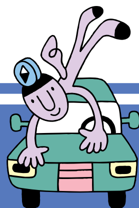
プリンタをお持ちでない方は、そのまま次のページに進んでください。

参照

電源を切る操作については→
PART1の「電源を切る」（p.3）

## USB プリンタは、電源を入れたまま接続できる

USB対応プリンタをお持ちの方は、パソコンの電源を入れたまま接続することができます。詳しくは、『拡張の手引き』PART 1の「プリンタを使う」およびプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。
また、USBについては、『拡張の手引き』PART10の「その他の機器を使う」の「USBの基礎知識」をご覧ください。



# Wordを始める

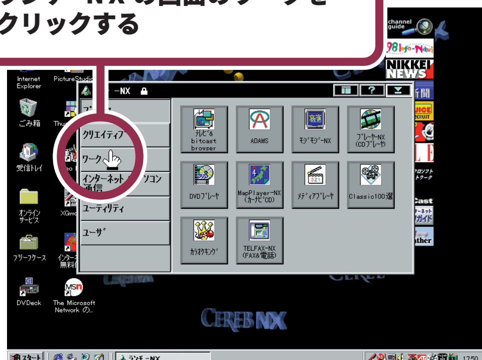
このパソコンには、Wordモデルと一太郎モデルがあります。ここでは、Wordというワープロソフトを使って、キーボードに慣れる練習をします。ご購入のモデルに合った説明のほうを読んでください。

参照
一太郎モデルをお使いの方→PART3の「ワイヤレスキーボードに慣れよう（一太郎編）」（p.33）

## Wordを使う準備をする

パソコンをお買い上げ後、最初にWordを起動するときは、次の手順でユーザー名を設定する必要があります。

**1** ランチ-NXの画面のワークをクリックする

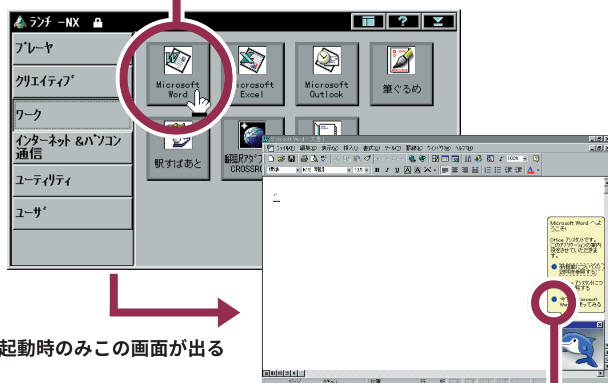


参照
ランチ-NXをはじめてお使いの方→PART2の「ランチ-NXはソフトの発射台」（p.10）

画面の中央に表示されているのは「ランチ-NX」の「プレーヤ」です。パソコンの電源を入れた直後には「プレーヤ」が表示されています。ワープロや表計算などを起動するためのボタンが集まっているのは「ワーク」です。

次の画面が表示される

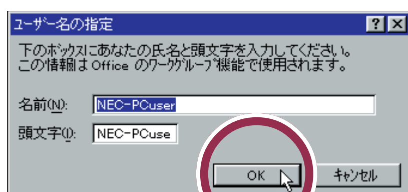
**2** 「Microsoft Word」をクリックする



初回起動時のみこの画面が出る

**3** いちばん下の ● をクリックする

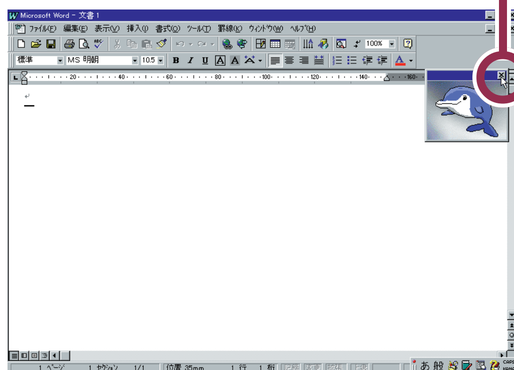
「今すぐ Microsoft Word を使ってみる」の左にある ● をクリックします。




4 「OK」をクリックする

5 をクリックする

イルカの絵が消える






Word モデルでワープロを起動するときは、ランチーNXの「ワーク」から「Microsoft Word」をクリックする。

あらかじめ名前と頭文字の欄に「NEC-PCuser」と入っています。ここでは、何も変更せずに「OK」をクリックします。

イルカの絵は、Microsoft Word の使い方を画面でガイドしてくれる機能です。ここでは、まずワイヤレスキーボードに慣れる練習をするので、消してしまいます。ワープロの操作に少し慣れてから、いろいろと試してみるときに利用するとよいでしょう。



# 文字の入れ方を決める

文字の入れ方には、2種類の方法があります。ひとつはローマ字のつづりを打っていく方法で、これを「ローマ字入力」といいます。もうひとつは、直接ひらがなを打つ方法で、こちらは「かな入力」といいます。お買い上げ後、最初にWordを起動したときは、ローマ字入力に設定されています。

## ローマ字入力とかな入力

ローマ字入力とかな入力にはそれぞれ特長があります。次の説明を読んで自分にあった方を選んでください。

参照

ローマ字のつづり方→付録の「ローマ字つづり一覧」（p.170）

### ●ローマ字入力の特長

【A】を押すと「あ」と打つことができます。【T】【A】と続けて押すと、「た」が入ります。ローマ字入力は、母音（A I U E O）と子音（KGSZTDNHPBMYRW）の組み合わせで日本語を入力します。使うキーの種類は少なくてすみますが、その分、キーを打つ回数は多くなります。次のような人に向いています。

- ローマ字を覚えている人
- インターネットを使いたい人（インターネットでは、アルファベットをよく使います）
- 英単語など、アルファベットを使うことが多い人

### ●かな入力の特長

【ち】（アルファベットの【A】と同じキー）を押すと、「ち」と打つことができます。ローマ字入力に比べて、使うキーの種類は多くなりますが、その分、キーを打つ回数は少なくなります。キーに書かれた文字をそのまま打つと、ひらがなが打てます。次のような人に向いています。

- ローマ字を覚えていない人
- キー配列を覚えて速く入力をしたい人

**ローマ字入力の人は、そのままp.82に進む**

パソコンをお買い上げ後、最初にWordを起動したときは、あらかじめローマ字入力に設定されています。ローマ字入力で文字を打っていく場合、次の説明を読み飛ばして「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.82）に進んでください。

**かな入力の人は、次のページに進む**

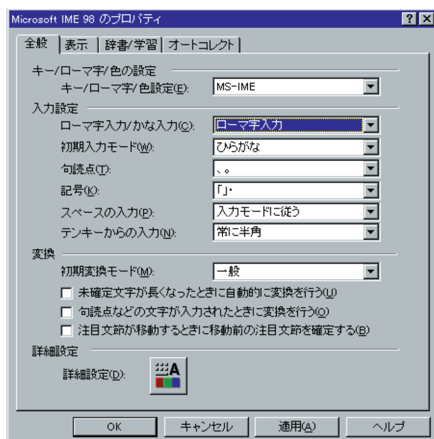
## かな入力に切り替えるには

かな入力で文字を打つ場合､以下の手順にしたがって設定を変更してください｡一度以下の操作を行えば､次回以降は､電源を入れ直しても最初からかな入力に設定されています。

**1 日本語入力ツールバーの をクリックする**




「Microsoft IME98 のプロパティ」の画面が表示される




**2 この をクリックして、**




**3 トラックボールを下に動かして、「かな入力」をクリックする**




「ローマ字入力」が「かな入力」に変わる




チェック!!

ローマ字入力を利用する場合は、設定を切り替える必要はありません。このPARTの「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.82）に進んでください。

チェック!!

**「かな入力」のクリックを忘れずに**

をクリックしてトラックボールを下に動かすと、「かな入力」が青く反転します。ここで必ずトラックボールの左クリックボタンをクリックしてください。クリックを忘れると、「かな入力」が反転したように見えても、設定は変更されていません。

**4 「OK」をクリックする**




日本語入力ツールバーの右端の
「KANA」の部分が選択される

これで、ローマ字入力からかな入力への切り替えが完了しました。電源を切って入れ直しても、この設定は変わりません。


ポイント

かな入力にするためには、「Microsoft IME 98のプロパティ」画面で、「ローマ字入力」を「かな入力」に変更する。

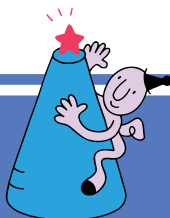
### ●かな入力からローマ字入力に切り替えるには

かな入力からローマ字入力に切り替えることもできます。この場合、「かな入力に切り替えるには」（p.80）で説明した手順と同じように操作します。まず、「Microsoft IME 98のプロパティ」の画面を出してください。入力方式の欄に「かな入力」と表示されているはずです。p.80の手順3で「ローマ字入力」をクリックし、「OK」をクリックしてください。

ここで説明した方法以外に、【Alt】を押したまま【カタカナ／ひらがな】を押しても、かな入力とローマ字入力の設定を切り替えることができます。


参照

「かな入力」に設定を変更した人は
→このPARTの「ひらがなを打つ（かな入力）」（p.85）



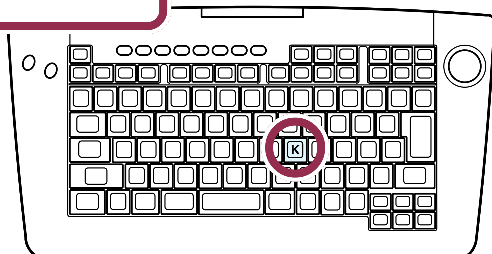
# ひらがなを打つ（ローマ字入力）

ここは、ローマ字入力で文字を打っていくことに決めた人のためのページです。最初に「こんにちは」と打ってみましょう。

参照
「かな入力」に設定を変更した人は
→このPARTの「ひらがなを打つ（かな入力）」（p.85）

## 「こんにちは」と打つ

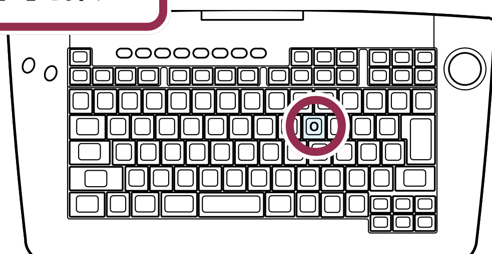
**1 【K】を押す**

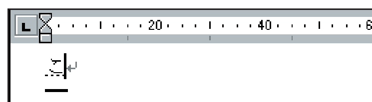





「k」と表示される

**2 【O】を押す**






「こ」に変わる

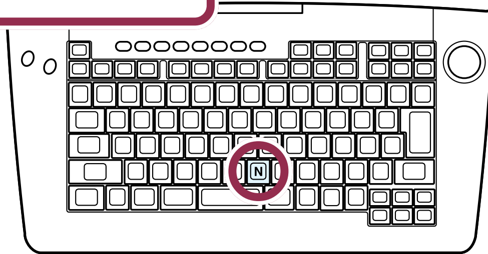
用語

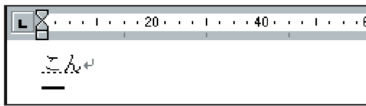
**カーソル**

ワープロのウィンドウ内で点滅している「｜」を「カーソル」と呼びます。カーソルの位置から、右方向に文字が入っていきます。

ローマ字入力の場合、「あいうえお（AIUEO）」以外のひらがなは、まず最初のアルファベット（「か」なら「K」）が出て、次にひらがなに変わります。

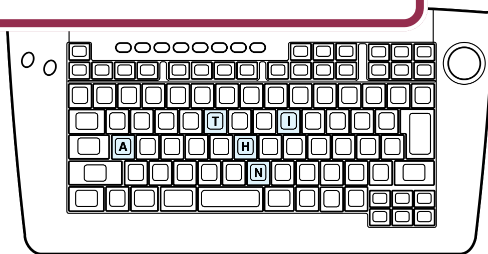
3 【N】を 2 回押す




【N】を続けて 2 回押すと「ん」が出る

4 【N】【I】、【T】【I】、【H】【A】と押す




**【N】を続けて 2 回押すと「ん」が出る**

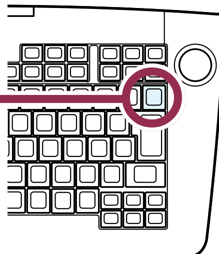
「ん」と打つには、【N】を続けて 2 回押します。

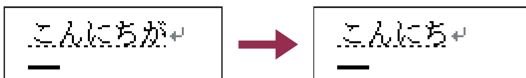
**「ち」は、【C】【H】【I】でも OK**

ヘボン式のローマ字つづりでは、「ち」を「CHI」と書きますが、その方法でもだいじょうぶです。

## 文字を打ち間違えたら

1 BackSpace を押す






最後に打った文字が消える

2 正しい文字を打ち直す



ポイント

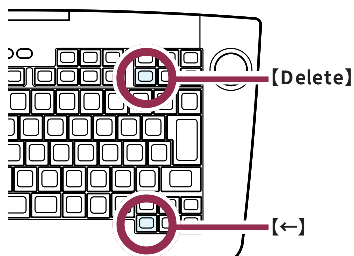
打ち間違えたときは、BackSpace を押すと、後ろから文字を消すことができる。

**カーソルの左側の文字が消える**

【BackSpace】を押すと、カーソルの左側の文字が消えます。
つまり、文字を間違えたらすぐに【BackSpace】を押すようにすれば、消す文字の数が少なくなります。

### ●途中に間違えた文字があるとき

- 【BackSpace】を何度か押すと、カーソル左側の文字を消すことができます。間違えたところまで戻してから、打ち直してください。
- 【←】(矢印のキー)を押してカーソルを前に戻してから、【Delete】を押す方法もあります。【Delete】を押した場合、カーソルの右側の文字を消すことができます。




**【BackSpace】と【Delete】の違い**

【BackSpace】は、カーソルの左側の文字を消す

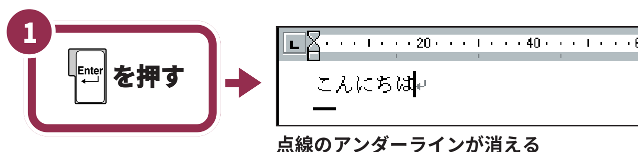
たいに が たに になる

【Delete】は、カーソルの右側の文字を消す

たいに が たい になる

## ひらがなのまま、文字を確定する

Wordでひらがなを打つと、文字の下に点線のアンダーラインが表示されます。点線のアンダーラインが付いた文字は、これから漢字に変換できることを意味しています。ここでは、「こんにちは」をひらがなのまま確定します。




点線のアンダーラインが消える

打った文字が後から漢字やカタカナに変わってしまわないようにするための操作を「文字の確定」と呼びます。

**点線のアンダーラインが消えた文字は確定済み**

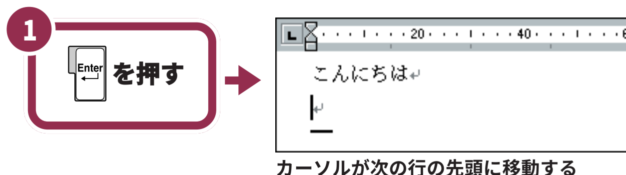
点線のアンダーラインが消えたのは、その文字が確定されたことを意味しています。文字の確定は、漢字を打つときにも行います。




ひらがなが間違いなく打てたら、Enter を押して、文字を確定する

## 改行する

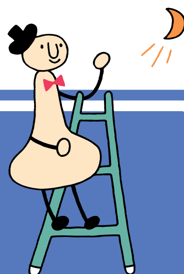
改行するときは、【Enter】を押して、カーソルを次の行の先頭に送ります。




カーソルが次の行の先頭に移動する

ローマ字入力でのひらがなの練習は、これで終わりです。続けて「漢字に変換する」(p.88)に進んでください。

「漢字に変換する」(p.88)に進む



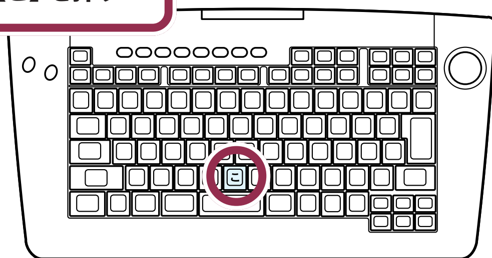
# ひらがなを打つ（かな入力）

ここは、かな入力に設定を変えた人のためのページです。最初に「こんにちは」と打ってみましょう。


参照
「ローマ字入力」で使用する人は→このPARTの「ひらがなを打つ（ローマ字入力）」（p.82）

## 「こんにちは」と打つ

**1** 【こ】を押す





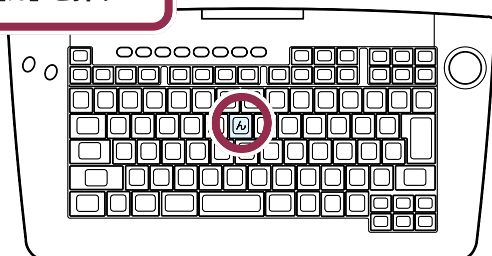


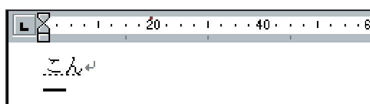

用語

**カーソル**

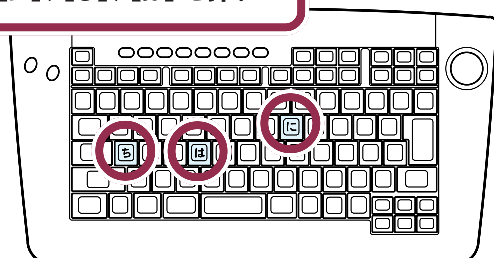
ワープロのウィンドウ内で点滅している「｜」を「カーソル」と呼びます。カーソルの位置から、右方向に文字が入っていきます。

**2** 【ん】を押す



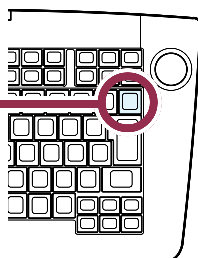



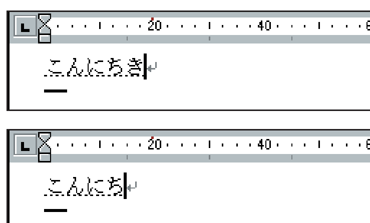
**3 【に】、【ち】、【は】と押す**



## 文字を打ち間違えたら

**1 [Back Space ←]を押す**






最後に打った文字が消える

**2 正しい文字を打ち直す**



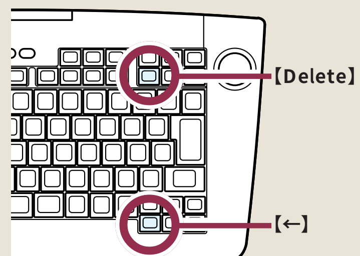

打ち間違えたときは、[Back Space ←]を押すと、後ろから文字を消すことができる。

### ●途中に間違えた文字があるとき

- 【BackSpace】を何度か押すと、カーソルの左側の文字を消すことができます。間違えたところまで戻してから、打ち直してください。
- 【←】（矢印のキー）を押してカーソルを前に戻してから、【Delete】を押す方法もあります。【Delete】を押した場合、カーソルの右側の文字を消すことができます。

### カーソルの左側の文字が消える

【BackSpace】を押すと、カーソルの左側の文字を消すことができます。つまり、文字を間違えたらすぐに【BackSpace】を押すようにすれば、消す文字の数が少なくなります。




### 【BackSpace】と【Delete】の違い

【BackSpace】は、カーソルの左側の文字を消す

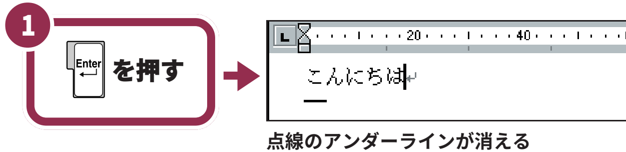
たい|に が た|に になる

【Delete】は、カーソルの右側の文字を消す

たい|に が たい| になる

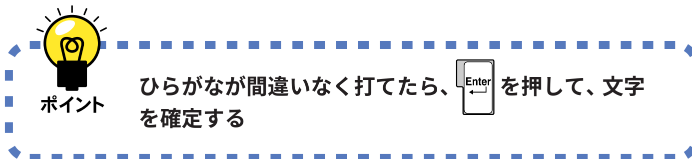
## ひらがなのまま、文字を確定する

Wordでひらがなを打つと、文字の下に点線のアンダーラインが表示されます。点線のアンダーラインが付いた文字は、これから漢字に変換できることを意味しています。ここでは、「こんにちは」をひらがなのまま確定します。



点線のアンダーラインが消える

打った文字が後から漢字やカタカナに変わってしまわないようにするための操作を「文字の確定」と呼びます。

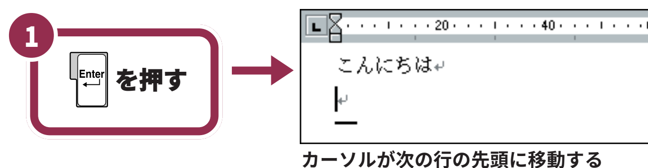



**点線のアンダーラインが消えた文字は確定済み**

点線のアンダーラインが消えたのは、その文字が確定されたことを意味しています。文字の確定は、漢字を打つときにも行います。

## 改行する

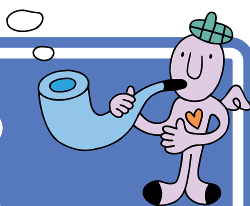
改行するときは、【Enter】を押して、カーソルを次の行の先頭に送ります。



カーソルが次の行の先頭に移動する

# 漢字に変換する

今度は、漢字を混ぜて「誕生日に」と打ってみます。



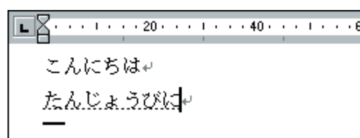
**マイペースでOK！**

ここからは、ローマ字入力もかな入力も共通の説明です。文字キーの位置は、自分でキーボードから見つけてください。慣れないうちは、キーを探すのに時間がかかるかもしれません。ゆっくり、マイペースで操作してください。

## 「誕生日に」と打つ

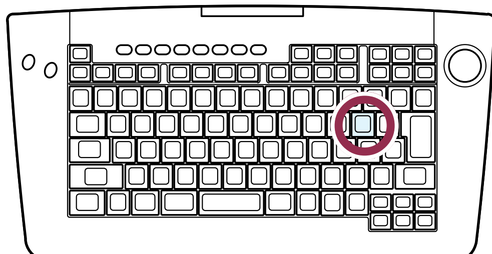
漢字を打つときも、最初はひらがなで打っていきます。ローマ字入力の方は、右側のつづりを参考にしてください。かな入力の方は、「じ」や「ょ」を打つ方法を説明していますので、参考にしてください。

**1 「たんじょうびに」とひらがなで打つ**



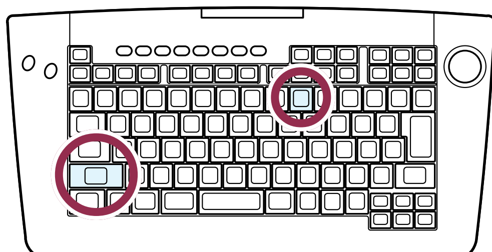

### ●「じ」（濁音(だくおん)）の打ち方：かな入力

「し」に続けて濁点のキーを押します。同じようにして「び」も打つことができます。



### ●小さい「ょ」（拗音(ようおん)）の打ち方：かな入力

【Shift】を押したまま、【よ】を押します。同じようにして「ゃ」「ゅ」も打つことができます。



**ローマ字入力の場合**

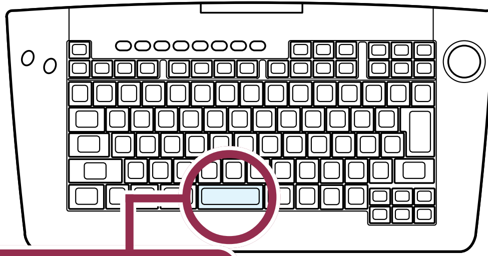
【T】【A】【N】【N】【Z】【Y】【O】【U】【B】【I】【N】【I】

**「JO」でも、「じょ」と打てる**

「じょ」を「ZYO」と打つ代わりに、「JO」と打つこともできます。ローマ字入力の方は、付録の「ローマ字つづり一覧」（p.170）を参考にしてください。

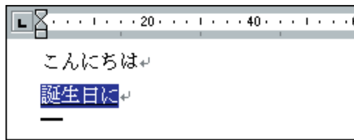
**かな入力の場合**

【た】【ん】【し】【゛】【Shift】＋【よ】【う】【ひ】【゛】【に】



**2** 【スペース】を押す

漢字に変換され、白黒反転した文字になる



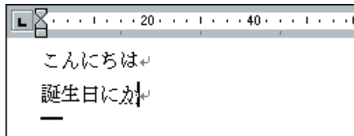

白黒反転した文字は、まだ変換が確定していないことを示します。




漢字に変換するには、ひらがなを打ってから、【スペース】を押す。

## 「会食をします」と打つ

**1** 「か」とひらがなで打つ




「誕生日に」が黒い色に変わる

**ローマ字入力の場合**

【K】【A】

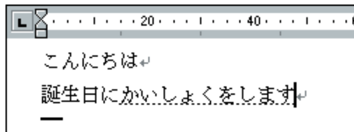
**かな入力の場合**

【か】

### ●正しく変換されたときは、続けて次の文字を打つと確定できる

「会食をします」の先頭の文字（か）を打ったところで、「誕生日に」が白黒反転からふつうの文字に変わりました。【スペース】を押して正しい漢字に変換されたときは、次の文字を続けて打つと、直前の変換が確定されます。

**2** 続けて「いしょくをします」とひらがなで打つ




**ローマ字入力の場合**

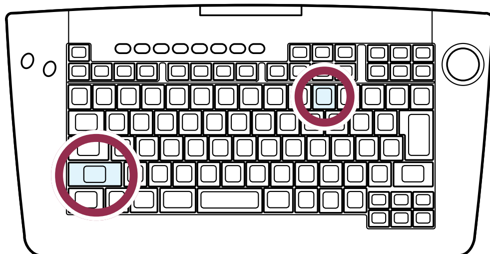
【I】【S】【Y】【O】【K】【U】【W】【O】【S】【I】【M】【A】【S】【U】

**かな入力の場合**

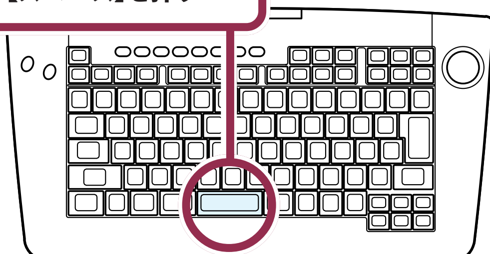
【い】【し】【Shift】+【よ】【く】【Shift】+【わ】【し】【ま】【す】

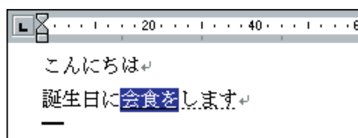
### ●「を」の打ち方：かな入力

【Shift】を押したまま、【わ】を押します。「っ」「ぁ」などの小さな文字も、同じようにして打つことができます。



**3** 【スペース】を押す





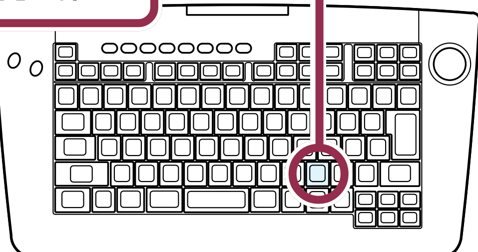

「。」を打つと、「会食をします」が確定します。

## 「。」を打つ

「。」（句点）や「、」（読点）は、頻繁に使う記号なので、キーボードから直接打てるようになっています。ローマ字入力の場合とかな入力の場合で打ち方が違います。

### ●「。」の打ち方：ローマ字入力

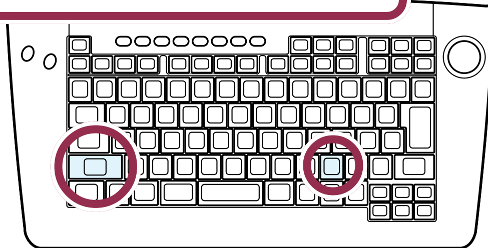
**1** 【.】を押す



ローマ字入力では、ピリオドのキーを押す

●「。」の打ち方：かな入力

1 【Shift】を押したまま【る】を押す

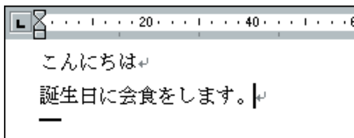


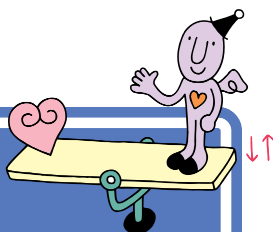
かな入力では、【Shift】を押したまま【る】を押す

## 「。」を確定する

「。」や「、」を打ったあとも、文字の確定が必要です。ひらがなで「こんにちは」と打ったときと同じように、【Enter】を押して確定します。

1 【Enter】を押して、確定する

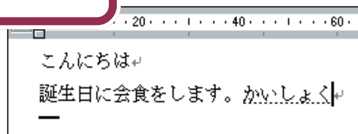




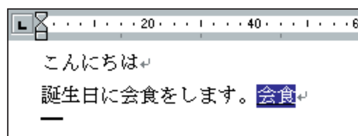
# 同音語を見る

「かいしょく」という読みに対応する単語は、他にも「快食」「海食」「解職」などがあります。それらの単語に変換する方法も練習しておきましょう。

## 1 「かいしょく」とひらがなで打つ

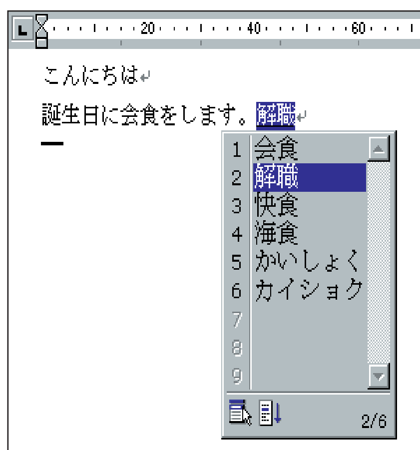



## 2 【スペース】を押す




## 3 もう一度【スペース】を押す

「かいしょく」の同音語の一覧が表示され、2番目の候補「解職」が反転する

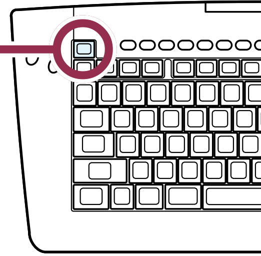


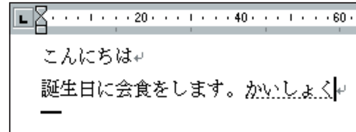

候補の一覧の下に「2/6」と出ているのは、「かいしょく」という読みで変換できる単語が6種類あることを意味しています。同音語の候補が10種類以上あるときは、一覧の右下 が になります。 をクリックすると、候補の続きを見ることができます。

**チェック!!**

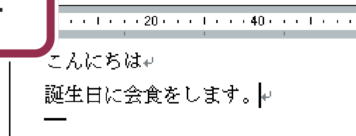
一覧に表示される候補の順番は、本書の例と異なることがあります。これは、新たな漢字を変換するたびに、次回からその漢字を優先して表示するように作られているためです。画面の表示が本書と違っていても故障やトラブルではありません。

4 いまは同音語を見るだけなので、【Esc】を押す






5 もう一度【Esc】を押す




**●【スペース】を 2 回押すと、同音語の候補が表示される**

ここで練習したように、【スペース】を 2 回続けて押すと、打ったひらがなと読みが同じ単語が一覧表示されます。この一覧から目的の単語をクリックして選択し、【Enter】を押して確定してください。

**●一覧から単語を選ぶときは、番号のキーを押す**

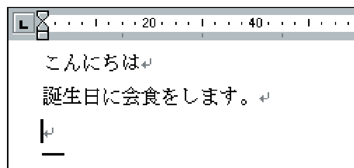
キーボードから単語の番号を押すと、変換が完了します。

**●変換を取り消すときは、【Esc】を押す**

変換が確定する前は、【Esc】を押すと、変換を取り消してひらがなの読みに戻すことができます。もう一度【Esc】を押すと、読みの入力を取り消して、ひらがなを消すこともできます。ただし、変換が確定しているときには、【Esc】を押しても無効です。

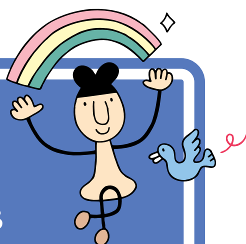
## 改行する

1 Enter を押す




カーソルが次の行の先頭に移動する

# カタカナを打つ



今度はカタカナを打ってみましょう。打ち込む文字の種類を変えるときは、画面右下にある、「ツールバー」を使います。

## ツールバーを確認する

画面の右下には次の表示があります。これを「ツールバー」と呼びます。いま、どんな文字が打てる状態なのか、このツールバーを見るとわかります。現在は、ひらがなが打てる状態なので「あ」と表示されています。




現在打てる文字の種類が表示される

かな入力のときは、「KANA」の表示が選択されている

## カタカナが打てるようにする

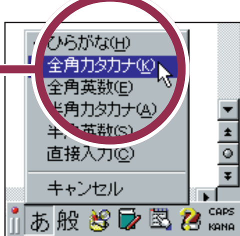
カタカナを打つには、ツールバーを使って文字の種類を切り替えます。

**1** 「あ」をクリックする




ツールバーの上に、文字の種類の一覧が出る

**2** 「全角カタカナ」をクリックする







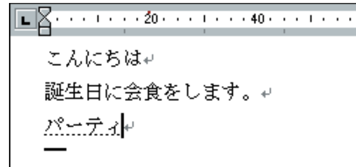
文字の種類の一覧が消え、ここに「カ」と表示される

これで、打てる文字の種類がひらがなからカタカナに切り替わりました。

カタカナには、「全角カタカナ」と「半角カタカナ」の2種類があります。ここでは、「全角カタカナ」を使って練習します。「半角カタカナ」を使うと、通常の半分の幅のカタカナを打つことができます。

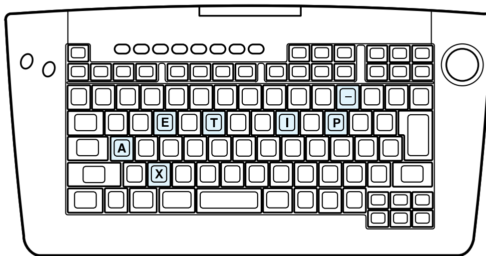
## 「パーティ」と打つ

**1** 「パーティ」と打つ



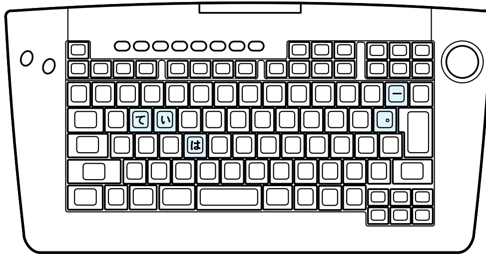

### ●「パーティ」の打ち方：ローマ字入力

【P】【A】【-】【T】【E】【X】【I】

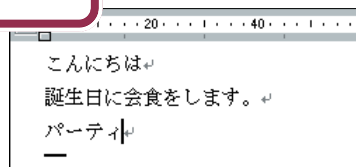



### ●「パーティ」の打ち方：かな入力

【は】【゜】【ー】【て】【Shift】+【い】




**2** 【Enter】を押して確定する




**「ー」（長音）：ローマ字入力**

を押します。

**「ィ」：ローマ字入力**

【X】【I】と押します。【X】に続けて母音（AIUEO）のキーを押すと、小さな文字が打てます。

**「パ」（半濁音）：かな入力**

「ハ」に続けて、を押します。

**「ー」（長音）：かな入力**

を押します。

**「ィ」の打ち方：かな入力**

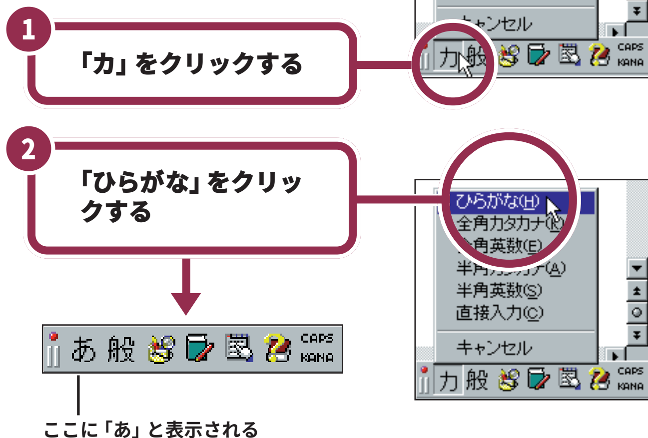
【Shift】を押したまま、【い】を押します。

**漢字と同じようにカタカナも変換できる**

「パーティ」や「ディナー」など、日本語の中に定着した外来語は、ひらがなを打って【スペース】を押してもカタカナに変換できます。

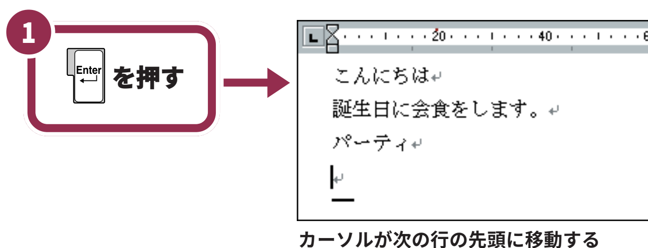
## ひらがなが打てる状態に戻す

もう一度ツールバーを使って、ひらがなが打てる状態に戻します。

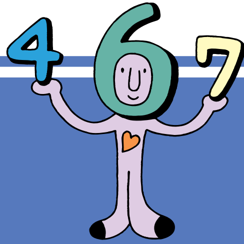



これで、打てる文字の種類がひらがなに切り替わりました。

## 改行する



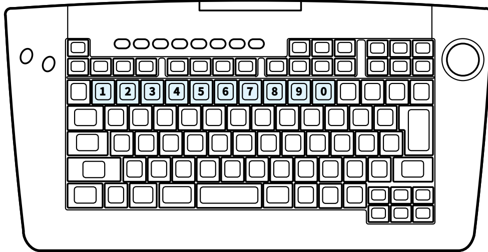
# 数字を使って日付を打つ




カタカナの次は数字の打ち方を練習します。

## ローマ字入力で数字を入力する

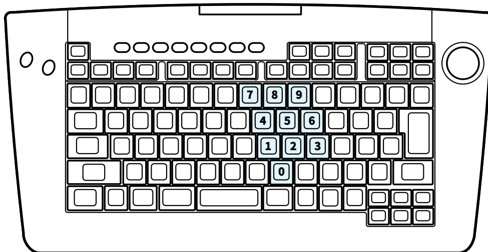
文字キーの一段目にある数字を入力することができます。




例えば[# あ 3 あ]を押すと、3 が入力されます。

## かな入力で数字を入力する

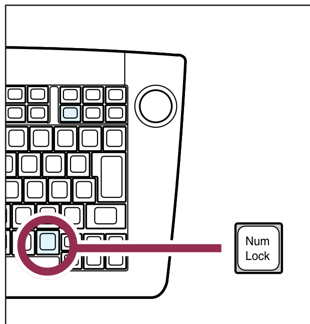
パソコン本体の右側の[1]のランプが点灯していれば、数字を打つことができます。

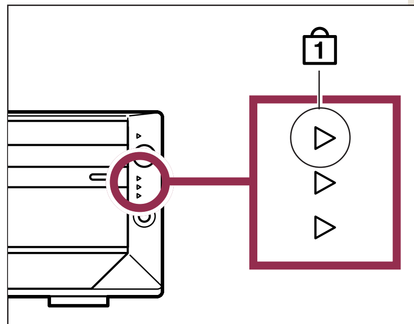



[1]が点灯していると、キーの前面に書かれた文字（[L り]なら 3）が入力できます。

### ●[1]が消えているとき

[1]のランプが消えている場合、[Num Lock]を１回押して点灯させます。

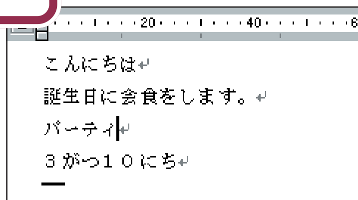


## 「３月１０日」と打つ

数字と漢字の読みを続けて打って、まとめて変換することができます。

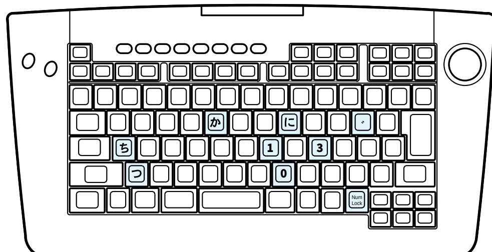
**1** 「3がつ１０にち」と打つ




「１０ひ」「１０か」と打っても「１０日」と変換することができます。

### ●「3がつ１０にち」の打ち方：かな入力

【L り】【Num Lock】【か】【゛】【つ】【Num Lock】【J ま】【M も】【Num Lock】【に】【ち】

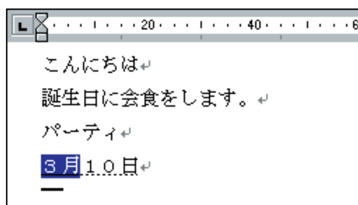


ローマ字入力の場合

【3】【G】【A】【T】【U】【1】【0】【N】【I】【T】【I】

キーボードの上に書かれた文字を入力する場合は、もう一度【Num Lock】を押します。

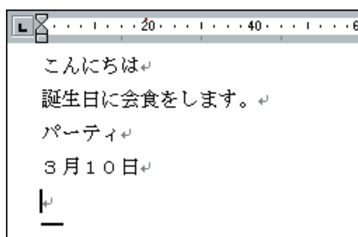
**2** 【スペース】を押す




**3** 【Enter】を押して、確定する

## 改行する

**1** 【Enter】を押す




カーソルが次の行の先頭に移動する

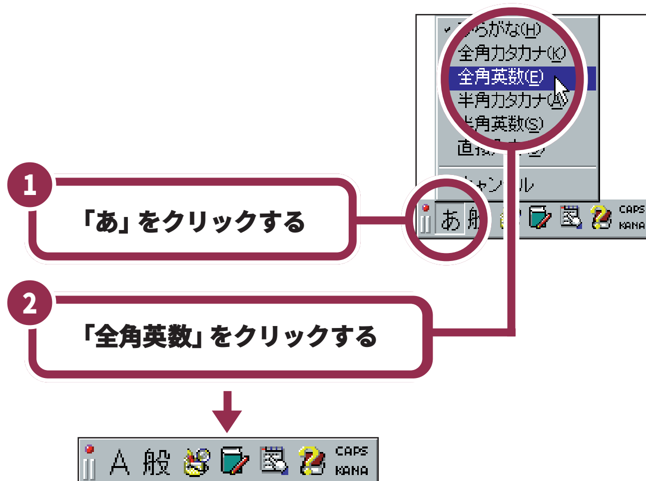
# 英字を打つ




英字（アルファベット）を打つときも、カタカナを打ったときのように、文字の種類を切り替えます。

## 英字が打てるようにする

英字を打つには、ツールバーを使って文字の種類を切り替えます。




1 「あ」をクリックする

2 「全角英数」をクリックする

文字の種類の一覧が消え、ここに「A」と表示される

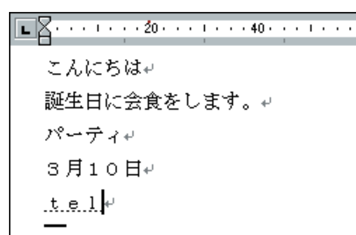
これで、打てる文字の種類がひらがなから英字に切り替わりました。

英字には、「全角英数」と「半角英数」の２種類があります。ここでは、「全角英数」を使って練習します。「半角英数」を使うと、通常の半分の幅の英字や数字を打つことができます。

参照
半角文字を打つには→このPARTの「文字入力のヒント」（p.102）

## 「ｔｅｌ」と打つ

1 「ｔｅｌ」と打つ



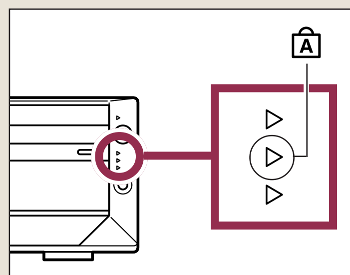

英字を打つ場合、ローマ字入力でもかな入力でも、使うキーは共通です。

**●大文字を打つときは、【Shift】を押したまま**

英字が打てる状態のとき、【Shift】を押したまま文字キーを押すと、大文字を打つことができます。

**●続けて大文字を打つときは、[A]を点灯させる**

【Shift】を押したまま【CapsLock】を押すと、パソコン本体右側の上から2番目にある[A]のランプが点灯します。このランプが点灯しているときは、【Shift】を使わずに文字キーを押すだけで、大文字が打てます。もう一度【Shift】を押したまま【CapsLock】を押せば、ランプが消えて元に戻ります。



**2 【Enter】を押して確定する**

## ひらがなが打てる状態に戻す

もう一度ツールバーを使って、ひらがなが打てる状態に戻します。

**1 「A」をクリックして**

**2 「ひらがな」をクリックする**



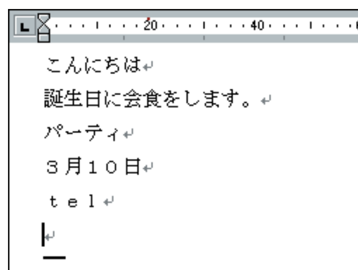




これで、打てる文字の種類がひらがなに戻りました。

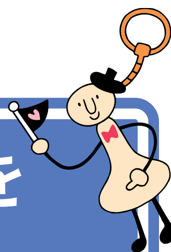
## 改行する

**1 [Enter]を押す**




カーソルが次の行の先頭に移動する

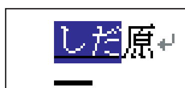
これで、ひらがな、漢字、カタカナ、数字、英字と、一通りの文字の打ち方を練習しました。



# 自分の名前と住所を打ってみる

自分の名前と住所を打つ練習をしましょう。一度で変換できない名前や住所の場合、このページの説明を参考にしてください。

## 途中で分かれて変換されてしまう場合




「志田原（しだはら）」という苗字を例に説明します。「しだはら」と打って【スペース】を押すと、右の図のように、「しだ」と「原」に分かれて変換されてしまいます。
これは、パソコン側で、「志田原」という苗字をひとつの単語として認識することができず、「しだ」と「はら」の2つの区切り（文節）に分けて変換しようとしたために起きることです。このような場合、次のようにして変換します。

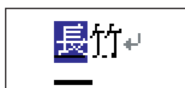
1. 【スペース】をあと1回押し、「しだ」の同音語の一覧を出す
2. 「志田」の番号を押す

用語

**文節**

パソコンは、ひらがなの読みを漢字に変換するときに、単語の前後関係などを分析して、変換の区切りを判断しています。この区切りの単位を「文節」と呼びます。複数の文節が含まれた、長い文でもいちどに変換することができますが、長い読みを入れるほど、パソコンが文節の区切りを間違える可能性も高くなります。

## 文節の区切りがおかしいとき




「尾佐竹（おさたけ）」という苗字を例に説明します。「おさたけ」と打って【スペース】を押すと、右の図のように、「長」と「竹」に分かれて変換されてしまいます。
これは、「おさ」と「たけ」の2つに文節が分かれたためです。このような場合、次のようにして文節の区切りを直してから変換します。

1. 【Shift】を押したまま【←】を1回押す
2. 「長竹」が「おさ竹」に戻り、「お」の下にアンダーラインが付く
3. 【スペース】を2回押し、「お」の同音語を表示する
4. 「尾」の番号を押す
5. 「尾」が正しくなると、「さたけ」も「佐竹」に変換される

## うまく変換できないときは、一文字ずつ変換できる

Wordに慣れないうちは、一度でうまく変換できない文字があったとき、一文字ずつ変換するのが、手っ取り早い方法です。上で説明した「尾佐竹」の場合なら、「お」と打って【スペース】を押し、同音語から「尾」を選びます。同じようにして「さ」を「佐」に、「たけ」を「竹」に変換すれば、簡単に正しい文字に変換できます。

# 文字入力のヒント

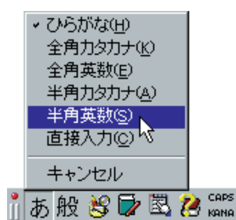
ここまでで、漢字やカタカナなど、文字を打ち分けるための基本的な方法を練習しました。効率的に文字を入力するには、その他にも覚えておくと便利な方法があります。

## 半角文字で英数字を打つ

漢字やひらがな 1 文字分の半分の幅の文字を「半角文字」と呼びます。

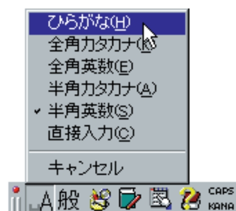
### ●半角文字を打つ方法

まず、画面右下にある あ をクリックして、「半角英数」をクリックします。あ が A に変わります。




このあと、英文字の小文字（abc）を打つときは、そのままキーボードの文字キーを押します。
英文字の大文字（ABC）を打つときは、キーボードの Shift を押したまま、文字キーを押します。
数字を打つときは、文字キーの 1 段目にある数字キーを使います。

半角文字を打ち終えたら、画面右下にある A をクリックして、「ひらがな」をクリックします。



## 日本語入力のオンとオフ

Word を起動すると、文字キーを押したときにひらがなが打てるようになっています。この状態のことを「日本語入力がオン」の状態と呼びます。

### ●日本語入力のオンとオフの見分け方

画面の右下に注目します。




日本語入力がオンになっている




日本語入力がオフになっている

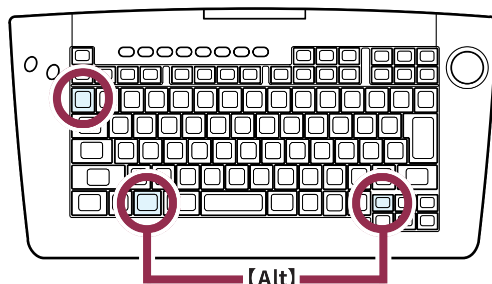
が表示されていれば、日本語入力がオンになっています。日本語入力がオンのときは、日本語入力ツールバーも表示されます。
が表示されていれば、日本語入力がオフになっています。この状態では、文字キーを押すと半角の英字や数字が打てます。

### ●日本語入力オン／オフの使い分け

英文の手紙を打つ場合など、半角の英数字を続けて打つときには、日本語入力をオフにしたほうが効率よく作業できます。Word の場合は、ソフトを起動した直後には日本語入力がオンに設定されていますが、ソフトによっては、日本語入力がオフの状態で起動されるものもあります。このようなソフトで日本語を入れたいときは、日本語入力をオフからオンに切り替えます。

### ●日本語入力のオンとオフを切り替える方法

ワイヤレスキーボードの下の方にある 左右どちらかの Alt を押したまま、左上の方にある 半角/全角 を 1 回押します。




これで、日本語入力がオンのときはオフに、オフのときはオンに切り替わります。画面右下の表示が変化するのを確認してください。

Alt は 2 カ所にあります。どちらでも押しやすいほうを使ってください。

用語

**【Alt】**

「オルト」と読みます。このキーを押したまま他のキーを一緒に押すことで、いろいろな機能が使える場合があります。

## 文字の直し方

文字の訂正方法には、いくつかの方法があります。

### ●変換を元に戻す：Esc

漢字に変換した直後、文字が確定する前（文字が青く表示されている状態）であれば、Esc を 1 回押すと、ひらがなに戻ります。ひらがなに戻ってから、もう一度 Esc を押すと、文字が消えます。

### ●後ろから前に 1 文字ずつ消していく：Back Space

Back Space を押すと、カーソル（文字が打ち込まれる位置を示す、黒い縦棒）の位置から、左方向に 1 文字ずつ消すことができます。間違った所を消してから、正しく打ち直します。

### ●カーソル位置の右にある文字を 1 文字ずつ消す：Delete

間違えた文字の左隣をクリックすると、カーソルがその場所に移動します。そこで、Delete を押すと、カーソルの右側にある文字が消えます。間違った所を消してから、正しく打ち直します。

## 記号を打つ

記号を打つには、文字キーを使って打つ方法と、画面に記号の一覧を表示して、そこから選ぶ方法の 2 種類があります。

### ●文字キーを使って打つ：ローマ字入力

ローマ字入力の時は、⇧Shift を押したまま文字キーを押すと、キーの左上に書かれた記号を打つことができます。

! 1 ぬ

ただし、「、」 < 、 ね 、「。」 > 。 る や、かぎかっこ（「　」） { 「 [ ゜ } 」 ] む は、⇧Shift を押さずに、そのままキーを押します。

### ●文字キーを使って打つ：かな入力

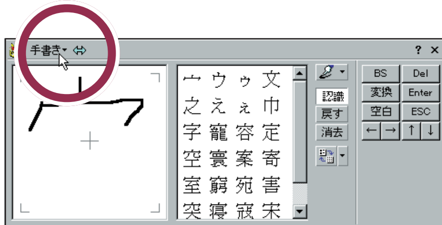
かな入力の時は、カタカナ ひらがな を押して、カナ ON が 英小 ON に変わるのを確認してください。⇧Shift を押したまま文字キーを押すと、キーの右上に書かれた記号を打つことができます。

# ぁ 3 あ

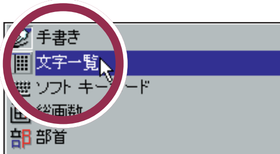
記号を打ち終えたら、もう一度 カタカナ ひらがな を押し、英小 ON から カナ ON に戻します。

### ●画面に記号の一覧を表示して、そこから選ぶ：IMEパッド

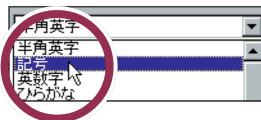
1.画面右下の［アイコン］に矢印を合わせ、ワイヤレスキーボードのトラックボールの左クリックボタンをクリックする。
2.次の画面が表示されたら、「手書き」をクリックする。



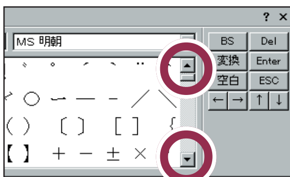
3.「文字一覧」をクリックする




4.「文字一覧」の「半角英字」の▼をクリックして「記号」を選ぶ

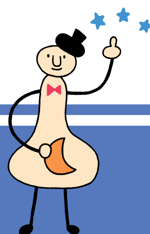



5.▼や▲のボタンを使って画面をスクロースさせる



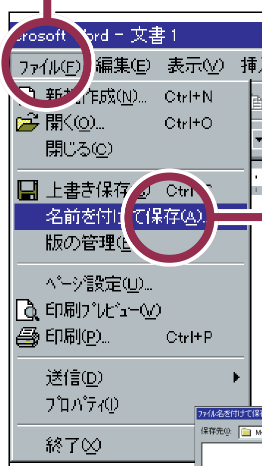
記号は、何種類かに分類されています。まず画面の左側で分類をクリックし、次に右側の一覧から使いたい記号をクリックします。▼や▲をクリックすると、いろいろな記号が出てきます。その中から、使いたい記号をクリックすると、選んだ記号を打つことができます。選んだ記号を打った後は、【Enter】を押して確認してください。
最後にIMEパッドの画面の右上にある×をクリックして、画面を閉じます。

# 文書を保存する

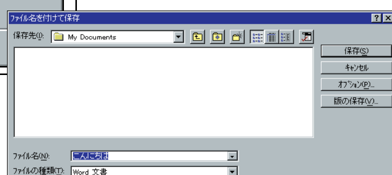


このまま、終わってしまうと、せっかく作った文書が消えてしまいます。記念すべきワープロ第1号文書をパソコンの中に保存しておきましょう。

**1** 「ファイル」をクリックする




**2** 「名前を付けて保存」をクリックする




保存するための画面が表示される

**3** 「ファイル名」の欄に「こんにちは」と反転表示されていることを確かめる

**4** 「れんしゅう1」とひらがなを打つ




「ファイル名」の欄に、文字が入る

**5** 【スペース】を押す




「練習1」と漢字に変換される

**用語**

### ファイル名

パソコンの中では、さまざまなデータが「ファイル」という単位で保存されています。いまワープロで作ったばかりの文書も、ファイルの1つとして保存されます。あとから探しやすいように、それぞれのファイルには名前（ここでは、「練習1」）を付けます。

作成した文書の1行目から、先頭の数文字が自動的にファイル名として表示されます。このままではわかりにくいので、ファイル名を入力しなおします。

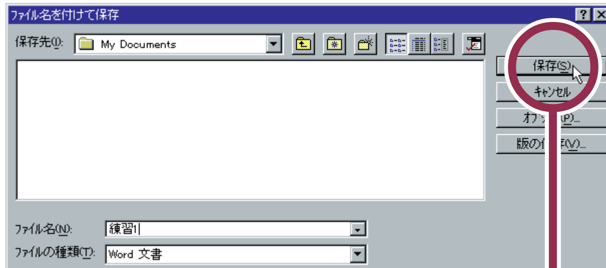
**チェック!!**

### ファイル名に使用できない文字

半角文字や記号の中にはファイル名として使ってはいけないものがあります。次の半角文字は使用できません。

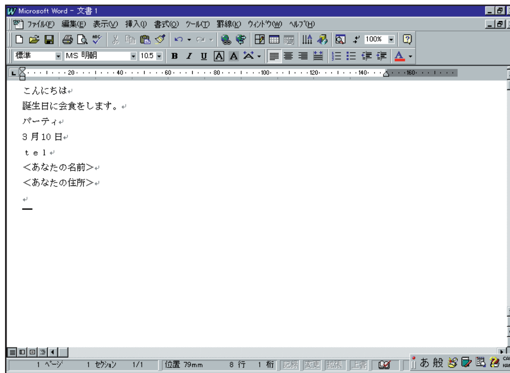
\ / : * ` < > |

**6** 【Enter】を押して、文字を確定する




**7** 「保存」をクリックする

「保存」をクリックすると、
この画面に戻る




**8** ウィンドウ左上の表示が「Microsoft Word ― 練習 1」になっていることを確かめる

Microsoft Word - 練習1

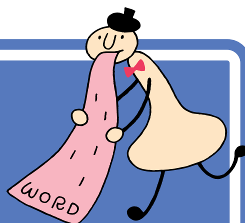



新しくワープロで作った文書を保存するときは、「ファイル」をクリックし「名前を付けて保存」をクリックする。好きなファイル名を付けてから、「保存」をクリックする。

Wordを起動すると最初に、ウィンドウ左上には便宜的に「文書 1」という名前が付けられています。このウィンドウで文書を作成し、名前を付けて保存すると、ウィンドウ左上の表示は、あなたが付けたファイル名に置き換えられます。

# 文書を印刷する

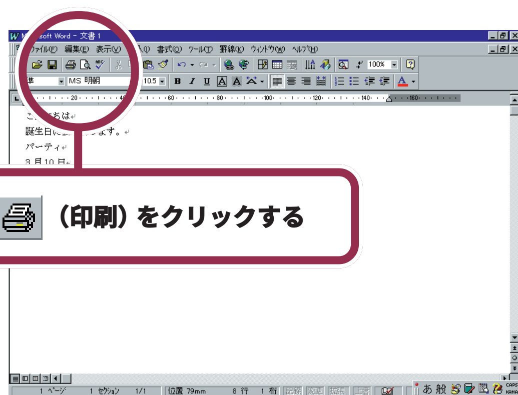
プリンタがある場合には、完成した
文書をプリンタで印刷しましょう。




プリンタを持っていない方や、プリンタの準備を行っていない方は印刷できませんので、この部分は読みとばしてください。

**1** プリンタが印刷可能な状態になっていることを確認する

参照
プリンタの状態の確認については→プリンタに付属のマニュアル、および『拡張の手引き』PART 1の「プリンタを使う」



**2** （印刷）をクリックする

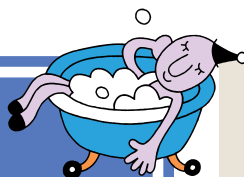
↓

印刷が始まる




文書を印刷するときは、（印刷）をクリックする。

参照
もし、印刷がうまくできないときは、まずプリンタの電源ケーブルやプリンタケーブルの接続を確認したあと→『困ったときのQ&A』PART 1の「印刷しようとしたら…」



# Word を終わる

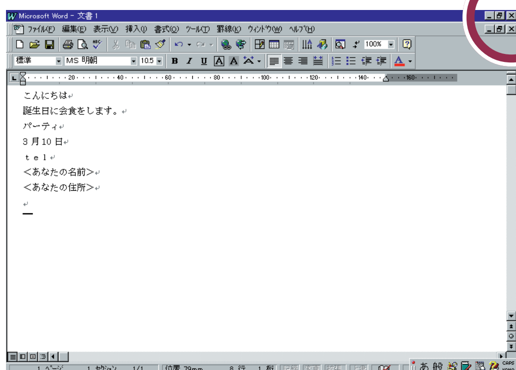
パソコンで自分の名前や住所が打てるようになれば、たいしたものです。すぐにワープロを使いこなせるようになりますよ。でも、いまはここで一息入れましょう。

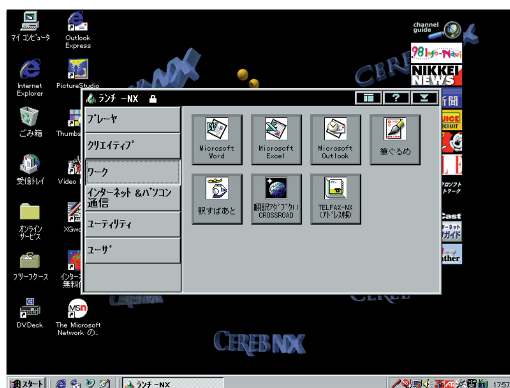
## Word を終了する

**1**



の上のほうの × をクリックする。




Word が終了し、ランチ - N X に戻る

下の方の × をクリックした場合は、その文書だけが閉じます。Wordは終わりません。表示中の文書の作成を終わり、別の文書や新しい文書を開きたいときに使います。



ポイント

多くのアプリケーションでは、画面右上に 2 つの × が表示される。

- 上の × →アプリケーションを終わるためのボタン
- 下の × →編集中の文書（またはデータ）を閉じるためのボタン

# このPARTのまとめ

ここでは、ワープロを利用して、いろいろな文字を打つ操作を練習しました。

## ローマ字入力？　それとも、かな入力？

自分に合った入力方法を選んでください。→このPARTの「文字の入れ方を決める」（p.79）

## ひらがなを打つ

あいうえお

ローマ字入力の場合、文字キーの上のアルファベットを見て、ローマ字のつづりを打っていきます。かな入力の場合、文字キーの上のかな文字をみて打ちます。キーの上段に書かれた文字（「を」や小さい「ゃ」など）は、【Shift】を押したまま打ちます。

## 漢字に変換する

かんじへんかん


【スペース】を押す

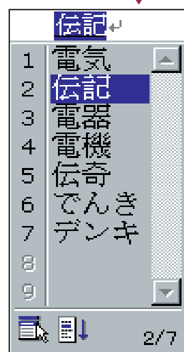
漢字変換

ひらがなを打ってから【スペース】を押します。

## 同音語を選ぶ

でんき


【スペース】を 2 回押す




一覧から目的の単語を選ぶ
（クリックするか、番号を押す）

一度で思い通りの漢字にならないときは、もう 1 回【スペース】を押すと、同音語の一覧が表示されるので、目的の単語の番号を押します。

この PART のまとめ

## 文字を確定する

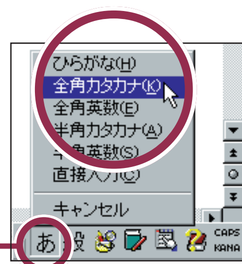
点線のアンダーラインが付いた文字や、漢字に変換して白黒反転したように見える文字は、まだ確定していません。次のようにして確定してください。

**【Enter】を押す**
ひらがな、カタカナ、英字など、変換の必要がない文字を確定するには、【Enter】を押します。

**続きの文字を打つ**
ひらがなを打って【スペース】を押し、目的の漢字に変換されたときは、続けて次の文字を打つと、変換された部分が確定します。次の文字がないときは、【Enter】を押しても確定します。

**同音語の一覧から選ぶ**
【スペース】を 2 回押して、同音語の一覧が表示されたときは、目的の漢字の番号を選び、【Enter】を押して確定します。

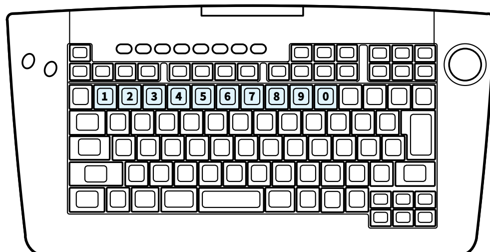
## カタカナを打つ




ここをクリックして、文字の種類の一覧から「全角カタカナ」を選ぶ

日本語入力ツールバーの あ をクリックして、「全角カタカナ」をクリックすると、カタカナを打つことができます。「マンション」や「パソコン」などのように日本語に定着した外来語は、ひらがなを打ってから【スペース】を押してもカタカナに変換できます。

## ローマ字入力で数字を入力する

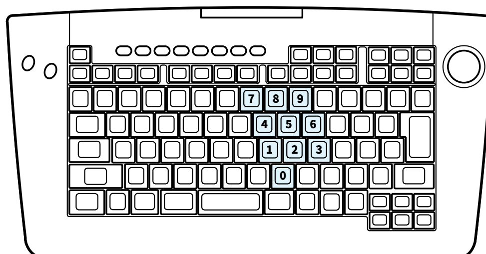


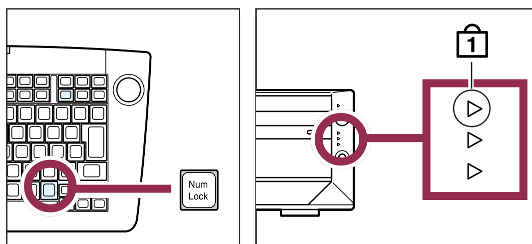

文字キーの一段目にある数字を入力することができます。

# このPARTのまとめ

## かな入力で数字を入力する

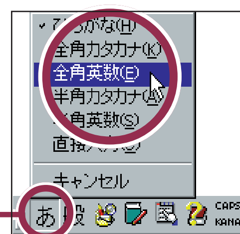
パソコン本体の右側の1のランプが点灯していれば、数字キーから数字を打つことができます。






数字を入力するときは、パソコン本体右側の1番上の1のランプが点灯していることを確かめてください。ランプが消えているときは、【NumLock】を押します。

## 英字を打つ

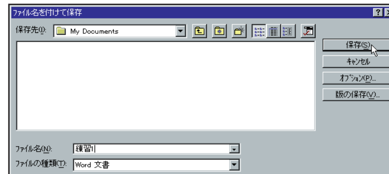



ここをクリックして、文字の種類の一覧から「全角英数」を選ぶ

日本語入力ツールバーの あ をクリックして、「全角英数」をクリックすると、英字を打つことができます。大文字を打つには、【Shift】を押したまま文字キーを押します。

この PARTのまとめ

## 文書を保存する



新しく作った文書を保存するときは、「ファイル」をクリックしてから、「名前を付けて保存」をクリックします。次に、好きなファイル名を入力してから、「保存」をクリックします。

## 文書の印刷

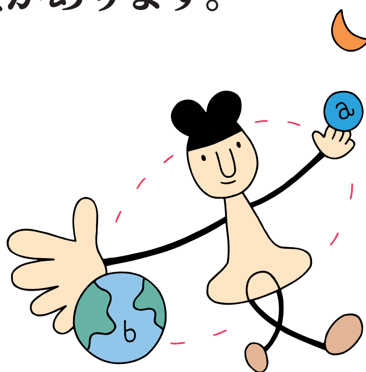
作成した文書を印刷するときは、（印刷）をクリックします。

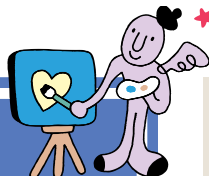
PART

# 5

# ウィンドウの扱いをマスターしよう

「ウィンドウ」とは、ワープロなどのソフトを利用するための窓です。机の上でノートや資料を広げるような感じで、あなたのパソコンの画面を利用していくには、ウィンドウを動かしたり、大きさを自由に変えたりする操作をマスターしておく必要があります。





# ペイントを始める

それでは、ペイントという絵を描くためのソフトを使って、ウィンドウを画面に表示させてみます。

## ランチ-NXから「ペイント」を始める

**1** 「ユーティリティ」をクリックする



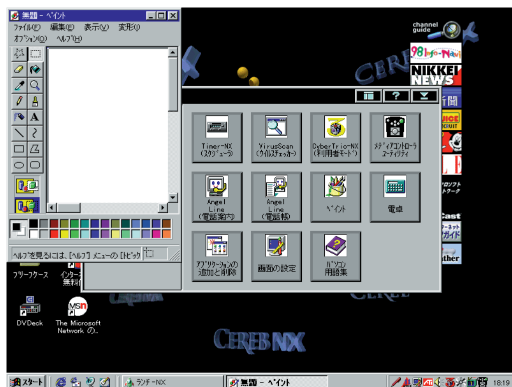




グループ「ユーティリティ」に分類されているソフトが表示される

**2** 「ペイント」をクリックする

「ペイント」のウィンドウが表示される



ランチ-NXの上に重なるようにして表示されたものが、「ペイント」のウィンドウです。

### 用語

**ウィンドウ**

ペイントを起動すると、新しい画面が開くように見えます。このように画面の中に開く枠付きの画面のことを「ウィンドウ」と呼びます。このパソコンでは、同時に複数のウィンドウを開いて、さまざまなソフトを扱えるようになっています。たとえば、机の上で会議のときのメモをみながら議事録を作るように、複数の書類を同時に見ながら作業を進めていけるわけです。

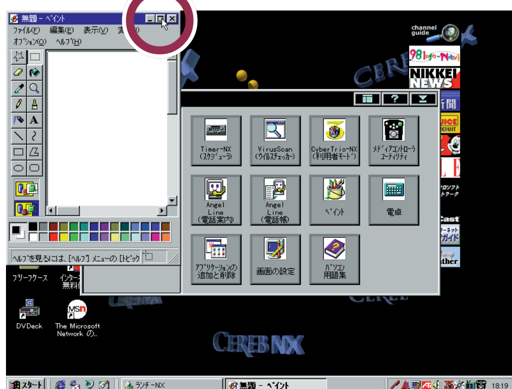
# ウィンドウを最大化、最小化する

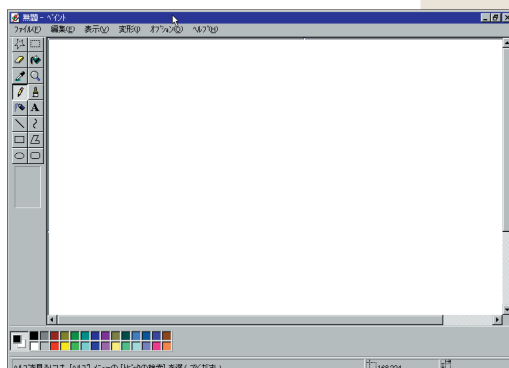
ウィンドウは、クリックひとつで画面いっぱいに広げたり、一時的に最小化して隠したりすることができます。練習してみましょう。

## ウィンドウを最大化する

ウィンドウを画面いっぱいの大きさに広げてみましょう。

**1** [_][□][×]のまん中の[□]をクリックする





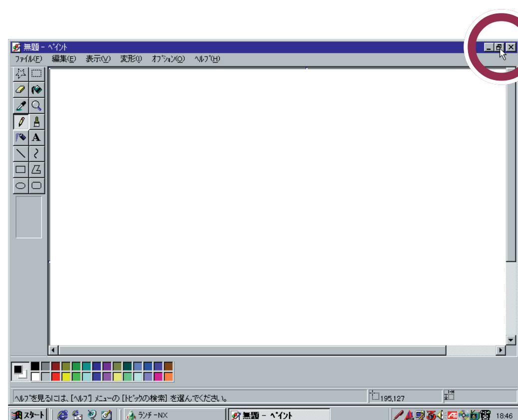
クリックすると、ウィンドウが画面いっぱいに広がる

**用語**

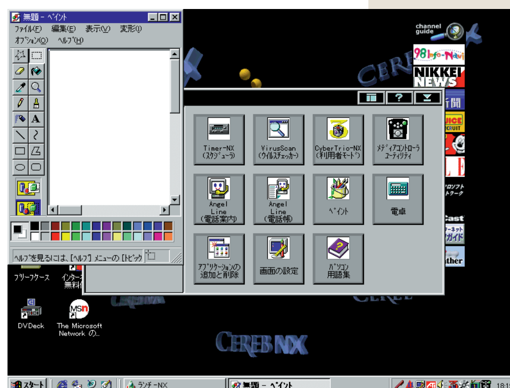
**最大化**

ウィンドウを画面いっぱいに広げること。[□]をクリックすることで最大化されます。最大化すると[□]は[🗗]に変わり、[🗗]をクリックすると、元の大きさ（最大化する前の大きさ）に戻ります。ワープロを起動したときのウィンドウは、最初から最大化された状態で開きます。

元の大きさのウィンドウに戻しましょう。



1 のまん中の をクリックする



ウィンドウが元の大きさに戻る

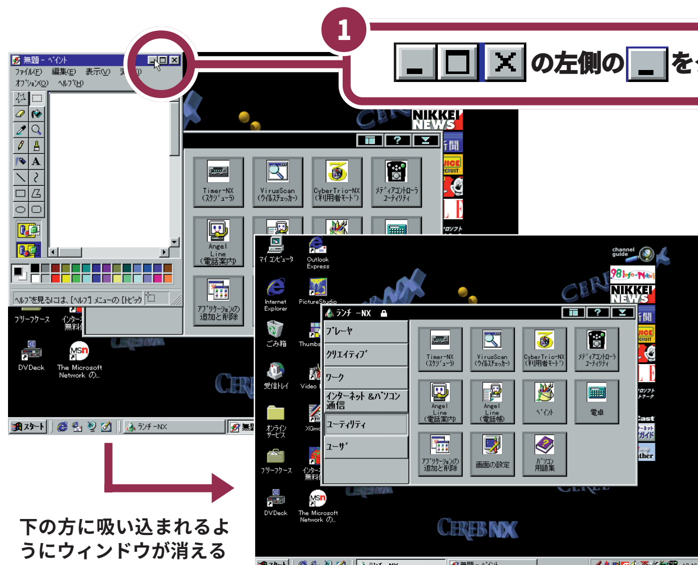


ポイント

ウィンドウを画面いっぱいに広げたいときは、をクリックする。元の大きさに戻すときはをクリックする。

## ウィンドウを最小化する

一度にたくさんのウィンドウを開いて画面が見にくくなったときなど、一時的にウィンドウを隠すことができます。



1 [_][□][×]の左側の[_]をクリックする

下の方に吸い込まれるようにウィンドウが消える

再び、ウィンドウを表示させましょう。



1 画面の下にある「無題 - ペイント」をクリックする

再びウィンドウが表示される

### 用語

**最小化**

ウィンドウを一時的に隠すこと。[_]をクリックすることで最小化されます。最小化したウィンドウをもう一度表示するときは、画面の一番下に表示されたボタンを使います。

最小化したウィンドウは、一時的に隠れているだけです。ワープロなどのソフトを終了したときに、ウィンドウが消えるのとは異なっています。作業を終わるときには、最小化したウィンドウを元に戻し、きちんと終了させるようにしてください。



ポイント

ウィンドウを一時的に消したいときは、[_]をクリックする。消したウィンドウをもう一度表示させたいときは、画面の一番下に表示されている目的のウィンドウ名をクリックする。

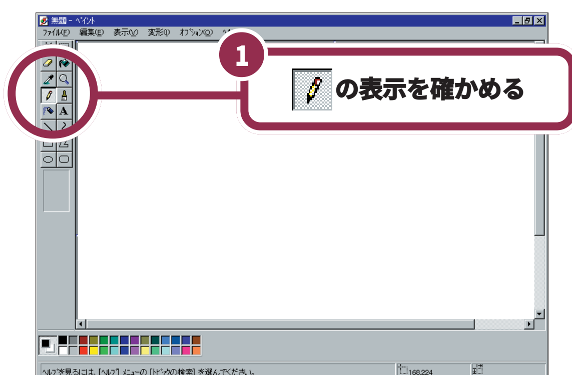


# ペイントで簡単に絵を描く

ペイントを使って、簡単な絵を描いてみましょう。ウィンドウのサイズよりも大きな絵も描くことができます。

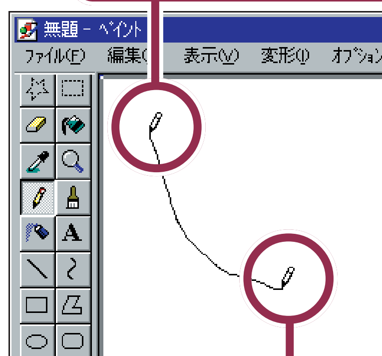
## 鉛筆ツールを使って好きな絵を描く

「PART 2　トラックボールに慣れよう」で練習した、ドラッグという操作を使って絵を描くことができます。



1 の表示を確かめる

2 ここでワイヤレスキーボードの左クリックボタンを押し、ボタンを押したままトラックボールを手前に動かして、




3 適当な位置でボタンを離す

を「鉛筆ツール」といいます。このボタンが引っ込んだように見えるときは、鉛筆ツールを使って自由な線を引くことができます。

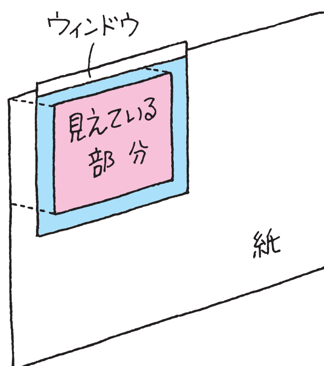
左の❷の操作をドラッグと呼びます。

4 自由にドラッグして好きな絵を描く




## スクロールしてみる

現在、ウィンドウに見えている部分は、ペイントで用意されている白い紙の左上端の部分だけです。残りの部分は見えていないことになります。




見えている部分を表示させるときには、次のような「スクロール」という操作をします。

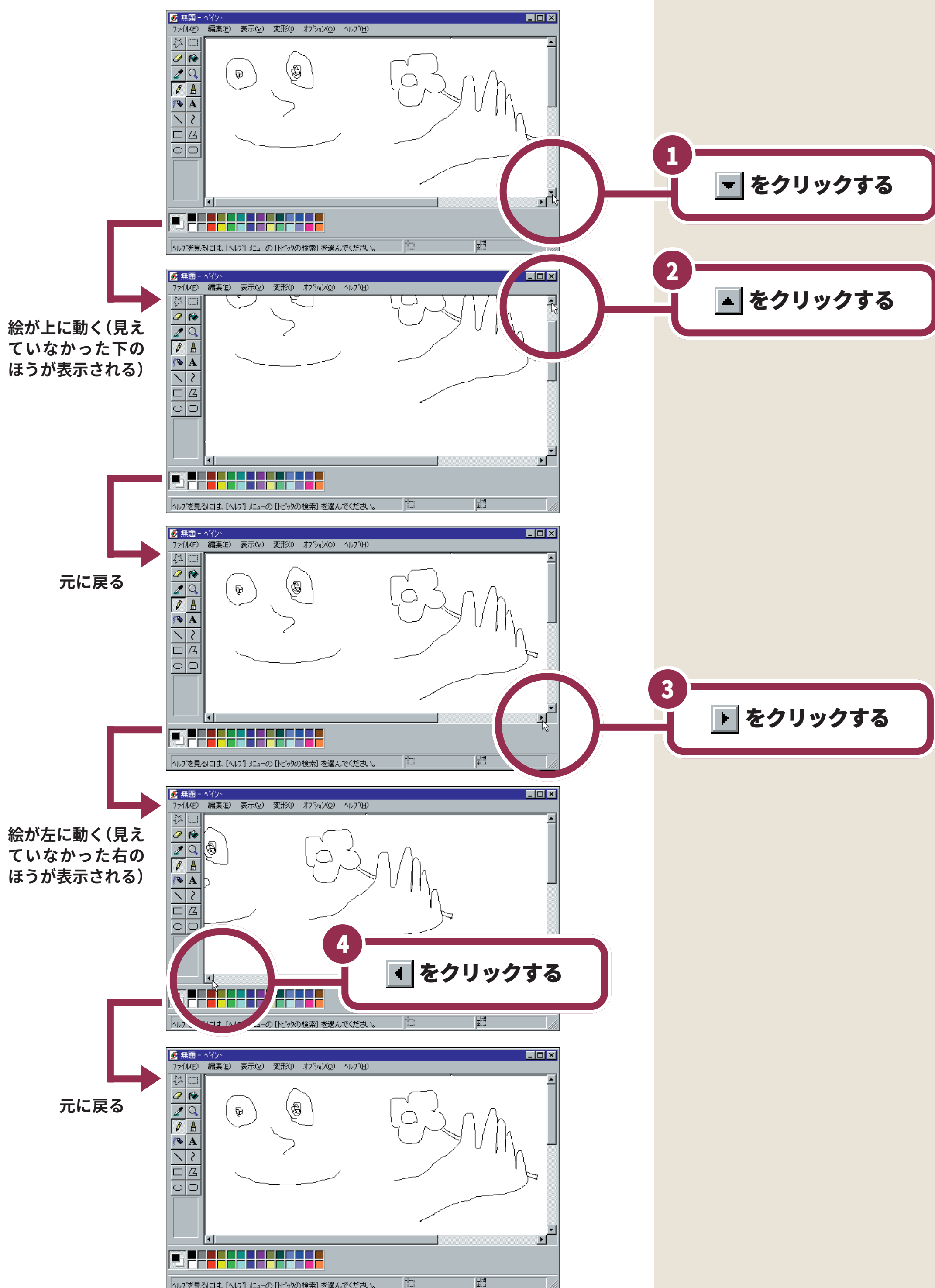



**スクロール**

ウィンドウに表示されていない部分を表示させるために、ウィンドウの中身を上下左右に動かすこと。

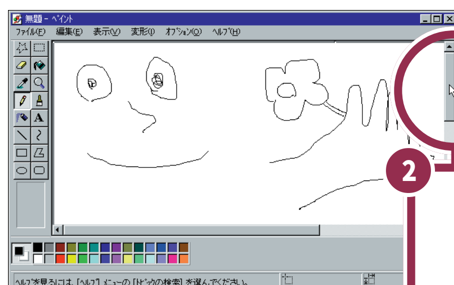
## ●ボタンを使ったスクロール

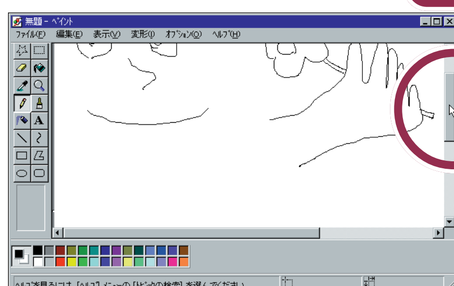
ウィンドウに付いているボタンを使って、見える部分（ウィンドウの中に表示される範囲）を動かすことができます。



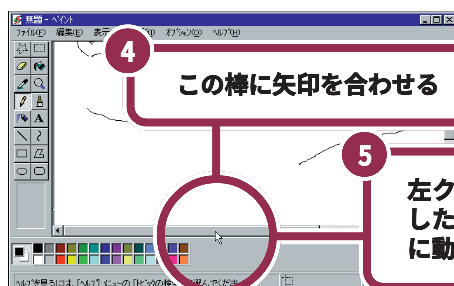
### ●棒を使ったスクロール

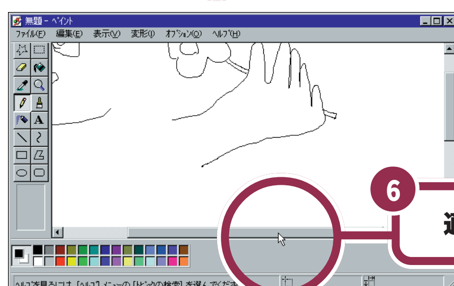
先ほど使ったボタンの間にある棒を使って、見える部分（ウィンドウの中に表示される範囲）を動かす操作です。




ドラッグ中は、ドラッグに合わせて、ウィンドウがスクロールされます。





ポイント

ウィンドウより、紙（絵を描いたり、文字を書く用紙）の方が大きい場合、ウィンドウには紙の一部分だけが表示される。ウィンドウに表示されていない部分を見るときは、スクロールを使う。
スクロールは、のクリックか、棒のドラッグで行う。

のボタンの間や、のボタンの間の棒の部分のことを「スクロールバー」と呼びます。

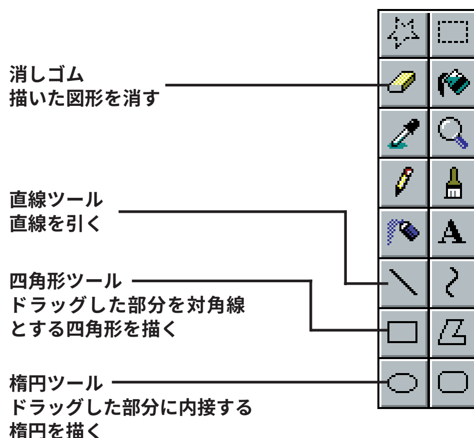
## 直線を引いたり、色を付けたりするには

ペイントでは、鉛筆ツールで線を引くだけでなく、直線を引いたり、色を付けたりすることもできます。



### ツールを使い分ける

鉛筆ツールの隣に並んでいるボタンをクリックすると、いろいろな線や図形を描くことができます。使いたいツールのボタンをクリックしてから、ウィンドウ内をドラッグして利用します。ここでは、その一部を紹介します。






### 線の色を変える

色をクリックして選ぶと、線の色を変えることができます。

**1** 画面左下から使いたい色をクリックする



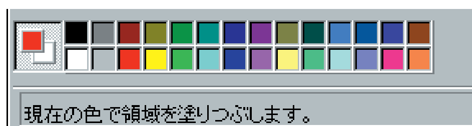

**2** 鉛筆ツール、直線ツール、四角形ツール、楕円ツールなどをクリックしてから、ウィンドウ内をドラッグする



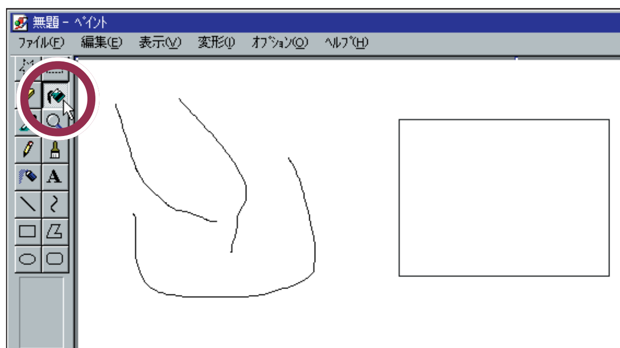
### 色を塗りつぶす

四角形や円などの内側は、好きな色で塗りつぶすことができます。

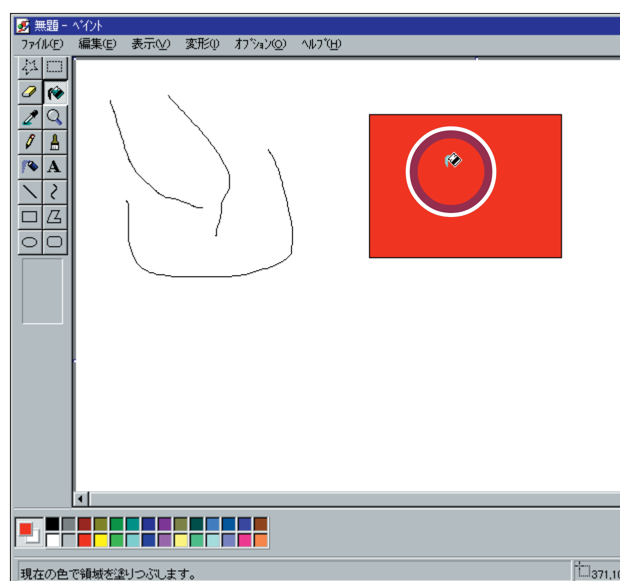
**1** 画面左下から使いたい色をクリックする



## 2 塗りつぶしツールをクリックする




## 3 塗りつぶしたい図形の内側をクリックする

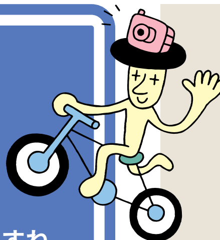



**チェック!!**

塗りつぶしツールは切れ目なく線で囲まれた図形の内側で利用します。切れ目があるときは、図形の外側までも塗りつぶされてしまいます。

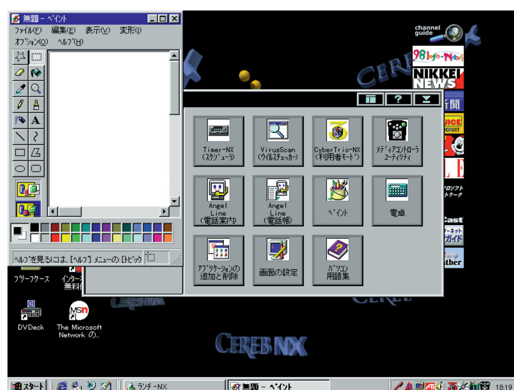
# 複数のウィンドウを扱う

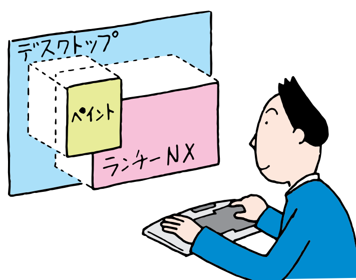
パソコンの画面の大きさは、机の上よりは狭いですね。ここで複数のウィンドウを扱うときは、重ねたり、動かしたり、大きさを変える操作が必要になります。



## ウィンドウの重なり方

今、表示されている画面は、「デスクトップ」を背景にして、「ランチ-NX」のウィンドウが表示され、そのさらに手前に「ペイント」のウィンドウが表示されています。



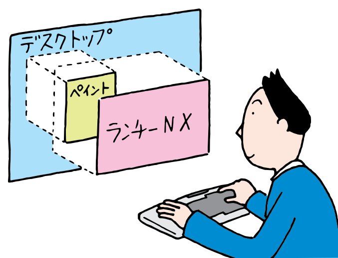


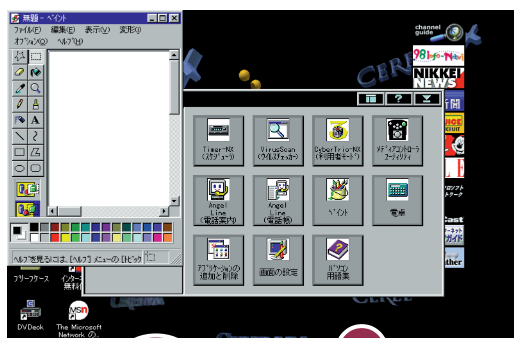

実際にはこんなふうにウィンドウを見ることはできません。あくまでも「横から見るとこんな感じ」という概念図です。

「デスクトップ」は、OSのいろいろな操作をするための画面ですが、ここでその機能を覚える必要はありません。常に一番奥に画面いっぱいの大きさで表示されている「背景」のようなものとして考えてください。

## ウィンドウの重なり方を変える

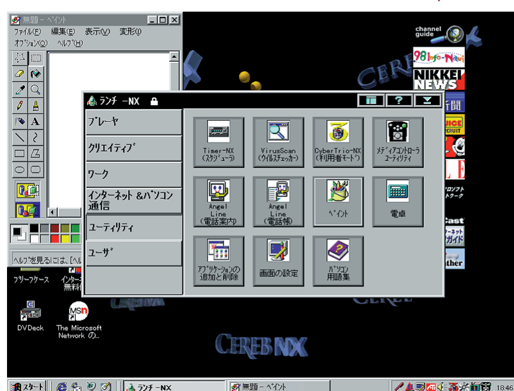
「ペイント」と「ランチ-NX」のウィンドウの重なり方を、次のように変えてみましょう。



**1** タスクバーの「ランチ-NX」をクリックする

「ランチ-NX」のウィンドウが一番手前に出る



**用語**

**タスクバー**

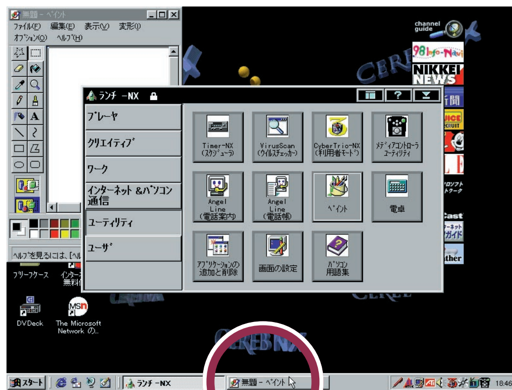
画面の一番下に表示されている横長の棒の部分のこと。
現在表示されているウィンドウ（隠れているウィンドウや一時的に消されているウィンドウも含む）の名前が表示される。目的のウィンドウの名前をクリックすると、そのウィンドウが一番前（手前側）に表示される。



ポイント

ウィンドウには、前後関係（重なり方）がある。
一番奥には、デスクトップという画面が表示される。
あるウィンドウを一番手前に持ってきたいときは、タスクバーに表示されているそのウィンドウ名の部分をクリックする。

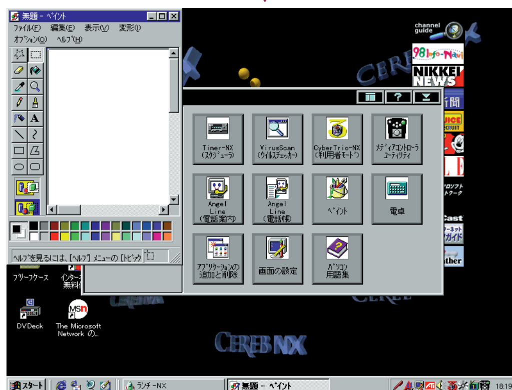
それでは、もう一度「ペイント」のウィンドウを一番前に出してみましょう。



1

**タスクバーの「無題 - ペイント」をクリックする**

「ペイント」のウィンドウが一番手前に出る



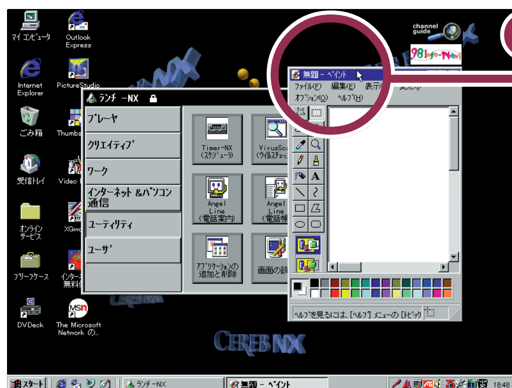
## ウィンドウを動かす

次に、ドラッグの操作で「ペイント」のウィンドウの場所を動かしてみましょう。



1 タイトルバーにポインタを合わせる

2 左クリックボタンを押し、押したままトラックボールを右に動かし、



「ペイント」のウィンドウが移動する

3 目的の場所でボタンを離す



### タイトルバー

ウィンドウの一番上に表示されている横長の棒の部分のこと。そのウィンドウの名前が表示されます。

ドラッグ中は、ドラッグに合わせて、ウィンドウが移動します。



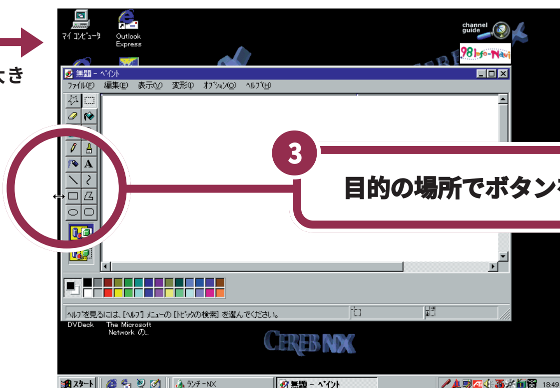
ポイント

ウィンドウを動かしたいときは、タイトルバーをドラッグする。

## ウィンドウの大きさを変える

続いて、ドラッグの操作で「ペイント」のウィンドウの大きさを変更してみましょう。




ウィンドウの大きさが変わる



ポイント

ウィンドウの大きさを変えたいときは、ウィンドウの上下左右の枠、または四隅をドラッグする。このとき、ポインタは、⟷ ↕ ⤡ ⤢ の形に変わる。

ドラッグ中は、ドラッグに合わせて、ウィンドウの大きさが変わります。

トラックボールの操作に失敗して、ランチ-NXのウィンドウが前に出てしまった場合は‥‥そう、タスクバーの「無題 - ペイント」をクリックすれば戻ります。

ここでは、ウィンドウの枠の左端の部分を使って、ウィンドウの大きさを変えてみました。
同じようにウィンドウの枠の上端、下端、右端を使ってもウィンドウの大きさを変えることができます。また、四隅の部分を使って、ウィンドウの大きさを縦横同時に変えることもできます。

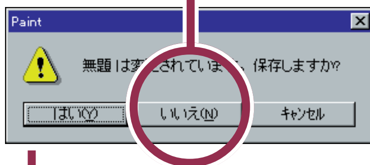
# ペイントを終わる

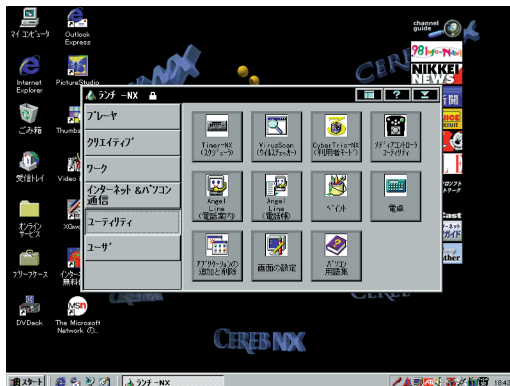
お疲れさまでした。最後にペイントを正しい手順で終了しましょう。

**1** ＿□✕ の右端の ✕ をクリックする




**2** 「いいえ」をクリックする




「ペイント」が終了する

ここでは、描いた絵を保存しないで終わりますので、「いいえ」をクリックします。

このPARTのまとめ

ここでは、ランチ-NXやウィンドウの基本操作を練習しました。

## ランチ-NX

ランチ-NXは、パソコンに入っているいろいろなソフトを起動するためのアプリケーションです。
まず、グループボタンをクリックして、目的のソフトの入っているグループを選びます。続いて、目的のソフトのボタンをクリックすると、そのソフトが起動します。

## ウィンドウの重なり方

画面に複数のウィンドウが表示されたとき、それらのウィンドウには前後関係が生まれます。手前にあるウィンドウは、後ろのウィンドウを隠します。また、一番奥には、常にデスクトップの画面が表示されます。
画面の一番下に表示されているタスクバーを使って、後ろにあるウィンドウを前に出すことができます。

## ウィンドウの位置や大きさを変える

ウィンドウの最上部にある青色のタイトルバーをドラッグすることで、ウィンドウの位置を移動することができます。
ウィンドウの枠、あるいは四隅をドラッグすることで、ウィンドウの大きさを変えることができます。

## 最大化、最小化

ウィンドウを画面いっぱいに広げるときは、□をクリックします。画面いっぱいに広げたウィンドウを元の大きさに戻すときは、🗗をクリックします。
ウィンドウがじゃまになったときは、_をクリックして、ウィンドウを一時的に最小化して隠すことができます。隠したウィンドウをもう一度表示させるときは、タスクバーに表示されている目的のウィンドウ名をクリックします。

## スクロール

ウィンドウより、紙（絵を描いたり、文字を書く用紙）の方が大きい場合、ウィンドウには紙の一部分だけが表示されます。ウィンドウに表示されていない部分を見る操作のことをスクロールと呼びます。
スクロールには、▼▲▶◀をクリックする方法と、スクロールバーをドラッグする方法とがあります。

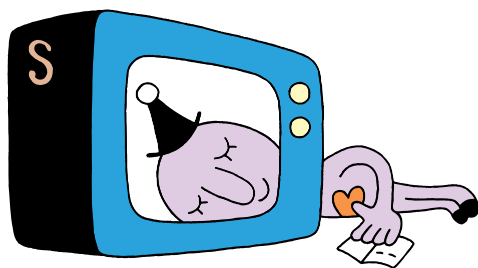
PART

# 6

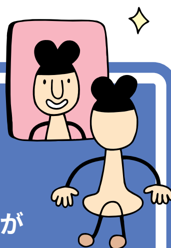
# ちょっとだけ勉強

「もっとパソコンを触りたい！」その気持ちは分かります。でも、少しだけがまんしてください。ここでは、これからパソコンとうまくつきあっていくために、どうしても覚えて欲しいいくつかのことを説明します。

パソコンの電源は入っていなくてもかまいません。パソコンの前から離れて、ゆったりソファーにでも腰掛けてお読みください。



# ハードとソフト？

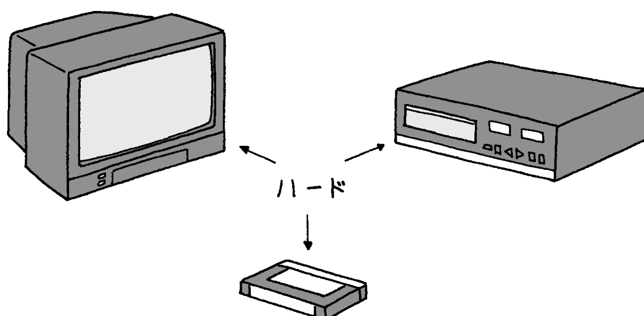


「ハードとソフト」パソコンを知っている人がよく口にする言葉です。はたしてこの意味はどういうことなのでしょう？

ハードはハードウェア（Hardware）の略、ソフトはソフトウェア（Software）の略です。

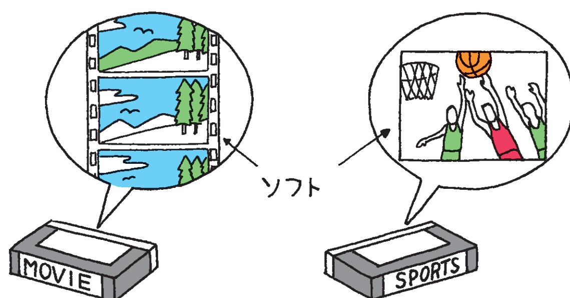
## ハードって何？

「ハード」とは「形のあるもの」のことです。実際に手で触れたり、持ち運んだりすることができます。
ご家庭のテレビを思い浮かべてください。テレビ本体やビデオデッキ、ビデオテープなどは、みな「ハード」です。




## ソフトって何？

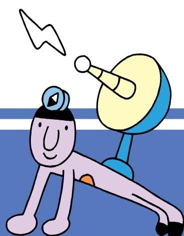
「ソフト」とは「形のないもの」のことです。ソフトそのものに手で触れたりすることはできません。
テレビの場合、ニュースやスポーツ、ドラマ、映画、CMといった「番組」がソフトにあたります。




ビデオテープはハード？ソフト？
答：ハードです。ビデオテープそのものは、手で触れることができるのでハードです。しかし、そのビデオテープに録画された番組はソフトです。映画などのビデオテープが「ソフト売場」に置かれている理由は、「テープそのものではなく、中身（映画）を売っている」と考えれば、おわかりいただけると思います。


ポイント

ハードは、手で触れられるもの。ソフトは手で触れられないもの。

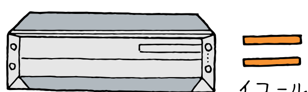


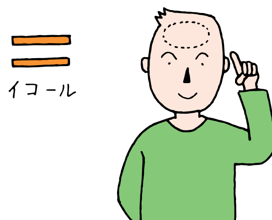
# ハードの話

さて、パソコンの世界の「ハード」には、どんなものがあるのでしょう。簡単に紹介しましょう。

## 本体

本体は、見かけに派手さはありませんが、パソコンの中心となる機械です。パソコン全体の頭脳にあたる役割を担っています。本体以外の機械（ワイヤレスキーボードやメディアコントローラ、ディスプレイ、プリンタなど）は、本体から出される命令に忠実に従っているだけで、実はほとんど何も考えていないのです。

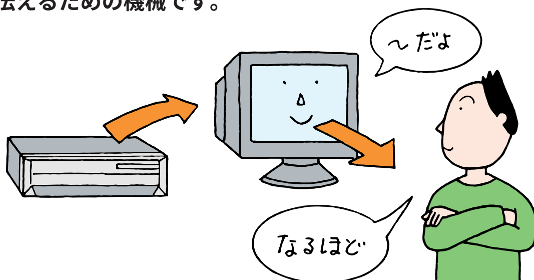





本体の中には、「フロッピーディスクドライブ」や「ハードディスク」「DVD-ROMドライブ」などと呼ばれる機械も組み込まれています。これらについては、少し後ろで説明します。

## ディスプレイ

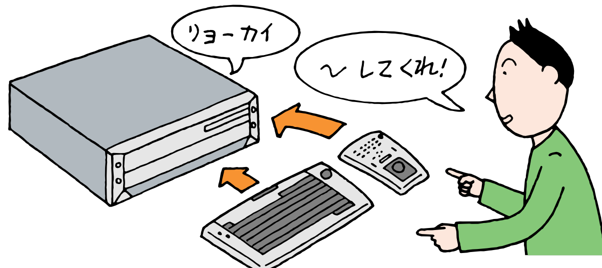
ディスプレイは、本体自身の考えていることや、してもらいたいことを、あなたに伝えるための機械です。




別売のディスプレイは、CRTディスプレイと呼ばれるものです。「CRT」は、Cathode-Ray Tubeすなわち「ブラウン管」のことです。要するに「CRTディスプレイ」は、「ブラウン管を使った表示装置」という意味です。

## ワイヤレスキーボード、メディアコントローラ

ワイヤレスキーボードやメディアコントローラは、あなたのしたいことや書きたいことを本体に伝えるための機械です。



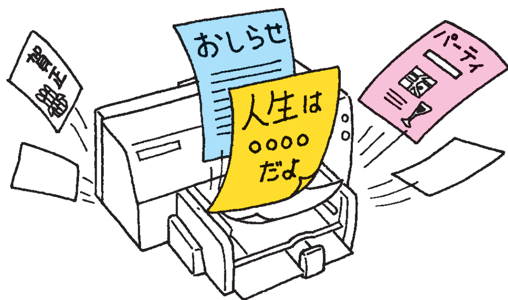




ワイヤレスキーボードやメディアコントローラはコーヒーが嫌いです。いつも一番手近にあるため飲み物をこぼしてしまう事故があとを絶ちません。気をつけてください。

## プリンタ

プリンタ(別売)は、いろいろな情報を紙に印刷する機械です。印刷できる色の数や、最大の紙の大きさ、印刷する方式などによって、いろいろなものがあります。



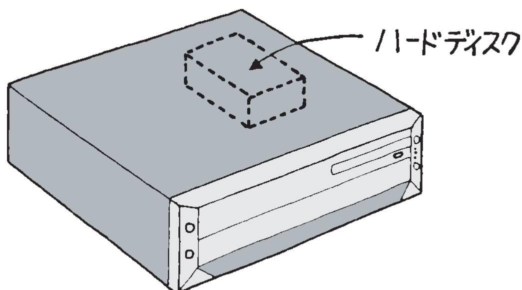

「印刷する」「プリントする」「プリントアウトする」「印字する」。これらは、みな同じ意味を持つ用語です。

## 情報を記憶するための装置

先ほど「本体はパソコンの頭脳である」と言いました。しかし、正確には少し違います。本体は「考えること」は得意なのですが、「覚えること」はちょっと苦手。電源を切るとそれまで覚えていたことをすべて忘れてしまいます。
こんな本体の特徴を助ける「記憶するための装置」を紹介しましょう。

### ●ハードディスク

本体の中に組み込まれている装置です。次に説明するフロッピーディスクの何百、何千枚分もの情報を覚えてくれる機械です。電源を切っても覚えた情報を失うことはありません。




チェック!!

パソコンの電源を切る操作は、必ず正しい手順で行ってください。いきなりコンセントを抜いたりすると、ハードディスクの内容が壊れてしまうことがあります。

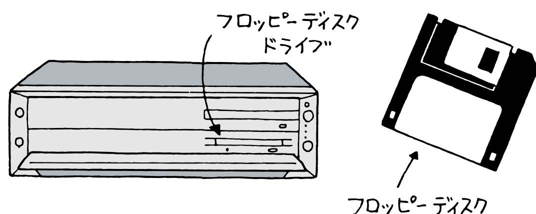
チェック!!

ハードディスクは振動に弱い機械です。特に電源が入っているときに本体を動かしたりしないように注意してください。

### ●フロッピーディスク

持ち運びのできる記憶媒体です。フロッピーディスクを使えば、あなたの作ったワープロの文書を友達に渡したり、友達の作ったペイントの絵をあなたのパソコンで見たりすることができます。本体の前面には、このフロッピーディスクを差し込む機械「フロッピーディスクドライブ」が付いています。

「ペイント」は、絵を描くためのアプリケーションです。アプリケーションについては、少し後ろで説明します。

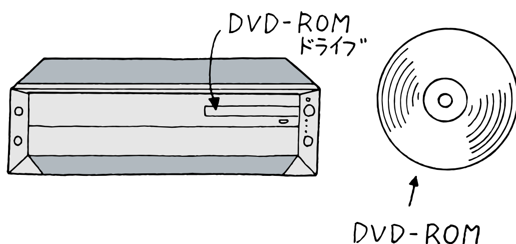



### ●DVD-ROM（ディーブイディーロム）

読み込み専用の記憶媒体です。DVD-ROMに覚えさせてある情報（たとえばワープロの文書）を読み込む（＝呼び出す）ことはできますが、あなたの作ったワープロの文書を覚えさせることはできません。本体の前面には、このDVD-ROMをセットする機械「DVD-ROMドライブ」が付いています。

DVD-ROMの「ROM」は、Read Only Memory（リードオンリーメモリー）の頭文字をとったもの。「読み込みだけができる装置」ということです。

CD-ROMもDVD-ROMもデータの読み出し専用という点では同じですが、DVD-ROMの方がより多くのデータを記録できます。



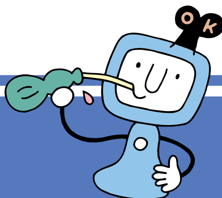

### ●CD-ROM（シーディーロム）

読み込み専用の記憶媒体です。CD-ROMに覚えさせてある情報（たとえばワープロの文書）を読み込む（＝呼び出す）ことはできますが、あなたの作ったワープロの文書を覚えさせることはできません。DVD-ROMドライブは、CD-ROMも読み込むことができます。




本体はパソコンの頭脳。
ディスプレイは、パソコンがあなたへ情報伝達するための機械。
ワイヤレスキーボード、メディアコントローラは、あなたがパソコンへ情報伝達するための機械。
プリンタは、紙に印刷する機械。
記憶装置は、覚えることの苦手な本体を助ける機械。ハードディスク、フロッピーディスク、DVD-ROMやCD-ROMなどがある。

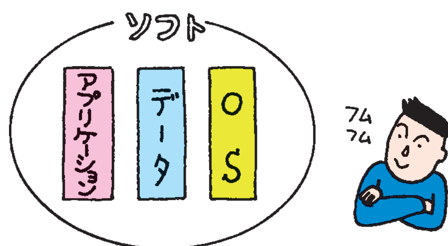
# ソフトの話



続いて、パソコンの世界の「ソフト」について説明しましょう。

## ソフトの種類

ここから、パソコンの世界の独特な概念の説明に入ります。多少難しい部分があるかもしれませんが、大切な知識ですので、じっくり読み進めてください。
まず最初に「パソコンのソフトには、アプリケーション、データ、OS（オーエス）の 3 種類がある」ということを頭に入れておいてください。




## ソフトな道具箱＝アプリケーション

アプリケーションは、作品を創るための道具箱です。
たとえば、現実の世界であなたが水彩画を描くとしましょう。用意するものは、スケッチブックや絵具、筆、筆を洗う容器、水などですね。これらをひとつの箱にまとめておけば、いつでも写生に出かけられるので便利です。この便利な箱がパソコンの世界で「アプリケーション」と呼ばれるものです。「ある目的を達成するために必要な道具を集めてある道具箱」とも言えます。
道具箱はその目的に応じて使い分けます。たとえば、手紙を書きたいときは「一太郎」や「Word（ワード）」というワープロと呼ばれるアプリケーションを使います。ワープロの道具箱の中には、紙、鉛筆、定規‥などが入っています。絵を書きたいときは「ペイント」というアプリケーションを使います。ペイントの道具箱の中には、紙、鉛筆、筆、絵具、消しゴム、定規‥などが入っています。




アプリケーションのことを「応用ソフト」と呼ぶこともあります。

もちろん、ここでいう「紙」や「鉛筆」などは、あくまでもソフトの中だけで存在するもので、形あるものではありません。

ゲームもアプリケーション？そうです。ゲームの場合、何か作品を創るということはしませんが、あなたに達成感や爽快感を与えるための道具箱だと考えれば、納得していただけるでしょう。

## ソフトな作品＝データ

データは、アプリケーションで創ったあなた（あるいは他の人）の作品です。
たとえば、現実の世界であなたが描いた水彩画や、巨匠が描いた油絵。これがデータにあたります。
「ワープロ」アプリケーションで書いた企画書や手紙。「ペイント」アプリケーションで描いた風景画、猫の絵‥これらがパソコンのデータです。

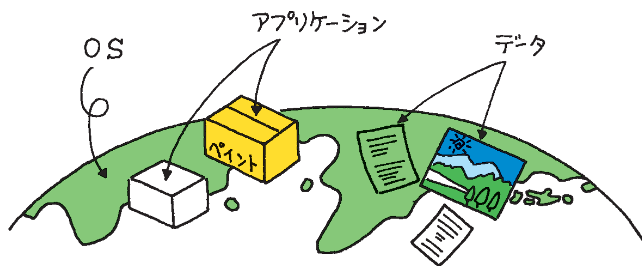



## ソフトな地球＝OS

パソコンは、アプリケーションとデータだけでは動きません。アプリケーションやデータの土台となるためのソフト「OS」が必要です。
現実の世界の例でいえば、地球がなければ、あなたも紙も筆も存在しません。この「地球」ほど大切な基盤がパソコンのOSなのです。
このパソコンには、「Windows 95（ウィンドウズきゅうじゅうご）」というOSが入っています。パソコンの電源を入れると最初に始まる（起動する）のが、このWindows 95です。
ただ、もう少しパソコンに慣れるまで、しばらくはOSを意識する必要はないでしょう。

OSのことを「基本ソフト」と呼ぶこともあります。

「OS」は、Operating System（オペレーティングシステム）の頭文字をとったものです。



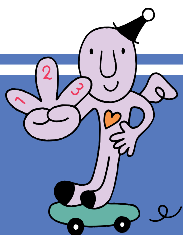




ソフトには、アプリケーション、データ、OSの3種類がある。
アプリケーションは、ある目的を達成するために必要な道具を集めてある道具箱。
データは、アプリケーションで作った作品。
OSは、アプリケーションとデータの土台。

本来「ソフト」とはアプリケーション、データ、OSのすべてを含む用語です。しかし、時にはアプリケーションを指すときに「ソフト」という用語が使われている場合があります。

# パソコン利用の3箇条




ここで、パソコンの世界に足を踏み入れるときの心得を3つ紹介しておきましょう。

## パソコンは怖くない

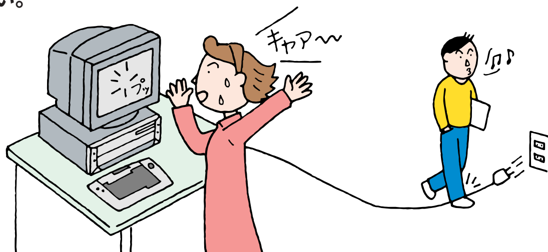
パソコンを怖がっていては何もできません。最初は難しい用語や考え方もあるかもしれませんが、分かってしまえば簡単です。はじめは失敗しても当たり前。失敗してもパソコンが壊れてしまうようなことは、まずありません。失敗を恐れずにどんどんチャレンジしていきましょう。

ただし、次の3つのことだけは絶対に守ってください。守らないとパソコンが壊れてしまうことがあります。

### ●電源が入っているときに電源プラグを抜かない

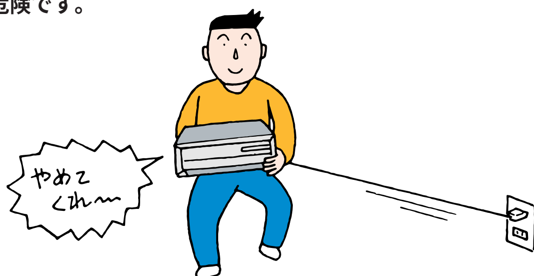
パソコンの電源が入っているときに、コンセントの電源プラグを抜いたり、本体背面の電源ケーブルを抜いたりしないようにしてください。特に、他の人が足で引っかけてしまう場所に電源ケーブルがないかどうか確認してください。

他にも「停電」や「ブレーカーが落ちる」といった状況にも気をつけてください。



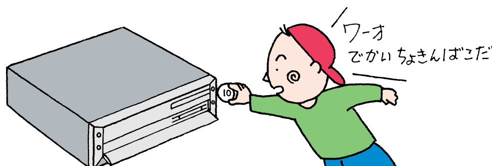

### ●電源が入っているときに本体を移動しない

本体の中に入っているハードディスクは、構造上、振動に弱いものです。パソコンの電源が入っているときに本体を動かすと、このハードディスクが壊れてしまうことがあります。特に何かに「コツン」とぶつけたりするのが一番危険です。



### ●お子様に注意

お父さんやお母さんが、本体にフロッピーディスクを入れているところを見て、小さい子がまねをします。おもちゃや硬貨を入れられないように注意してください。また、ボタンひとつでディスクトレイが出たり、入ったりするのも、子供にとっては楽しいおもちゃです。パソコンどころか、お子さんがケガをしてしまっては大変です。十分注意してあげてください。




## 何があってもあわてない

パソコンを使っているとき、どんなことが起こってもあわてないでください。失敗が失敗を呼び、大失敗につながります。次の手順で落ち着いて対処してください。

1. 現状　何がどうなったかを自分なりに判断する。
2. 原因　直前に何をしたか、思い出す。
3. 対処　アプリケーションを使っている場合には、「元に戻す」「取り消し」などの機能がないかどうか調べて、あったらその機能を使う。

参照
さまざまな困った状況での対処の方法については→『困ったときのQ＆A』

## あなたのデータはあなたが守る

### ●コンピュータウイルスにご注意！

コンピュータウイルスには、あなたの大切なデータを壊してしまうものもあります。とにかく、パソコンに慣れるまでは、出所のわからないフロッピーディスクを使わないようにしましょう。

参照
コンピュータウイルスのチェックをしたいときは→『リファレンス』PART3の「ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉」

### ●バックアップを忘れずに！

パソコンのハードディスクの中に入っているソフトの中で一番大切なのは、あなたの作ったデータです。何らかの原因でハードディスクが壊れてしまったと仮定しましょう。ハードディスクを新しいものに交換すれば、ハードとしては、元通りに戻ります。このハードディスクにＯＳ（Windows 95）やアプリケーションを組み込む作業は、手間と時間はかかりますが、難しいことではありません。しかし、失われたあなたの大切な文書や住所録、描いた絵などのデータは、二度と戻りません。
こんな万が一の状況に備えて、データの予備を作っておくことが大切です。予備を作る作業のことを「バックアップ」と呼びます。

参照
データの予備を作りたいときは→『STEP 3 活用』PART 10の「フロッピーディスクにファイルをコピーする」

用語
**バックアップ**
万が一の故障や失敗に備えて、データの予備を作っておくこと。


ポイント

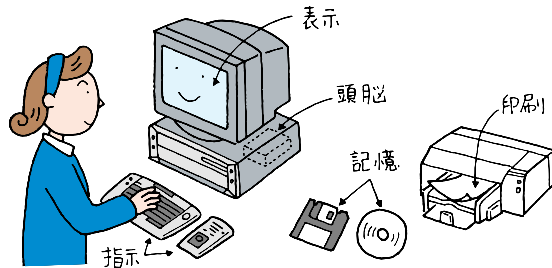
パソコンを使う時の３つの心得
1. 失敗を恐れずチャレンジ精神を持つこと
2. 何があってもあわてないこと
3. あなたのデータを大切に守ること

# このPARTのまとめ

ここでは、パソコンの基本的な用語や考え方を勉強しました。

## ハード

手で触れることのできるものです。
パソコンのハードには、本体、ディスプレイ、ワイヤレスキーボード、メディアコントローラ、プリンタ、ハードディスク、フロッピーディスク、DVD-ROM や CD-ROM などがあります。




## ソフト

手で触れることのできないものです。パソコンのソフトには、アプリケーション、データ、OS の 3 種類があります。

## パソコンを使うときの心得

1. 失敗を恐れずチャレンジ精神を持つこと
2. 何があってもあわてないこと
3. あなたのデータを大切に守ること



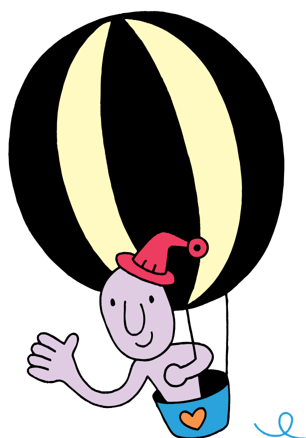

何か困ったことが起こったら→『困ったときのQ＆A』

PART

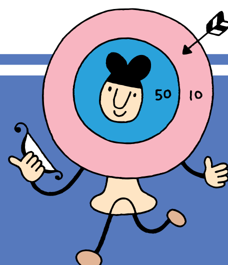
7

# さらに広がるパソコンワールド

ここでは「もっと、もっとパソコンを活用したい」という方のために、このパソコンに入っている他のソフト（アプリケーションやデータ）を紹介します。また、市販のソフトの買い方や、さらに可能性を広げるパソコン機器についても説明します。



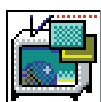
# 他のソフトを活用する




このパソコンには、まだまだいろいろなソフトが入っています。ここではあなたのパソコンに入っているランチ-NX を使って、おもなソフトを紹介しましょう。

## グループ「プレーヤ」

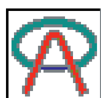
グループ「プレーヤ」には、画像や音楽を楽しむためのアプリケーションが集められています。



テレビ＆bitcast browser：テレビを見たり、テレビの画像をパソコンに取り込んだり、テレビの隙間（VBI）を利用するデータ放送のビットキャスト放送を見ることができるアプリケーションです。



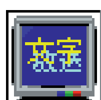

使い方→『STEP3 活用』PART1 の「テレビ／地上波データ放送を見よう」
使い方→「スタート」-「プログラム」-「地上波データ放送」-「bitcast browser」-「ビットキャストブラウザ オンラインマニュアル」
→『インターネット入門』PART7 の「地上波データ放送を見る」



ADAMS：テレビ放送電波の隙間（VBI）を利用するデータ放送である ADAMS 放送を見ることができるアプリケーションです。



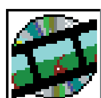

使い方→『STEP3 活用』PART1 の「ADAMS 放送を見る」



モジモジ-NX：テレビ放送電波の隙間（VBI）を利用する、文字と静止画のデータ放送である文字放送を見ることができるアプリケーションです。



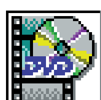

使い方→『STEP3 活用』PART1 の「文字放送を見る」



プレーヤ-NX（CD プレーヤ）：音楽 CD やビデオ CD、フォト CD を再生するためのアプリケーションです。



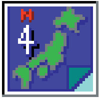

使い方→『リファレンス』PART1 の「音楽 CD/ビデオ CD/ フォト CD の再生〈プレーヤ -NX〉」



DVD プレーヤ：DVD に入っている映像を再生するためのアプリケーションです。



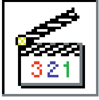

使い方→『リファレンス』PART1 の「DVD VIDEO ディスクの再生〈DVD プレーヤ〉」



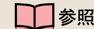
MapPlayer-NX（カーナビ CD）：カーナビゲーション用のCD-ROMの内容を見るためのアプリケーションです。



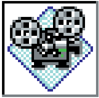
参照
使い方→『リファレンス』PART1 の「カーナビ CD の再生〈MapPlayer-NX〉」



メディアプレーヤ：動画データや、音声データ、音楽データなどを再生するためのアプリケーションです。



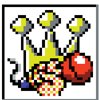
参照
使い方→「メディアプレーヤ」のヘルプ



Classic100選：MIDIデータで作られたクラシック100曲を静止画像と一緒に楽しむことができるアプリケーションです。ジャンル別、作曲家別などで曲を選択できます。



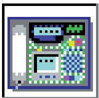
参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「Classic100選」-「Classic100選」



カラオケキング：インターネットを使って、音楽データを受信し、演奏する通信カラオケのアプリケーションです。



参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「カラオケキング」-「ヘルプ」



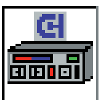
TELFAX-NX（FAX&電話）：FAXの送受信や留守番電話の機能を使うためのアプリケーションです。



参照
使い方→『リファレンス』PART 1 の「電話や FAX を使う〈TELFAX-NX〉」

## グループ「クリエイティブ」

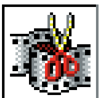
グループ「クリエイティブ」には、画像を編集したり、動画を取り込んだり、音楽を楽しむためのアプリケーションが集められています。



DVDeck：デジタルビデオの画像を取り込むことができるアプリケーションです。



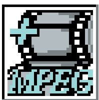
参照
使い方→『STEP3 活用』PART4の「オリジナルビデオを作ろう」



VideoEditor(動画編集)：ビデオを自由に編集して、オリジナルビデオを作ることができるアプリケーションです。



参照
使い方→『STEP3 活用』PART4の「オリジナルビデオを作ろう」



MPEGSTUDIO ストリーム合成：複数の MPEG ファイルを 1 つのファイルに合成するアプリケーションです。個々のデータを 1つにつなげて、長時間の MPEG ファイルを作成できます。



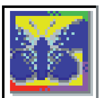
参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「MPEGSTUDIO」-「MPEGSTUDIO ストリーム合成」



MPEGSTUDIO ファイル圧縮：デジタル形式のビデオデータやオーディオデータをMPEG形式のファイルに圧縮するアプリケーションです。



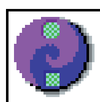
参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「MPEGSTUDIO」-「MPEGSTUDIO ファイル圧縮」



PictureStudio（静止画編集）：ホームページ用の画像を作成するアプリケーションです。



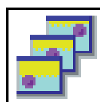
参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「Picture Studio」-「オンラインマニュアル」→『STEP3 活用』PART6 の「デジタルカメラのデータを使おう」



MorphStudio：モーフィングの効果を利用して動画を作成するアプリケーションです。



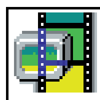
使い方→「スタート」-「プログラム」-「PictureStudio」-「オンラインマニュアル」



AnimationStudio：ホームページ用のアニメーションを作成するアプリケーションです。



使い方→「スタート」-「プログラム」-「PictureStudio」-「オンラインマニュアル」



VideoStudio：動画や静止画を取り込むことができるアプリケーションです。



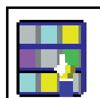
使い方→「スタート」-「プログラム」-「VideoStudio」



XGworks：手軽に作曲や編曲ができるアプリケーションです。



使い方→「スタート」-「プログラム」-「YAMAHA XGworks Ver.2.0」-「XGworks取扱い説明書」→『STEP3 活用』PART5の「作曲してみよう」



ThumbsStudio：複数枚の静止画像を一覧表示できるアプリケーションです。

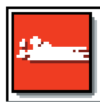


使い方→「スタート」-「プログラム」-「PictureStudio」

## グループ「ワーク」

ランチ-NXのグループ「ワーク」には、一般的によく使うアプリケーションが集められています。

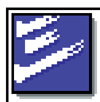
### ●一太郎モデルのみに入っているもの



一太郎8：文字はもちろん、表や図形などを文書の中に描いたり、画像を貼り付けたりすることのできる日本生まれのワープロです。



使い方→「PART 3 ワイヤレスキーボードに慣れよう（一太郎編）」(p.21)
→「Office8 ＋ Value Pack」パッケージに含まれているマニュアル
→『リファレンス』PART 1の「セットアップされていないアプリケーションの使用」

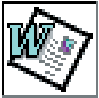


三四郎8：縦横に並んだ数字を計算したり、集計したりする「表計算」と呼ばれるアプリケーションです。グラフも簡単に作ることができます。

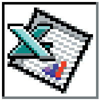



Full Band：画面に表示されるシステム手帳を使って、スケジュールやアドレス、メモなどの情報を管理することができます。

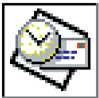
### ●Wordモデルのみに入っているもの



Microsoft Word：高度な日本語処理技術と文章表現力を持ち、世界中で使われているワープロです。



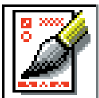
Microsoft Excel：数式の入力やグラフの作成などが簡単にできる「表計算」アプリケーションです。作成した表はWordの文章の中に入れることができます。



Microsoft Outlook：電子メールをはじめ、スケジュールやアドレスなどの情報をまとめて管理することができます。

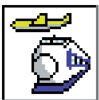
参照
使い方→「PART 4 ワイヤレスキーボードに慣れよう（Word編）」（p.75）
→「Word & Excel & Outlook」パッケージに含まれているマニュアル
→『リファレンス』PART 1の「セットアップされていないアプリケーションの使用」

### ●いずれのモデルにも入っているもの



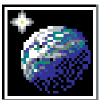
筆ぐるめ：毛筆の書体で年賀状などを作成するアプリケーションです。送付先の住所を管理することもできます。

参照
使い方→『リファレンス』PART 1の「はがきの印刷〈筆ぐるめ〉」



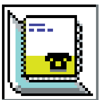
駅すぱあと：指定した駅間を移動するための乗り換え方や所要時間、運賃などを調べてくれるアプリケーションです。路線図も見ることができます。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「駅すぱあと全国版」-「駅すぱあとオンラインマニュアル」



翻訳アダプタII CROSSROAD：英日、日英翻訳をするアプリケーションです。インターネットの英語ホームページを見るときにも利用できます。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 8の「英語のホームページを見る」

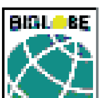


TELFAX-NX（アドレス帳）：知人、友人の住所や電話番号、FAX番号を管理するためのアプリケーションです。はがきの宛名の印刷もできます。

参照
使い方→『リファレンス』PART 1の電話やFAXを使う〈TELFAX-NX〉」、「アドレス帳の使い方」

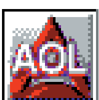
## グループ「インターネット & パソコン通信」

グループ「インターネット & パソコン通信」には、インターネットやパソコン通信を楽しむためのアプリケーションが集められています。



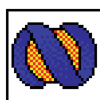

BIGLOBE 入会申込：インターネットの入口となるアプリケーションです。NECパーソナルメディアサービス「BIGLOBE」（ビッグローブ）に入会できます。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 3の「BIGLOBEに入会する」



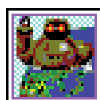

AOLへのご招待：パソコン通信サービス「America OnLine」の紹介と、新規ユーザーとして登録するためのアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART 2の「AOLを利用する」
→『AOLハンドブック』



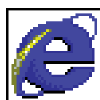
ニフティサーブへようこそ：パソコン通信サービス「ニフティサーブ」の紹介と、新規ユーザとして登録するためのアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART 2の「NIFTY SERVE を利用する」



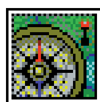
インターネットチュータ：インターネットがどのようなものかをプロバイダに接続しないで体験できるアプリケーションです。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 1の「インターネットチュータで練習してみる」



インターネットエクスプローラ：インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 2の「いよいよインターネット」



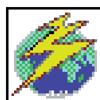
BIGLOBEWalker：NEC パーソナルメディアサービス「BIGLOBE（ビックローブ）」を快適にご利用いただくためのアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「BIGLOBE ツール」-「BIGLOBE Walker」-「クイックマニュアル」



インターネットアクセスマネージャ：インターネットからの情報収集をより便利にするためのアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART 2の「利用料金の管理、オートパイロット〈インターネットアクセスマネージャ〉」



ジェットサーファー：インターネットのリンク先を簡単な操作で集めることのできるアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART 2の「ホームページを探す〈ジェットサーファー〉」



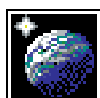
しゃべっていいメール：声でインターネットの電子メールを作成する音声認識アプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART 2の「音声入力でのメールの送信〈しゃべっていいメール〉」



Outlook Express：インターネット上で電子メールの送受信を行うためのアプリケーションです。

参照
使い方→『インターネット入門』「PART 6 電子メールをやりとりする」

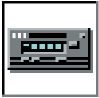


翻訳アダプタII CROSSROAD：英日、日英翻訳をするアプリケーションです。インターネットの英語ホームページを見るときにも利用できます。

参照
使い方→『インターネット入門』PART 8の「英語のホームページを見る」

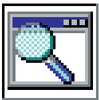
## グループ「ユーティリティ」

グループ「ユーティリティ」には、ちょっとしたときに便利なアプリケーションや、パソコンなどの設定を行うためのアプリケーションが集められています。



Timer-NX(スケジューラ):パソコンの電源のオン／オフや任意のアプリケーションの起動などをタイマーを使って指定するアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART1の「タイマー機能〈Timer-NX〉」



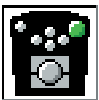
VirusScan(ウイルスチェッカー):コンピュータウイルスの感染を調査し、治療をするアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART3の「ウイルスの検査と駆除〈VirusScan for Windows 95〉」



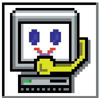
CyberTrio-NX(利用者モード):ハードディスクやソフトを、操作ミスやいたずらなどから守るために、Windows 95の機能を制限するソフトです。

参照
使い方→『リファレンス』PART3の「利用レベルのモード変更〈CyberTrio-NX〉」



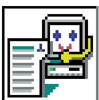
メディアコントローラユーティリティ：メディアコントローラやワイヤレスキーボードを快適に使用するために、それぞれの機能を設定するアプリケーションです。

参照
使い方→「スタート」-「プログラム」-「アクセサリ」-「メディアコントローラユーティリティ」



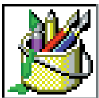
Angel Line(電話案内):パソコンで電話番号を調べるサービスを利用するためのアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART1の「電話番号の検索〈Angel Line for Windows〉」



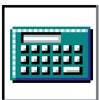
Angel Line(電話帳):Angel Line(電話案内)で検索、保存したデータを見るためのアプリケーションです。

参照
使い方→『リファレンス』PART1の「「Angel Line アドレス帳」の利用」



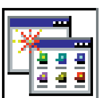
ペイント：絵を描くためのアプリケーションです。

参照
使い方→「ペイント」のヘルプ



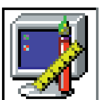
電卓：関数電卓としても使える電卓アプリケーションです。

参照
使い方→「電卓」のヘルプ



アプリケーションの追加と削除:アプリケーションをインストールするときや、インストール済みのアプリケーションを削除するときに使います。

参照
使い方→『リファレンス』PART4の「アプリケーションの削除と追加」



画面の設定:画面の色や細かさ、背景などの設定を変更するときに使います。

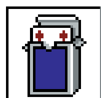
参照
使い方→『リファレンス』PART5の「ディスプレイ」



パソコン用語集：パソコンで使ういろいろな用語を辞書形式で解説しています。

## グループ「ユーザ」

グループ「ユーザ」には、トラックボールの操作の練習用に使うゲーム、「ソリティア」が登録されています。またこのグループには、自由にアプリケーションを登録することができます。



ソリティア：場にでているカードを順番に積み重ねていくゲームです。このゲームを使ってトラックボールの操作の練習をします。
不要になった場合は、ランチから削除することができます。



参照
使い方→「ソリティアのヘルプ」
ランチ-NXからの削除→『リファレンス』PART1の「ランチ-NXの設定」


## インストールが必要なソフト

以下のソフトは、このパソコンに付属しているソフトですが、出荷時にはインストールされていません。これらのソフトを使いたいときは、インストールの作業を行ってください。



参照
インストールについて→PART7の「ソフトを組み込むときのポイント」（p.156）


**NIFTY MANAGER**
パソコン通信NIFTYSERVEにアクセスするためのアプリケーションです。



参照
使い方→『リファレンス』PART2の「パソコン通信」


**AOLの世界へようこそ**
パソコン通信サービス「America OnLine」の紹介と、新規ユーザーとして登録するためのアプリケーションです。



参照
使い方→『リファレンス』PART2の「AOLを利用する」


**テキストリーダ**
日本語を読み上げるアプリケーションです。



参照
使い方→『リファレンス』PART1の「テキストリーダの使用」


**一太郎8 バリューパックプラス（一太郎モデルのみ添付されます）**
一太郎8の機能をさらに広げるソフトが入っています。国語辞典、英和辞典、和英辞典の機能を一太郎に追加します。画像編集ソフトも入っています。



参照
使い方→「一太郎8 バリューパック」添付の「セットアップとオーバービュー」


**Microsoft/Shogakukan「Bookshelf」Basic（Wordモデルのみ添付されます）**
小学館の国語辞典、英和辞典、和英辞典の機能を追加します。



参照
使い方→「Bookshelf」添付のマニュアル


**Microsoft Outlook 98**
電子メールをはじめ、スケジュールやアドレスなどの情報をまとめて管理することができます。



参照
使い方→「Outlook 98」添付の『お使いになる前に』

## 添付 CD-ROM から起動するソフト

以下のソフトは、このパソコンに添付されているCD-ROMを本機のDVD－ROM ドライブにセットしてお楽しみください。

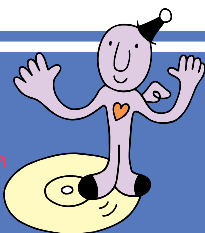
**PhotoMuseum**
MIDIサウンドをバックに、美しい風景写真を鑑賞するアプリケーションです。

**ルーヴル美術館**
精密に再現されたルーヴル美術館を巡り、100点の作品をインタラクティブに鑑賞するアプリケーションです。


参照
使い方→「PhotoMuseum」の CD-ROM のケース添付の説明文


参照
使い方→『リファレンス』PART1の「絵画の鑑賞〈RMNデジタル・アートセレクション ルーヴル美術館 絵画と宮殿〉」

# CD-ROM、DVD-ROMの扱い方



ここではCD-ROMやDVD-ROMの取り扱いに関する注意と、DVD-ROMをDVD-ROMドライブにセットする方法を説明します。

CD-ROMとDVD-ROMの基本的な取り扱い方は同じです。やさしく取り扱ってください。

## CD-ROM、DVD-ROMの取り扱い上の注意



**警告**

**添付のCD-ROMは、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカを破損する恐れがあります。

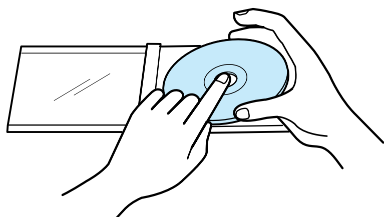


DVD-ROMドライブに、CD-ROMやDVD-ROMを入れたまま、本体の電源を入れたり再起動したりしないでください。CD-ROMやDVD-ROMのアプリケーションが自動起動することがあります。



CD-ROMやDVD-ROMの自動起動について→『リファレンス』PART1の「CDの自動起動〈CDランチ〉」

・ケースから出すときは、ケースの中央部分を押しながら取り出します。



・信号面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。

・表面にラベルなどを貼らないでください。

・キズを付けたり、文字を書いたりしないようにしてください。

・上に重いものをのせたり、曲げたりしないでください。

・落としたりしないようにしてください。

・汚れたときは、柔らかい布で内側から外側に向けて拭いてください。

・清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。

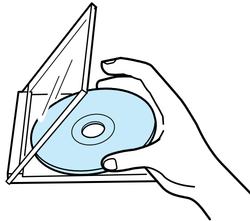
CD-ROMもDVD-ROMもデータの読み出し専用という点では同じですが、DVD-ROMの方がより多くのデータを記録できます。

・ベンジン、シンナーなどで拭かないようにしてください。

・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。

・直射日光のあたる場所や温度の高い場所に保管しないでください。

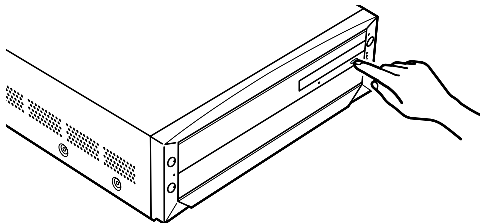
・使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。



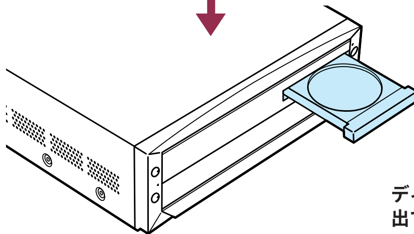
## CD-ROMとDVD-ROMの入れ方と出し方

### ●CD-ROM、DVD-ROMを入れる方法

**1 本体前面右側のイジェクトボタンを軽く押す**

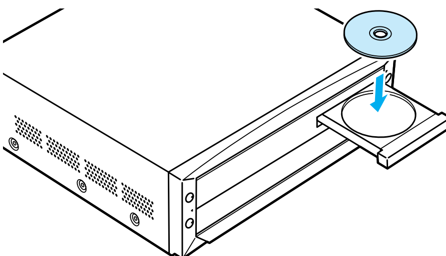






ディスクトレイが出てきます

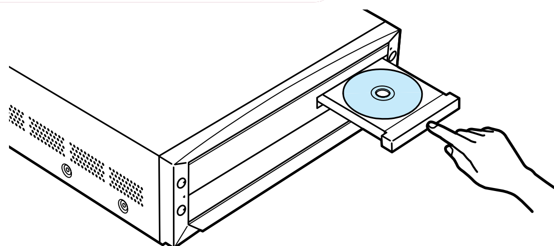
**2 CD-ROM、またはDVD-ROMのラベル面(文字などが印刷されている面)を上にして、ディスクトレイに静かに置く**



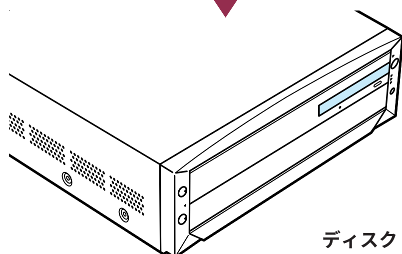
**チェック!!**

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

**3** ディスクトレイを軽く押す





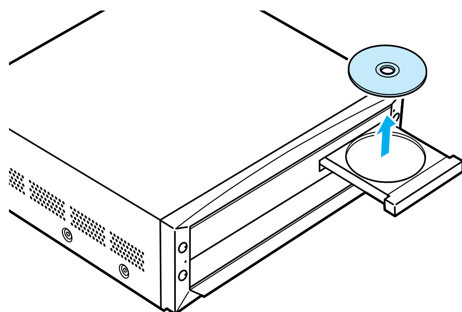


ディスクトレイが収まります

### ● CD-ROM、DVD-ROM を取り出す方法

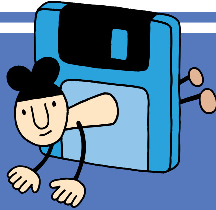
**1** 本体前面右側のイジェクトボタンを押す

**2** ディスクトレイから CD-ROM、または DVD-ROM を取り出す



**3** ディスクトレイを軽く押す

# 市販ソフトを利用する

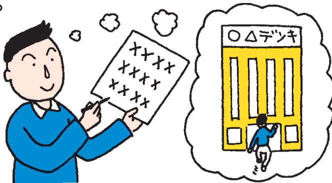


**コンピュータショップや電器店などに並んでいる魅力的なアプリケーションやデータ集。後悔しない買い方と正しい使い方を紹介しましょう。**

## ソフトを買うときのポイント

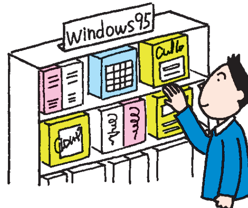
### ●出かける前

まず、ソフトを買いに出かける前に、メモ用紙にあなたのパソコンの機種名、モデル名（たとえば「PC98-NX SERIESのCEREB-NXのCE33D/SZ model XXX」など）を正確に書き込んで、その紙をポケットに入れておいてください。



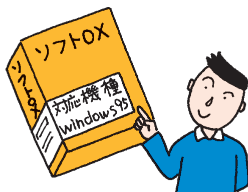

### ●お店で…

たいていのパソコンソフト売場は、おおまかなパソコンの種類別に棚が分かれていて、その種類を示す表示が出ています。「Windows 95」と表示された棚を探してください。
棚を見つけたら、その棚に並んでいるソフトの中から、気に入るソフトをじっくり選びます。




### ●ソフトの箱を見る

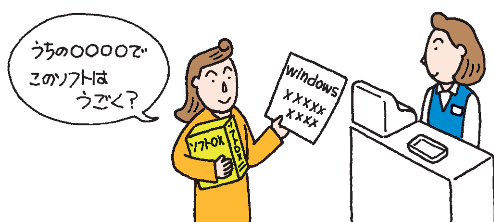
ほとんどのソフトの箱には、「対応OS」あるいは「対応機種」という項目が記載されています。気に入ったソフトを見つけたら、そのソフトの箱に「Windows 95」と書かれていることを確認します。




PART 1でも説明したように、ソフトはアプリケーションとデータとOSに分けられます。パソコンソフト売場のほとんどはアプリケーションが占めていますが、写真集や文例集などのデータ集、Windows 95以外のOSも売られています。

### ●最後の確認

レジで、あるいは近くにお店の人がいたら、最終確認。ポケットのメモ用紙を取り出して、「うちの『(ここにあなたの機種名、モデル名が入る)』で、このソフトは動きますか？」と聞いてください。はずかしいことではありません。これが一番大切です。




## ソフトを組み込むときのポイント

ソフトを買ってきたら、すぐに使いたくなるのはわかります。でもちょっと落ち着いて。

### ●薄いビニール包装を破る前に

たまに、このビニール包装の上に、シリアルナンバーなど重要な情報の書かれているシールが貼られているソフトがあります。このようなシールがないかどうか確認します。シールがあったら、ハサミなどでその部分だけを切って、とっておきます（不要な情報の場合もあります）。

### ●箱を開けたら

箱を開けて中身を確認します。たいていの場合「梱包品リスト」が紙片やマニュアルに記載されていますので、それを見ながら足りないものがないか確認します。
また、CD-ROM や DVD-ROM、フロッピーディスクなどが、シールやのりなどで封印された封筒に入っている場合は、次の「使用許諾契約書」の部分を読んでから、封を切ってください。

### ●使用許諾契約書

市販のソフトの多くは著作物であり、著作権法などによって守られています。あなたのソフトを友達にコピーしてあげたり、友達のソフトを借りてコピーしたりすることは禁止されています。
これらのソフトの場合、紙片、マニュアル、あるいは CD-ROM やフロッピーディスクの入った封筒などに、「使用許諾契約書」が書かれています。
この「使用許諾契約書」には、「どのように使うことが許されるか」「どういう使い方はいけないか」が書いてあります。
「パソコンにソフトを組み込んだ時点」あるいは「CD-ROM やフロッピーディスクの入った封筒を開けた時点」で、あなたはこの「使用許諾契約書」にサインをしたことになります。要するに「正しく使います」と宣言をしたことになります。
この点を確認したら、CD-ROM やフロッピーディスクの入った封筒を開けてください。

### ●ソフトの組み込み

ソフトを、あなたのパソコンで使えるように組み込む作業のことを「インストール」と呼びます。このインストールの操作の方法は、ソフトによって異なります。ソフトのマニュアルを見ながら、1手順ずつ確実に操作を進めてください。

### ●ソフトを使う

ソフトの使い方は、千差万別。ソフトのマニュアルを見ながら操作を進めてください。

### ●ユーザー登録カードは忘れずに出す

ほとんどのソフトには「ユーザー登録カード」というハガキが付いています。ここにあなたの住所や名前などを書き込んで、忘れないうちに投函してください。一般に、このユーザー登録カードを出すことで、ソフトのメーカーから、ソフトのバージョンアップ（より進化したソフトへの変更）の情報や、割引購入の案内などが届くようになります。




このパソコンに添付されている98 OFFICIAL PASSを使うと、NECへのお客様登録だけでなく、添付ソフトウェア各社へのユーザー登録も一括して行えます。

## 雑誌の付録ソフトはちょっと待って！

最近では、パソコン雑誌（あるいはパソコン解説本）に、付録としてCD-ROMが付いてくる機会が多くなりました。
これらのCD-ROMの中には、市販のソフトのデモ版（一部の機能が使えないものや使用時間が制限されているもの）や、フリーウェア（無料のソフト）、シェアウエア（お金を払った時点で正式に使用が認められるソフト）などが入っています。

雑誌本体の付録ソフト紹介記事を読むと、確かに魅力的なソフトがたくさん見つかるはずです。しかし、これらのソフトを、やみくもにインストールすることは、できるだけ避けてください。

・ソフトがあなたのパソコン、モデルに対応していない
・すでにあなたのパソコンに入っているソフトと相性が悪い
・ソフト自身が未解決の問題（バグ）をかかえている
・コンピュータウイルスが潜んでいる可能性がある

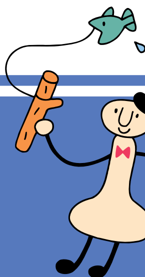
などの理由で、最悪の場合には、パソコンが動かなくなってしまうことさえあります。

雑誌の付録のソフトは、もう少しあなた自身がパソコンに慣れてからインストールするようにしてください。




**インストール**

ソフトをあなたのパソコンに組み込む作業のこと。セットアップとも呼びます。



# 周辺機器で可能性は無限大

周辺機器を追加すれば、パソコンはもっともっと楽しくなります。ここでは、いろいろな周辺機器を紹介しましょう。



PC-9800シリーズ専用の周辺機器は動かないことがありますのでご注意ください。

## 周辺機器の購入、取り付けにあたって

このパソコンには、すでに多くの周辺機器が内蔵、接続されています（本来、別売で取り付けるような機器が最初から付いています）。
このため、ここでご紹介する新たな周辺機器を取り付ける際に、何らかの問題が生じる可能性があります。
このような問題を避けるため、周辺機器を購入するときは、事前に『NEC PC あんしんサポートガイド』に記載されている「パソコンインフォメーションセンター」に、ご相談ください。また、実際に周辺機器を購入するときも、ソフトを買うときと同じように、お店の人に「うちの『(ここにあなたのパソコン機種名、モデル名が入る)』で、この機械は動きますか？」と最終確認するようにしてください。
購入した周辺機器を取り付けるときは、『拡張の手引き』や周辺機器のマニュアルをご覧になり、慎重に作業を進めてください。

パソコンインフォメーションセンターにお問い合わせいただくときには、あらかじめあなたのパソコンの「機種名」、「モデル名」をご確認ください。

## デジタルカメラ

最近流行になっている「フィルムのいらないカメラ」です。CCDという電子の目がとらえた映像(静止画像)をそのままカメラの中に取り込みます。家に帰ったら、カメラをパソコンにつなぎます。専用のソフトを使って、画像を見たり、データとしてパソコンに移したりすることができます。
パソコンに移した画像データは、いろいろなアプリケーションで活用することができます。絵はがきを作ったり、出張の報告書に画像を入れたり、アルバムを作ったり‥‥アイデアは広がります。

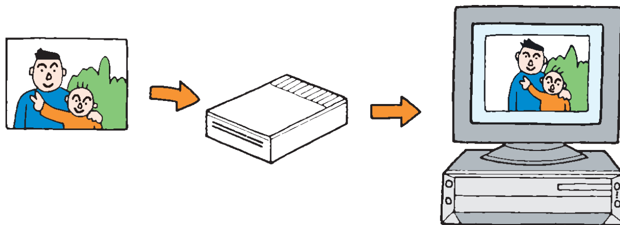
## デジタルビデオカメラ

デジタルビデオカメラとは、その名の通り映像をデジタルデータとして記録するビデオカメラのことです。CCDという電子の目がとらえた映像(動画)や音声を電気記号としてテープの中に取り込みます。パソコンにつなぐことで、パソコンでデジタルビデオカメラを操作したりすることもできます。
パソコンに移植したデータは、いろいろなアプリケーションに活用することができます。旅行先で撮ったビデオの中から好きなカットを写真入りのシールにしたり、会社で動画や音付きのプレゼンテーションを作ったり、使い方はいろいろです。

デジタルビデオカメラには、動画だけでなくデジタルカメラの様に静止画を取ることもできるものがあります。

## イメージスキャナ

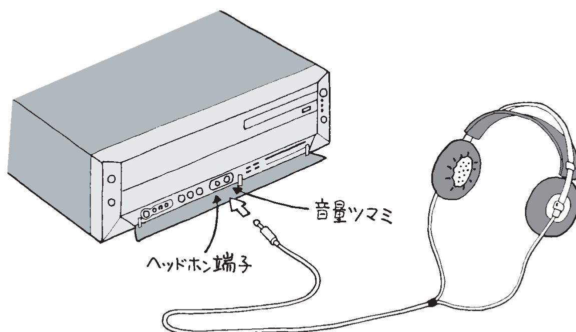
新聞や雑誌の記事、写真屋さんでプリントした写真、手書きのイラストや漫画などを、コピー機のような操作で読み取って、パソコンの画像データにする機械です。
お子さんの描いた絵を集めてパソコン上で展覧会を開いたり、新聞記事のスクラップブックを作ったりすることも簡単です。



イメージスキャナの親戚に「フィルムスキャナ」という機械もあります。フィルムスキャナは、一般のカメラで写したネガフィルムやスライドの映像を読み取って、パソコンの画像データにする機械です。

## AV 機器

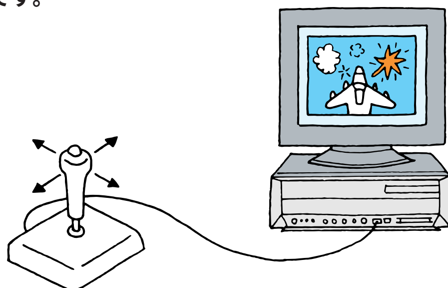
DVD の音をオーディオ機器から聴いたり、ビデオの映像をパソコンに取り込んだりなど、いろいろな AV 機器と接続することができます。




参照
パソコンの音をテープレコーダで録音したり、ステレオやミニコンポでパソコンの音を聞きたい場合は→『拡張の手引き』PART2の「オーディオ機器を使う」

## ジョイスティック

ゲーム、特にアクションゲーム（動き回るゲーム）やフライトシミュレータ（飛行機を操縦するゲーム）を楽しむとき、ジョイスティックは欠かせません。前後左右斜めの移動や、ミサイルの発射などのコントロールをするための機械です。





参照
ジョイスティックの接続方法については→『拡張の手引き』PART10の「その他の機器を使う」

## PCカードを使って通信をする

PCカードを使って、ノートパソコンとデータのやりとりをしたり、デジタルカメラなどからデータを取り込んだりできます。



参照
PCカードについては→『拡張の手引き』PART6の「PCカードを使おう」

## パソコン自身のパワーアップ

### ●メモリの増設

同時にたくさんのアプリケーションを使いたい。ワープロで同時に何十もの文書を開きたい。巨大な画像データを迅速に編集したい。高機能なCG（コンピュータグラフィックス）アプリケーションを使いたい。こんなときは、メモリの増設を検討してください。



参照
メモリの増設については→『拡張の手引き』PART9の「メモリを増やす」

### ●ハードディスクの増設

膨大な量のデータを管理したい。画像データをためていたらハードディスクがいっぱいになってしまった。こんなときは、ハードディスクの増設を検討してください。



参照
ハードディスクの増設については→『拡張の手引き』PART8の「PCIボードを使う」

### ●MOディスクドライブの増設

友人にデータを渡したいのだが、データが大きくてフロッピーディスクに入り切らない。あるいはデータが多くてフロッピーディスク何十枚にもなってしまう。こんなときは、MOディスクドライブの増設を検討してください。



参照
MOディスクドライブの接続については→『拡張の手引き』PART8の「PCIボードを使う」

# 情報収集のしかた



これからもパソコンと上手につきあっていくためには、情報収集が欠かせません。ここでは、手早く簡単に情報を仕入れる方法を紹介しましょう。

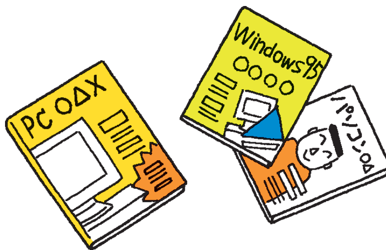
## まずは「NEC PC あんしんサポートガイド」

『NEC PC あんしんサポートガイド』には、このパソコンに関するいろいろな情報を得る方法が書かれています。ぜひ、ご覧ください。




## パソコン雑誌を読む

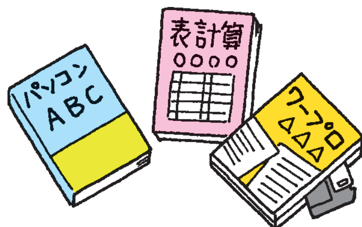
パソコン雑誌には、新しいハードやソフトの紹介記事や利用法、広告などタイムリーな情報が満載されています。あなたに合った雑誌を見つけて、活用してください。




パソコン雑誌を選ぶときは、雑誌名に「PC」「Windows」「パソコン」などの文字が入っているものを中心に見てください。「UNIX」「NT」「Mac」の文字が入っているものは、とりあえず除外してかまいません。

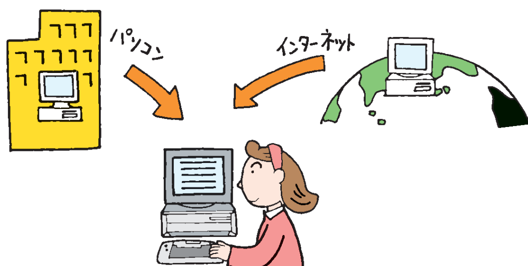
## 解説本を読む

パソコンに関する書籍も数多く出版されています。パソコンの基本的な使い方を解説した本。特定のアプリケーションの使い方を解説した本。OS（Windows 95）の使い方を解説した本。中にはデータの入ったフロッピーディスクやCD-ROMの付いている本もあります。
これらの本も、必要に応じて上手に活用してください。




## パソコン通信、インターネットから情報を得る

パソコン通信の会議室（SIGまたはフォーラムとも呼ぶ）や、インターネットのホームページ、ニュースグループなどには、いろいろなパソコンの情報があふれています。はじめは目的の情報にたどり着くまでに多少の努力が必要ですが、慣れてしまえば簡単です。上手に楽しく活用してください。




参照
インターネットについては→『インターネット入門』

参照
パソコン通信については→『リファレンス』PART 2の「パソコン通信」

## パソコンに詳しい友と語る

パソコンに詳しい友達や同僚、先輩、後輩がいたら、大切にしてください。パソコンに関するいろいろな意見や情報を、必ず持っているはずです。また、いざというときにも、力を貸してくれることでしょう。もちろん、朝から晩まで質問責めにすると嫌われてしまいます。あなた自身でできるところまでは、雑誌やパソコン通信、インターネットで情報を集め、わからないところを整理してから聞くようにしましょう。



# このPARTのまとめ

ここでは、さらにパソコンを活用するための、いろいろな情報を紹介しました。

## このパソコンに入っている他のソフト

このパソコンには、まだまだたくさんのソフトが入っています。市販ソフトを買わなくてもしばらくはお楽しみいただけるでしょう。ほとんどのソフトは、ランチ -NX から起動できます。

## 市販ソフトの購入法

ソフトを買うときには、「対応OS」や「対応機種」を確認することが大切です。まず、箱に記載されている情報を確認し、最後にレジでお店の人に確認するように心がけましょう。

雑誌の付録などに付いてくるCD-ROMのソフトのインストールは、もう少しパソコンに慣れるまで、しばらくがまんした方が賢明でしょう。

## 周辺機器の購入法

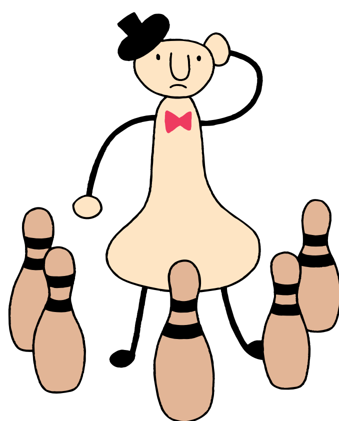
周辺機器を買うときも、ソフトを買うときと同様に、「対応OS」や「対応機種」を十分に確認しましょう。
分からないことがあったら、『NEC PC あんしんサポートガイド』に記載の「パソコンインフォメーションセンター」にご相談ください。

## パソコン情報収集法

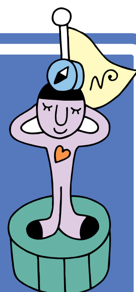
パソコンの情報を的確に集めることで、パソコンの活用法はもっともっと広がります。パソコンの情報収集には次のような方法があります。

- 『NEC PC あんしんサポートガイド』を活用する
- パソコン雑誌を読む
- 解説本を読む
- パソコン通信、インターネットを見る
- パソコンに詳しい友達と話す

# 付　録



# パソコンの画面とマニュアルの画面が違う！



あなたのパソコンに表示されている画面と、本書に掲載している画面が異なる場合の解決法です。

参照

ここで説明している解決法で解決できない場合や、ここで紹介されていない問題が発生した場合は→『困ったときの Q&A』

## モデルによってランチ-NX のボタンは異なります

お使いのモデルによって、入っているアプリケーションが違います。このため、ランチ-NXで表示されるボタンの種類や位置はモデルによって異なります。

例　一太郎モデルのグループ「ワーク」の表示




例　Word モデルのグループ「ワーク」の表示



## ウィンドウが表示されていない！

ちょっと操作をまちがうと、出ているはずのウィンドウが、別のウィンドウの後ろに隠れてしまったり、最小化されてしまったり、あるいはアプリケーションが終わってしまうことがあります。
こんなときは、あわてずに画面のタスクバーを見てください。




### ●目的のウィンドウ名がタスクバーにある場合

表示させたいウィンドウ名が、タスクバーに表示されている場合には、表示させたいウィンドウ名をクリックします。これで、クリックしたウィンドウが表示されます。

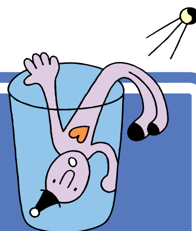
### ●目的のウィンドウ名がタスクバーにない場合

表示させたいウィンドウ名が、タスクバーに表示されていない場合には、アプリケーション自体が終わってしまっていることを意味します。
あらためてランチ-NXを使って目的のアプリケーションを始めてください。

## 市販ソフトの場合

このパソコンでは、ランチ-NXというアプリケーションが常に画面に表示されています。このため、組み込んだ市販ソフトの説明書に載っている画面と、あなたのパソコンの画面が異なることがあります。

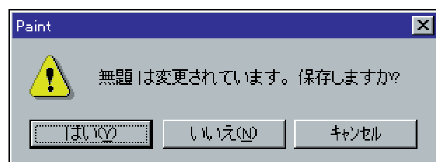
# パソコンが何か言ってる！



画面に「～してください」などといった小さなウィンドウが表示されたときの対処法です。

操作のまちがいや設定の間違いなどによって、「～してください」「～できません」「～します」「～しますか？」などといった「パソコンからあなたへのメッセージ」が表示されることがあります。

次の画面はその一例です。




ウィンドウの中には、「はい」「いいえ」「OK」「キャンセル」などのボタンが表示されているはずです。

このような場合には、

## （1）　メッセージを理解できれば大丈夫

まず、表示されたメッセージをよく読んで、何がどうなったのかを、できるだけ考えてみてください。状況が大体理解できた場合には、そのメッセージに対する答えとなるボタンをクリックします。

## （2）　わからなかったら説明書

何がどうなったのか、理解できない場合は、『困ったときのQ&A』や、アプリケーションのマニュアルでそのメッセージの意味を調べて、適切なボタンをクリックします。

## （3）　最後の手段

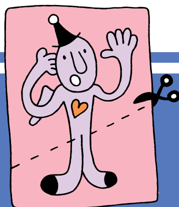
それでも分からない場合には、次の優先順位でボタンをクリックします。ただし、これは「最後の手段」です。できるだけ（1）または（2）までの方法で解決するようにしてください。

- 「キャンセル」ボタンがある場合は「キャンセル」ボタンをクリック
- 「キャンセル」ボタンがない場合は、「いいえ」をクリック
- 「キャンセル」ボタンも「いいえ」ボタンもない場合は、「はい」または「OK」をクリック




この方法を使うとデータが保存されずに消えてしまうことがあります。

# パソコンが何か変だ！



市販のソフトや雑誌の付録のCD-ROMに入っているソフトをやみくもに組み込むと、時にはパソコンの動作がおかしくなることがあります。

市販のソフト、あるいは雑誌の付録のCD-ROMに入っているソフトなどを組み込むと、ソフトとパソコンの相性や、ソフト同士の相性などが原因で、パソコンの動作がおかしくなることがあります。本来は、こういうことがあってはならないのですが、現実にはよく起こるものです。

例えば、トラックボールの動きがポインタに伝わらなくなってしまったり、音が出なくなってしまったり。場合によっては、パソコンの起動すらできなくなってしまうことがあります。

こんなときには、『困ったときのQ&A』でその状況を調べて適切な対処を施してください。

## ローマ字つづり一覧

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| あ<br>a | い<br>i<br>(yi) | う<br>u<br>(wu) | え<br>e | お<br>o |
| か<br>ka | き<br>ki | く<br>ku | け<br>ke | こ<br>ko |
| さ<br>sa | し<br>si<br>(shi) | す<br>su | せ<br>se | そ<br>so |
| た<br>ta | ち<br>ti<br>(chi) | つ<br>tu<br>(tsu) | て<br>te | と<br>to |
| な<br>na | に<br>ni | ぬ<br>nu | ね<br>ne | の<br>no |
| は<br>ha | ひ<br>hi | ふ<br>hu<br>(fu) | へ<br>he | ほ<br>ho |
| ま<br>ma | み<br>mi | む<br>mu | め<br>me | も<br>mo |
| や<br>ya | い<br>yi | ゆ<br>yu | いぇ<br>ye | よ<br>yo |
| ら<br>ra | り<br>ri | る<br>ru | れ<br>re | ろ<br>ro |
| わ<br>wa | うぃ<br>wi | う<br>wu | うぇ<br>we | を<br>wo |
| ん<br>nn | | | | |
| が<br>ga | ぎ<br>gi | ぐ<br>gu | げ<br>ge | ご<br>go |
| ざ<br>za | じ<br>zi<br>(ji) | ず<br>zu | ぜ<br>ze | ぞ<br>zo |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| だ<br>da | ぢ<br>di | づ<br>du | で<br>de | ど<br>do |
| ば<br>ba | び<br>bi | ぶ<br>bu | べ<br>be | ぼ<br>bo |
| ぱ<br>pa | ぴ<br>pi | ぷ<br>pu | ぺ<br>pe | ぽ<br>po |
| きゃ<br>kya | きぃ<br>kyi | きゅ<br>kyu | きぇ<br>kye | きょ<br>kyo |
| しゃ<br>sya<br>(sha) | しぃ<br>syi | しゅ<br>syu<br>(shu) | しぇ<br>sye<br>(she) | しょ<br>syo<br>(sho) |
| ちゃ<br>tya<br>(cha)<br>(cya) | ちぃ<br>tyi<br>(cyi) | ちゅ<br>tyu<br>(chu)<br>(cyu) | ちぇ<br>tye<br>(che)<br>(cye) | ちょ<br>tyo<br>(cho)<br>(cyo) |
| にゃ<br>nya | にぃ<br>nyi | にゅ<br>nyu | にぇ<br>nye | にょ<br>nyo |
| ひゃ<br>hya | ひぃ<br>hyi | ひゅ<br>hyu | ひぇ<br>hye | ひょ<br>hyo |
| みゃ<br>mya | みぃ<br>myi | みゅ<br>myu | みぇ<br>mye | みょ<br>myo |
| りゃ<br>rya | りぃ<br>ryi | りゅ<br>ryu | りぇ<br>rye | りょ<br>ryo |
| ぎゃ<br>gya | ぎぃ<br>gyi | ぎゅ<br>gyu | ぎぇ<br>gye | ぎょ<br>gyo |
| じゃ<br>zya<br>(ja)<br>(jya) | じぃ<br>zyi<br>(jyi) | じゅ<br>zyu<br>(ju)<br>(jyu) | じぇ<br>zye<br>(je)<br>(Jye) | じょ<br>zyo<br>(jo)<br>(jyo) |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ぢゃ<br>dya | ぢぃ<br>dyi | ぢゅ<br>dyu | ぢぇ<br>dye | ぢょ<br>dyo |
| でゃ<br>dha | でぃ<br>dhi | でゅ<br>dhu | でぇ<br>dhe | でょ<br>dho |
| びゃ<br>bya | びぃ<br>byi | びゅ<br>byu | びぇ<br>bye | びょ<br>byo |
| ぴゃ<br>pya | ぴぃ<br>pyi | ぴゅ<br>pyu | ぴぇ<br>pye | ぴょ<br>pyo |
| てゃ<br>tha | てぃ<br>thi | てゅ<br>thu | てぇ<br>the | てょ<br>tho |
| ふゃ<br>fya | ふぃ<br>fyi | ふゅ<br>fyu | ふぇ<br>fye | ふょ<br>fyo |
| ふぁ<br>fa | ふぃ<br>fi | ふ<br>fu | ふぇ<br>fe | ふぉ<br>fo |
| う゛ぁ<br>ヴぁ<br>va | う゛ぃ<br>ヴぃ<br>vi | う゛<br>ヴ<br>vu | う゛ぇ<br>ヴぇ<br>ve | う゛ぉ*<br>ヴぉ**<br>vo |

[小文字]

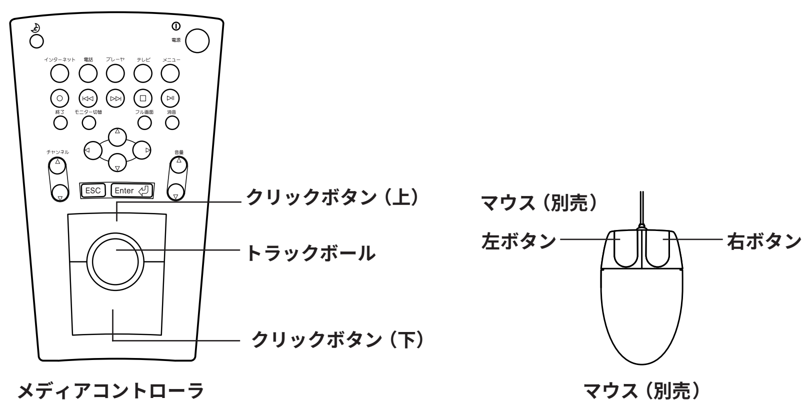
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ぁ<br>la<br>xa | ぃ<br>li<br>xi | ぅ<br>lu<br>xu | ぇ<br>le<br>xe | ぉ<br>lo<br>xo |
| ゃ<br>lya<br>xya | ぃ<br>lyi<br>xyi | ゅ<br>lyu<br>xyu | ぇ<br>lye<br>xye | ょ<br>lyo<br>xyo |

どちらでも入力できます。

* 一太郎モデルの場合（ATOK11）
**Word モデルの場合（Microsoft IME 98）

## ボタンの役割一覧

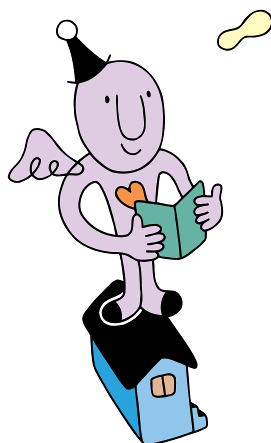
| | メディアコントローラ | ワイヤレスキーボード |
|---|---|---|
| マウスの左ボタン | クリックボタン（下） | 左クリックボタン |
| マウスの右ボタン | クリックボタン（上） | 右クリックボタン |




## 共通操作早見表

| | メディアコントローラ | ワイヤレスキーボード | マウス（別売） |
|---|---|---|---|
| クリック | クリックボタン（下）を 1 回押す | 左クリックボタンを1回押す | 左ボタンを 1 回押す |
| ダブルクリック | クリックボタン（下）をすばやく2回続けて押す | 左クリックボタンをすばやく2回続けて押す | 左ボタンをすばやく2回続けて押す |
| ドラッグ＆ドロップ | 移動させたい画面などをクリックし、クリックボタン（下）を押したまま、トラックボールを動かして、移動させたい位置まで動かしたらボタンを離す | 移動させたい画面などをクリックし、左クリックボタンを押したまま、トラックボールを動かして、移動させたい位置まで動かしたらボタンを離す | 移動させたい画面などをクリックし、左ボタンを押したまま、マウスを動かして、移動させたい位置まで動かしたらボタンを離す |

# 索　引



## 英字



## あ行

## か行



## さ行



## た行



## な行



## は行

## ま行



## や行



## ら行



## わ行

# STEP 2 入門

## 基本の使い方を覚える本




PC98-NX SERIES
CEREB NX

初版　1998年6月
NEC
P

808-881412-074-A

このマニュアルはエコマーク認定の
再生紙を使用しています。

